SAMSUNG

LFD ディスプレイ
ユーザー マニュアル

ME32C ME40C ME46C ME55C

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

BN46-00098R-06

目次

ご使用になる前に

著作権について 7

安全のために 8
記号について 8
お手入れに関する注意事項 8
記録装置(梱包保存時) 9
電気に関する注意事項 9
インストール方法 10
ご使用の際の注意事項 12

準備

内容の確認 15
包装の解き方
(ME32C ME40C および ME46C モデルのみ) 15
包装の解き方 (ME55C モデルのみ) 16
内容物の確認 17

各部 19
コントロール パネル 19
ホルダー ワイヤ スタンドの組み立て 22
盗難防止用ロック 22
リモコン 23
IR ステレオ ケーブル (別売り) を使用した接続 26

製品の設置前に (設置ガイド) 27
傾斜角度と回転 27
換気 27

寸法 28

ウォール マウントを設置する 29
ウォール マウントを設置する前の準備 29
ウォール マウント キットの設置 29
ウォール マウント キットの仕様 (VESA) 30

リモコン (RS232C) 31
ケーブル接続 31
接続 34
制御コード 35

入力信号デバイスの接続と使用

接続の前に 44
接続前のチェックポイント 44

PC との接続 45
D-SUB ケーブルを使用した接続
(アナログタイプ) 45
DVI ケーブルを使用した接続 (デジタルタイプ) 45
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続 46
HDMI ケーブルを使用した接続 46
DP ケーブルを使用した接続 47

解像度の変更 48
Windows XP での解像度の変更 48
Windows Vista での解像度の変更 48
Windows 7 での解像度の変更 49
Windows 8 での解像度の変更 49

ビデオ機器との接続 50
AV ケーブルを使用した接続 50
コンポーネント ケーブルを使用した接続 50
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続 51

HDMI ケーブルを使用した接続 51

オーディオ システムに接続する 52

外部モニターを接続する 52

ネットワーク ボックスの接続 (別売り) 53
MagicInfo 53

入力ソースを変更する 55
入力ソース 55

MDC の使用

マルチコントロール の設定 56
マルチコントロール の設定 56

MDC プログラムのインストール /
アンインストール 57
インストール方法 57
アンインストール 57

MDC とは? 58
MDC の接続 58
接続の管理 61
User Login 62
Auto Set ID 63
クローニング 64
コマンドの再試行 65

MDC を開始する 66
メイン画面のレイアウト 67
メニュー 67
画面調整 69

目次

高度な機能 72
音声調整 74
システムの設定 74
ツールの設定 83
その他の機能 86
グループの管理 87
スケジュールの管理 89
トラブルシューティング ガイド 91

画面調整

映像モード 93
入力ソースが PC、DVI または ディスプレイ ポート の場合 93
入力ソースが AV、コンポーネント、HDMI1、HDMI2 の場合 93

バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色の濃さ / 色合い 94

画面調整 95
画像サイズ 95
位置 97
ズーム/ポジション 97
PC 画面調整 98
解像度の選択 98

自動調整 99

回転 99

アスペクト比 100

詳細設定 101
ダイナミック コントラスト 102
色深度 (黒) 102
鮮明 102
RGB のみモード 102
色空間 102
ホワイト バランス 103
10p ホワイト バランス 103
ガンマ 103
エキスパート向けパターン 104
動画画面の明るさ調節 104

映像オプション 105
色調 106
Color Temp. 106
デジタル ノイズ フィルタ 106
MPEG ノイズ フィルタ 106
HDMI 階調レベル 107
フィルム モード 107
Motion Plus (ME55C モデルのみ) 107
ダイナミック バックライト 108

映像のリセット 108

音声調整

サウンド モード 109

サウンド効果 110

スピーカーの設定 111

サウンドのリセット 112

ネットワーク

ネットワーク設定 113
有線ネットワークに接続する 113
有線ネットワーク設定 114
ワイヤレス ネットワークに接続する 115
ワイヤレス ネットワーク設定 116
手動ネットワーク設定 116
WPS(PBC) 117

ネットワーク ステータス 118

Wi-Fi ダイレクト 118

ソフト AP 119

AllShare 設定 119

デバイス名 119

システム

マルチコントロール 120
マルチコントロール の設定 120

時刻 121
現在時刻設定 121
スリープ タイマー 121
オンタイマー 122
オフタイマー 123
休日の管理 123

メニュー言語 124

メニューの回転 125

目次

エコ ソリューション 126
省電力 126
エコ センサー 126
無信号電源オフ 126
自動電源オフ 126

セキュリティ 127
安全ロック 127
ボタン ロック 127
PIN の変更 127

同時画面 128

自動保護起動時間 129

画像焼き付き保護 130
画素シフト 130
タイマー 131
すぐに表示 132
サイドバーを灰色にする 132

ティッカー 133

画像分割 134
画像分割 134
フォーマット 134
水平 134
垂直方向 135
画面の位置 135

入力信号自動切換設定 136
入力信号自動切換 136
プライマリ入力復元 136
プライマリ入力 136
セカンダリ入力 136

全般 137
省電力 (最大) 137
ゲーム モード 137
BD Wise 137
メニューの透明度 137
フィードバック音 138
自動電源設定 138
スタンバイ制御 138
ランプ スケジュール 139
OSD ディスプレイ 139
電源オン調整 139
温度制御 139

Anynet+ (HDMI-CEC) 140
Anynet+ (HDMI-CEC) 140
自動オフ 141

DivX® ビデオ オンデマンド 144

プレーヤー モード 144

Magic Clone 145

システムのリセット 145

すべてリセット 146

PC モジュール電源 146
電源オンの同期 146
電源オフの同期 146

サポート

ソフトウェア更新 147
USB 経由 147

Samsung 連絡先 148

コンテンツ ホーム 149
MagicInfo Lite 149
MagicInfo Premium S 149
MagicInfo Videowall S 149
AllShare Play 150
入力ソース 150

AllShare Play

AllShare Play とは? 151
AllShare Play を USB デバイスで使用する前に、以下をお読みください。 151
USB デバイスの使用 153
ネットワークを通じて PC に接続する 154
AllShare Play 機能の使用 155

基本的な AllShare Play 機能の使用 156
ファイル リストの並べ替え 156
選択したファイルの再生 157
ファイルのコピー 157
再生リスト の作成 157

マイ リスト 158
マイ リスト オプション 158

ビデオ 159

目次

動画を再生する 159

写真 160
写真 (または スライドショー) を見る 160

音楽 161
音楽 の再生 161

ビデオ / 写真 / 音楽 再生オプション メニュー 162

サポートされるサブタイトルおよび AllShare Play ファイルの形式 164
字幕 164
サポートされる画像解像度 164
サポートされる音楽ファイル形式 165
対応している動画形式 165

MagicInfo Lite

MagicInfo Lite プレーヤー と互換性のあるファイル形式 167
MagicInfo Lite プレーヤー をご使用になる前にお読みください。 167

接続されている装置をサーバーから承認 172

MagicInfo Lite 174
MagicInfo Lite プレーヤー 174
ローカル スケジュール マネージャ 177
コンテンツ マネージャ 184
設定 186
コンテンツ実行時 188

MagicInfo Premium S

MagicInfo Premium S Player と互換性のあるファイル形式 190
MagicInfo Premium S Player をご使用になる前にお読みください。 190

接続されている装置をサーバーから承認 196

MagicInfo Premium S 198
MagicInfo Premium S Player 198
ローカル スケジュール マネージャ 201
テンプレート マネージャ 208
コンテンツ マネージャ 211
設定 213
コンテンツ実行時 215

MagicInfo Videowall S

MagicInfo Videowall S Player と互換性のあるファイル形式 217
MagicInfo Videowall S Player をご使用になる前にお読みください。 217

MagicInfo Videowall S 220
設定 220
コンテンツ実行時 221

トラブルシューティング ガイド

Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に行っていただきたいこと 222
製品のテスト 222
解像度と周波数の確認 222
以下について確認します。 223

Q & A 230

仕様

全般 232

省電力 235

プリセット タイミング モード 236

目次

付録

お客様相談ダイヤル 238

有料サービスに関する責任
(お客様の負担) 239
製品に異常がない場合 239
お客様の過失によって製品が損傷した場合 239
その他 239

最適画質および残像の焼き付き防止 240
最適画質 240
残像の焼き付き防止 241

ライセンス 243

用語 244

第 1 章
ご使用になる前に

著作権について

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

© 2013 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

Microsoft, Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他すべての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

安全のために

注意

感電する危険があります。カバーを開けないでください

注意 :感電の危険をなくすため、カバーを外さないでください。(または背面)

内部には、ユーザーが対応可能な部品はありません。

修理はすべて正規の修理業者にご依頼ください。

この記号は、内部が高電圧であることを示しています。

この製品の内部部品に触れると危険です。

この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書がこの製品に付属していることを警告しています。

記号について

警告

指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。

注意

指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。

禁止行為を示しています。

順守すべき行為を示しています。

お手入れに関する注意事項

― 高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

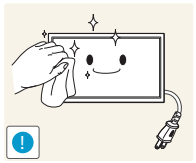
― 清掃は、次の手順で行ってください。

― 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

1 本製品と PC の電源をオフにします。

2 本製品から電源コードを外します。

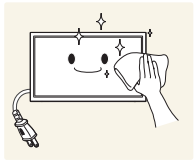
― 電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。



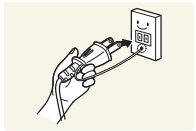
3 清潔で柔らかい乾いた布で本製品を拭きます。

- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤は使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、本製品の外装を清掃します。



5 清掃が終わったら、電源コードを本製品に接続します。

6 本製品と PC の電源をオンにします。

記録装置(梱包保存時)

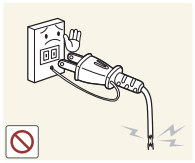
強い光沢のある製品の場合、近くで UV 加湿器を使用すると製品表面に白いしみができることがあります。

― 本製品内部の清掃が必要な場合は、カスタマー サービス センターまでお問い合わせください (別途作業費がかかります)。

電気に関する注意事項

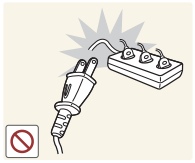
― 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告



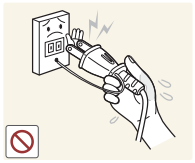
破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

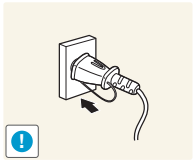


複数の製品をひとつの電源ソケットで使用しないでください。

- 電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

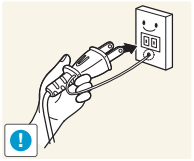


濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



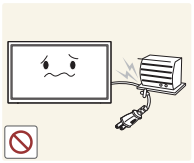
電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



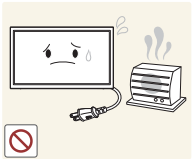
電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください (絶縁クラス 1 の機器のみ)。

- 感電またはケガの原因となることがあります。



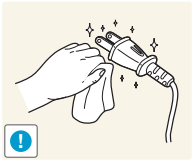
電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物を載せた状態にしないでください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

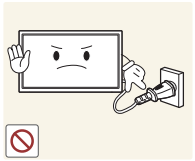
- 火災または感電の原因となることがあります。



電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。

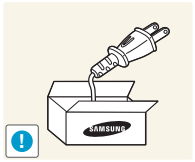
- 火災の原因となることがあります。

注意



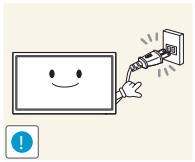
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。



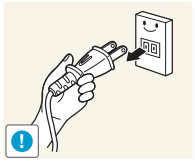
弊社が提供する電源コードのみを使用してください。また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 問題が発生した場合は、電源コードを抜いて製品の電源をオフにする必要があります。
- 遠隔の電源ボタンだけでは、製品の電源を完全にオフにすることはできませんのでご注意ください。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

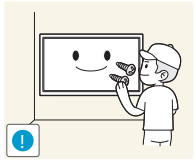
- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。

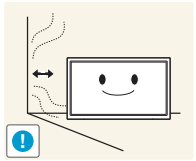


製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。

- 無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。
- 認可されているキャビネットを必ず使用してください。

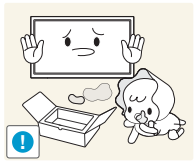
製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



製品を設置するときには、換気のために壁から 10cm 以上離してください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

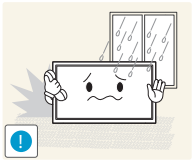


梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。

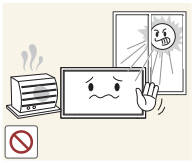
安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



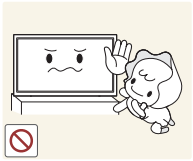
製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

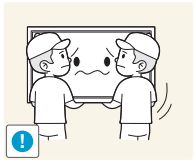


製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

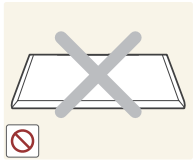
食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチン カウンターの近くに設置しないでください。

注意



製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

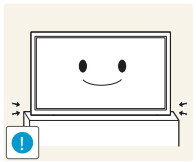


製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。



製品を置くときは丁寧に置いてください。

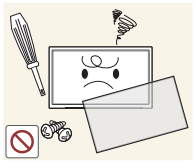
- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

- これらの場所に製品を設置する場合は、Samsung カスタマー サービス センターにご相談ください。

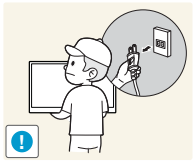
ご使用の際の注意事項

警告



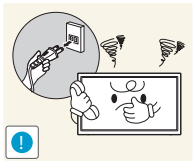
製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センターまでお問い合わせください。



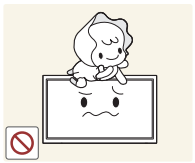
製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

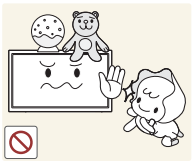


お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

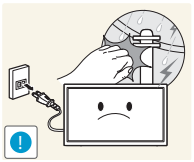
製品が落下したりケースが破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。



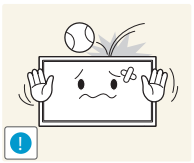
重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



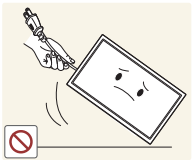
落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



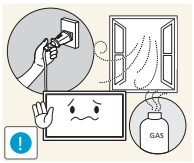
製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



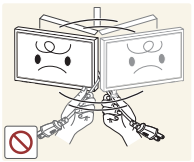
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



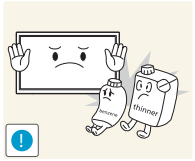
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。



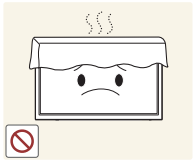
電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



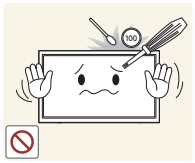
可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



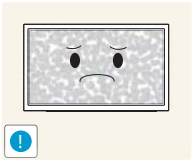
金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

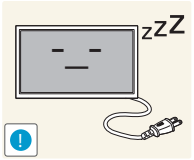
- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

注意



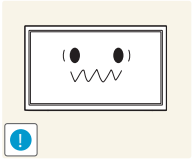
静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間にわたって本製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。



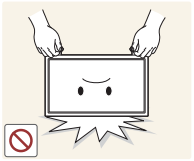
休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。



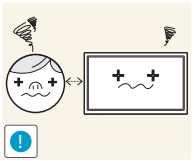
製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。

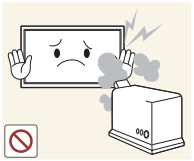


スタンドを持って本製品を上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

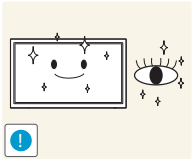


画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。



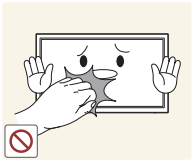
加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

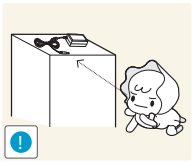


製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

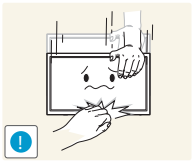
- 疲れ目が緩和されます。



電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。



製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

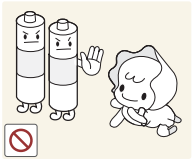
- 手や指が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、製品が落下したり、ケガの原因となることがあります。

製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

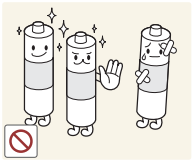
ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。



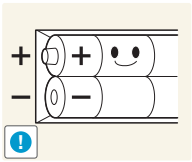
リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。



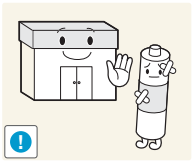
電池を交換するときには、正しい極性 (+、–) の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。



指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。



バッテリ (および充電式バッテリ) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。バッテリ (および充電式バッテリ) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。

- お客様は、使用済みの充電式バッテリを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリおよび充電式バッテリを販売している店舗に返送することができます。

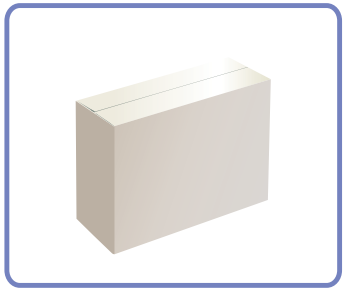
第 2 章
準備

内容の確認

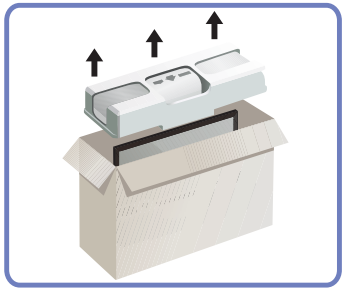
包装の解き方 (ME32C ME40C および ME46C モデルのみ)

― 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

1 箱の底部にある黒色の固定具を取り外します。

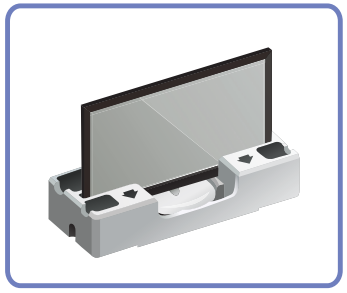


2 製品から発泡スチロールを取り外します。



3 製品を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

― 実際の製品の外観は、表示とは異なる場合があります。



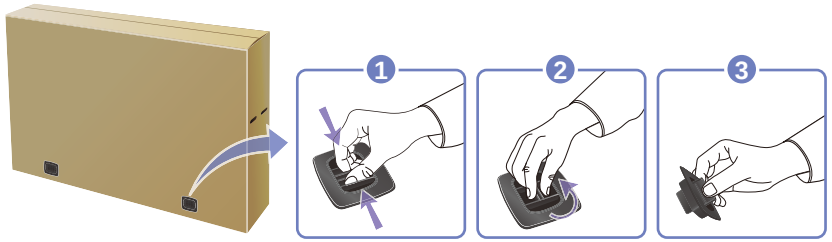
― この図はイメージです。

4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

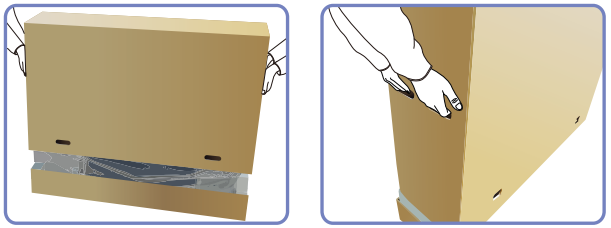
包装の解き方 (ME55C モデルのみ)

― 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

1 箱の底部にある黒色の固定具を取り外します。

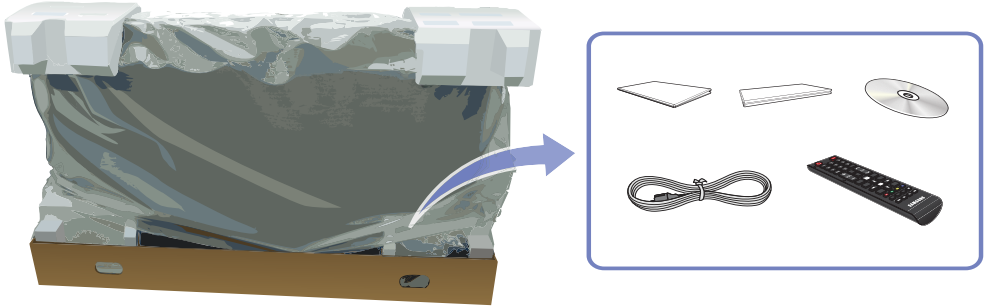


2 箱の溝の部分を持ち、箱の上側を持ち上げて取り外します。



3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

― 実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。



4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

内容物の確認

- 内容物が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。
- 製品にスタンドは付属していません。スタンドを取り付ける場合、別途購入してください。

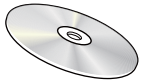
部品

付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。

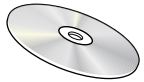
クイック セットアップ ガイド

保証書

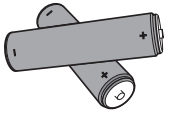
(一部の地域では利用できません)



ユーザー マニュアル



MagicInfo Lite Edition ソフトウェア CD



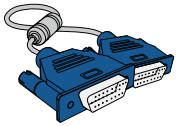
バッテリー (ページ 24)

(一部の地域では利用できません)

リモコン (ページ 23)

(AA59-00714A)

電源コード



D-SUB ケーブル (ページ 45)

ホルダー リング (4EA)

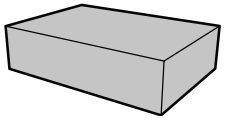
(BN61-07295A)

ホルダー ワイヤ スタンド

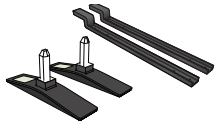
(BN61-05491A)

別売り品目

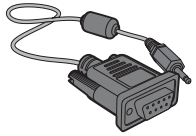
– 以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



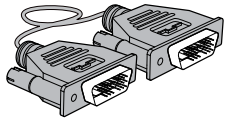
ウォール マウント キット



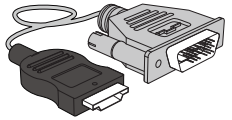
スタンド



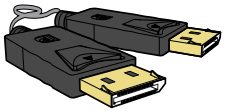
RS232C ステレオ ケーブル (ページ 58)



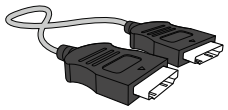
DVI ケーブル (ページ 45)



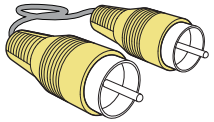
HDMI-DVI ケーブル (ページ 46)



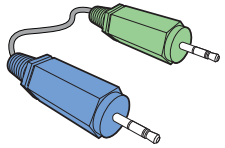
DP ケーブル (ページ 47)



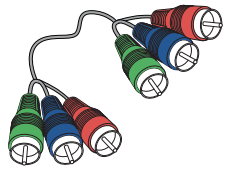
HDMI ケーブル (ページ 46)



ビデオ ケーブル (ページ 50)



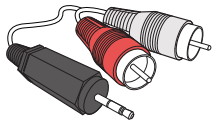
ステレオ ケーブル (ページ 26)



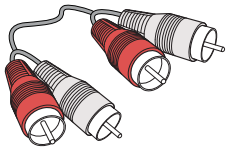
コンポーネント ケーブル (ページ 50)

– D-SUB (9 ピン) 型 RS232C ケーブルを使用して別のモニターと接続する場合に、RS232C アダプタをご使用になれます。

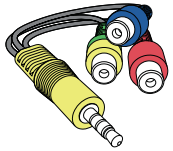
– 各アダプタを製品の適切な RS232C IN または OUT ポートに接続してください。



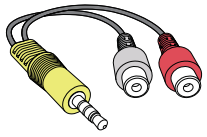
RCA ステレオ ケーブル (ページ 52)



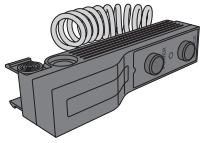
RCA ケーブル (ページ 50)



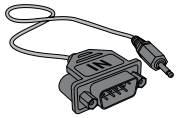
AV / コンポーネント アダプタ (ページ 50)



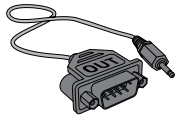
AUDIO アダプタ (ページ 50)



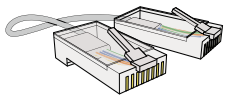
外部センサー キット (ページ 26)



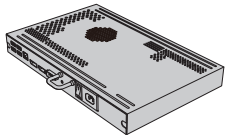
RS232C(IN) アダプタ



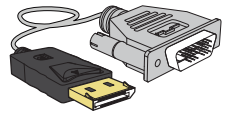
RS232C(OUT) アダプタ



LAN ケーブル



ネットワーク ボックス

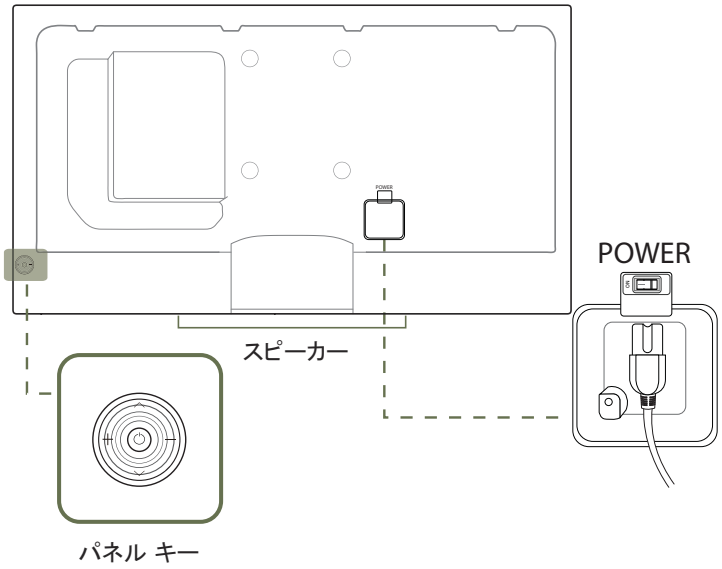


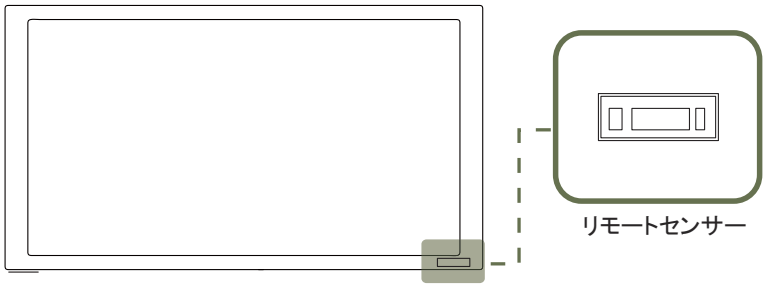
DP-DVI ケーブル

(ネットワーク ボックス接続時に使用)

各部

コントロール パネル





― 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

パネル キー

ボタン	説明
	製品の電源をオンにします。 本製品の電源が入っている状態で ⏻ ボタンを押すと、コントロール メニューが表示されます。 ― OSD メニューを終了するには、パネル キーを 1 秒以上押し続けます。
	上または下のメニューに移動します。オプションの値は調節できます。
	左または右のメニューに移動します。 ― コントロール メニューが表示されていないときにパネル キーを左右に動かすと、音量を調節できます。
リモートセンサー	リモコンからの信号を受信する ― 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。

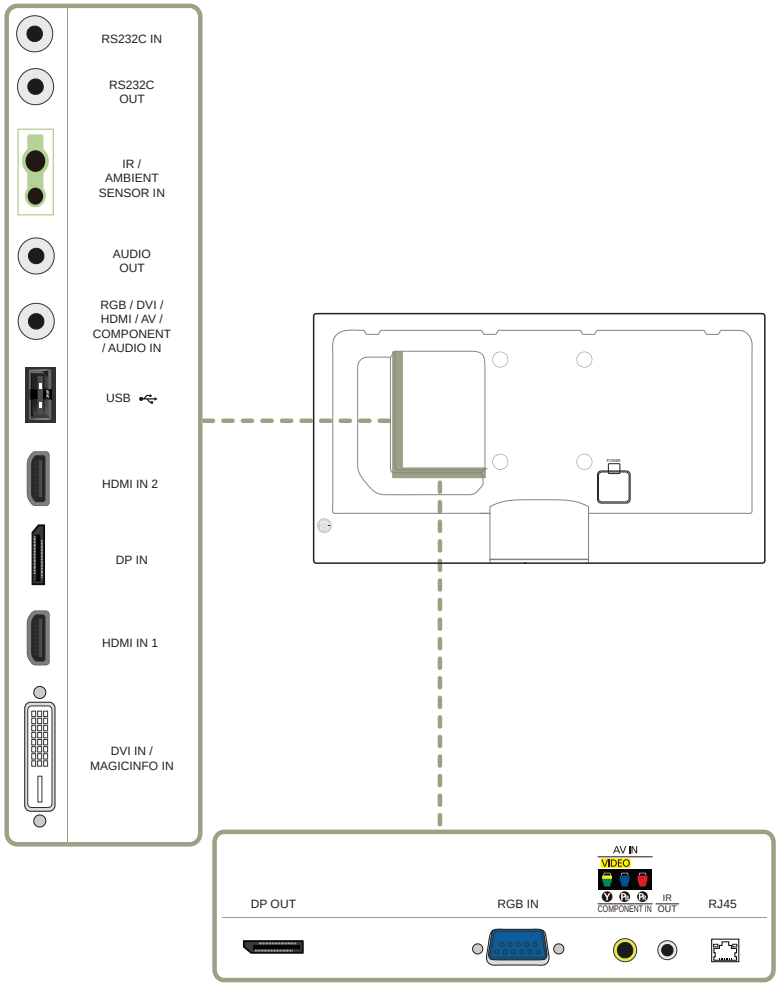
— 本製品の電源が入っている状態でパネル キー(ページ 19)の ◎ ボタンを押すと、コントロール メニューが表示されます。

コントロール メニュー

ボタン		説明
	入力ソース	入力ソースを選択します。 パネル キーを右に動かして、コントロール メニューの **入力ソース** を選択します。入力ソースのリストが表示されたら、パネル キーを上下に動かして目的の入力ソースを選択します。次に、パネル キーを押します。
	メニュー	OSD メニューを表示します。 パネル キーを左に動かして、コントロール メニューのメニュー を選択します。OSD 制御画面が表示されます。パネル キーを右に動かして目的のメニューを選択します。パネル キーを上下左右に動かすことにより、サブメニューの項目を選択できます。設定を変更するには、目的のメニューを選択してパネル キーを押します。
CONTENT	**コンテンツ ホーム**	**コンテンツ ホーム** モードに移行します。 パネル キーを上に動かして、コントロール メニューの **コンテンツ ホーム** を選択します。
	電源オフ	製品の電源をオフにします。 パネル キーを下に動かして、コントロール メニューの **電源オフ** ◎ を選択します。 次に、パネル キーを押します。
	戻る	コントロール メニューを終了します。

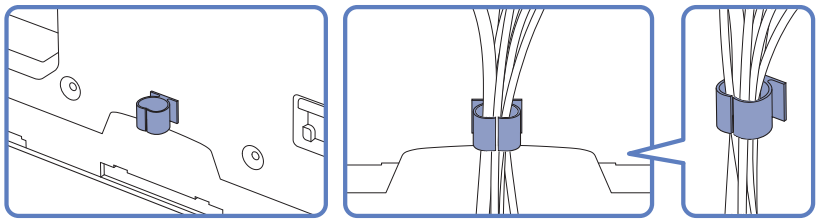
背面

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。
仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



ポート	説明
RS232C IN	RS232C ステレオ アダプタを使用して、MDC に接続します。
RS232C OUT	
IR / AMBIENT SENSOR IN	外部センサー ボードに電源を供給したり、光センサー信号を受信します。
AUDIO OUT	入力信号デバイスの音声に接続する
RGB / DVI / HDMI / AV / COMPONENT / AUDIO IN	オーディオ ケーブルを通じて PC から音声を受信します。
USB	USB メモリ デバイスに接続します。
DP IN	DP ケーブルを使用して PC と接続します。
HDMI IN 1, HDMI IN 2	HDMI ケーブルを使用してソース機器と接続します。
DVI IN / MAGICINFO IN	DVI IN:DVI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。 MAGICINFO IN:MagicInfo を使用するには、必ず DP-DVI ケーブルを接続してください。
DP OUT	DP ケーブルを使用して別の製品と接続します。
RGB IN	D-SUB ケーブルを使用してソース機器と接続します。
AV IN / COMPONENT IN	AV / コンポーネント アダプタを使用して、ソース機器と接続します。
IR OUT	外部センサー ボードを通じてリモコン信号を受信し、LOOP OUT を通じて信号を出力します。
RJ45	LAN ケーブルを使用して MDC に接続します。

ホルダー ワイヤ スタンドの組み立て



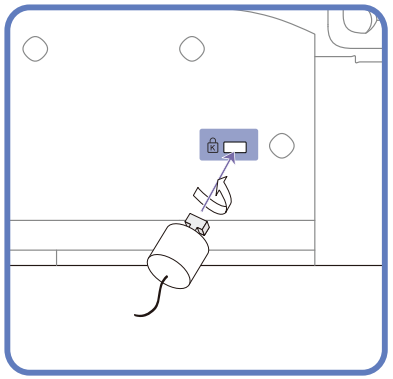
盗難防止用ロック

― 盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。

― ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。

― スタンド:別売り

盗難防止用ロック装置のロック方法



1 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。

2 ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。

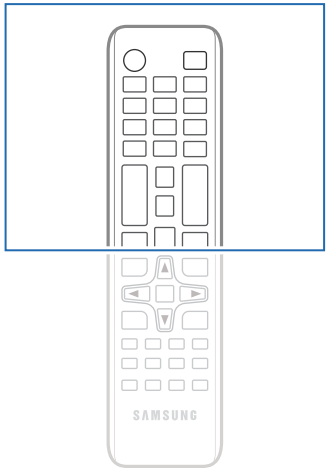
3 ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。

4 ロック装置をロックします。

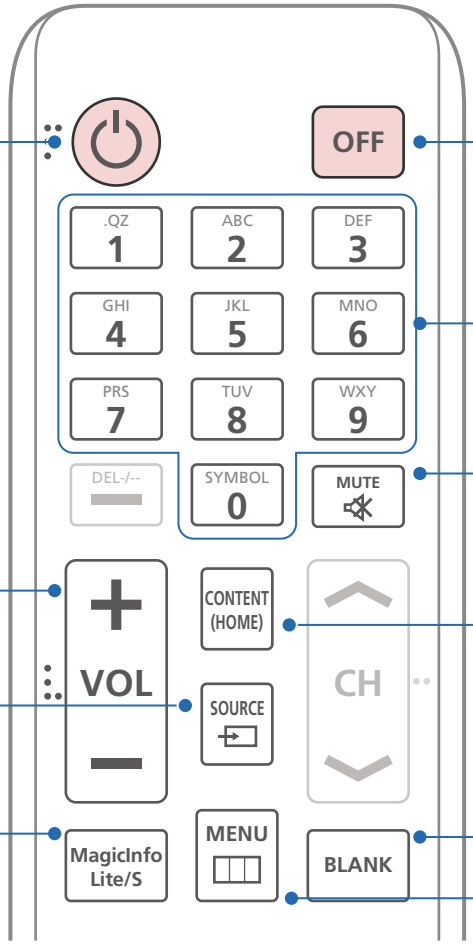
- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

リモコン

― 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。



– 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。



製品の電源をオンにします。

製品の電源をオフにします。

数字ボタン
OSD メニューでパスワードを入力する場合に使用します。

音声を消します。
消音の解除:MUTE を再度押すか、音量コントロール (+ VOL –) ボタンを押します。

音量を調整します。

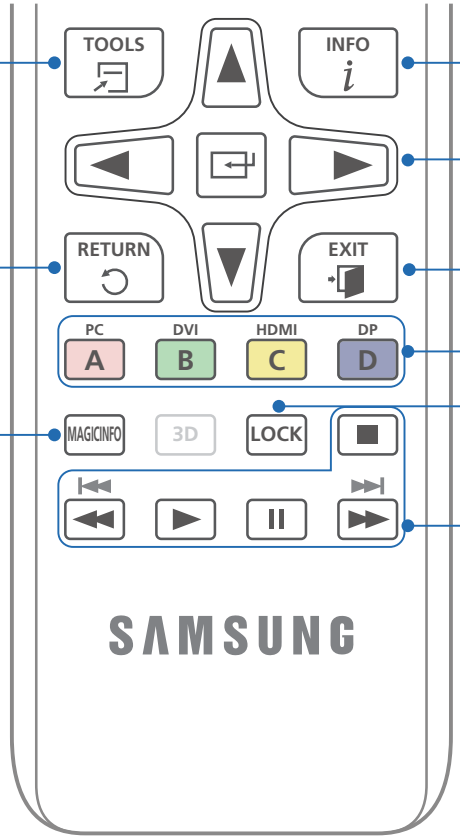
コンテンツ ホーム 起動ボタン。

入力ソースを変更します。

ビデオを一時的にオフにし、消音状態にします。
BLANK 機能を無効にする方法
– BLANK をもう一度押します。
– SOURCE を押します。
– 製品の電源をオフにし、再びオンにします。

MagicInfo Lite、**MagicInfo Premium S**、**MagicInfo Videowall S** 起動ボタン。
ボタンは **プレーヤー モード** の設定により異なる場合があります。

オンスクリーン メニューの表示/非表示を切り換えるか、前のメニューに戻ります。



よく使う機能を素早く選択します。

現在の入力信号についての情報を表示します。

上、下、左または右のメニューに移動するか、オプションの設定を調整します。
選択したメニューを確定します。

前のメニューに戻ります。

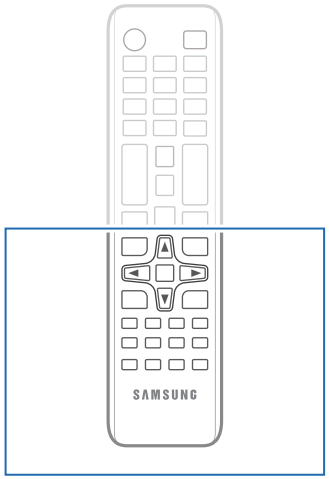
現在のメニューを終了します。

接続機器の入力端子を **PC**、**DVI**、**HDMI**、または **ディスプレイ ポート** から手動で選択する場合に使用します。

セーフロック機能を設定します。

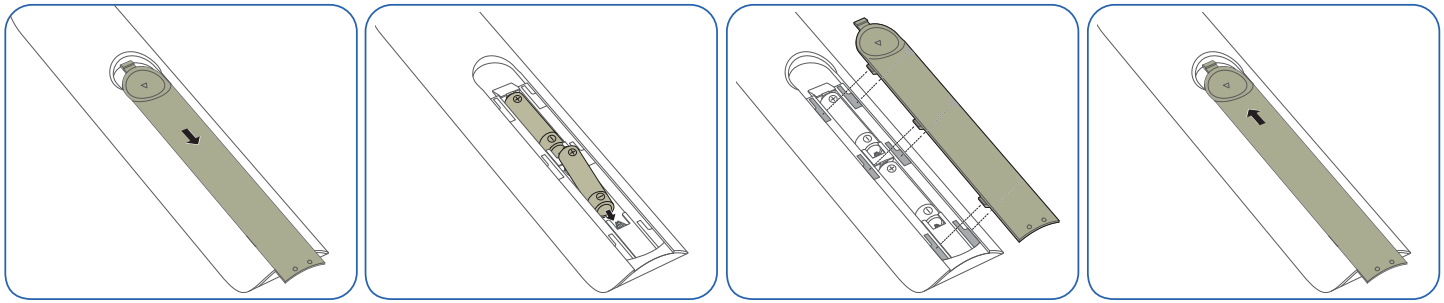
MagicInfo Quick 起動ボタン。
MagicInfo に対応していない製品では、このボタンは使用できません。
MagicInfo は、ネットワーク ボックスが接続されているときにのみ有効にすることができます。

ビデオ, **写真**, **音楽** および **Anynet+** モードでこれらのボタンを使用します。

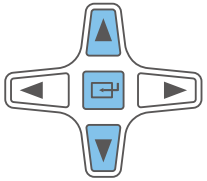
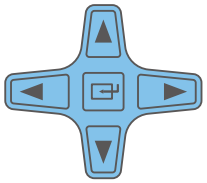
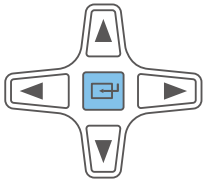


– 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。

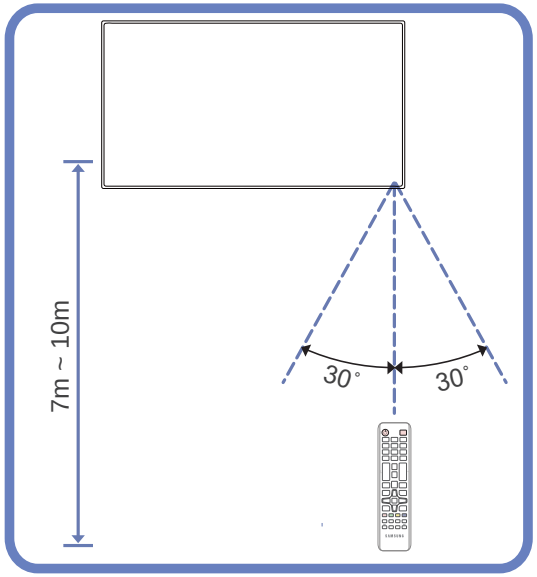
リモコンの電池交換方法



リモコンを使った OSD の調整

ボタン	説明
	1 OSD メニューを開きます。
	2 表示される OSD メニュー画面で **映像**、**サウンド**、**ネットワーク**、**システム** または **サポート** を選択します。
	3 目的の内容に変更します。
	4 設定を終了します。
	5 OSD メニューを閉じます。

リモコンの受信範囲



リモコンは、製品から 7～10 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

- 使用済み電池は、お子様の手の届かないところに保管してリサイクルしてください。
- 新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。両方の電池を同時に交換してください。
- リモコンを長期間使用しない間は、電池を取り外しておいてください。

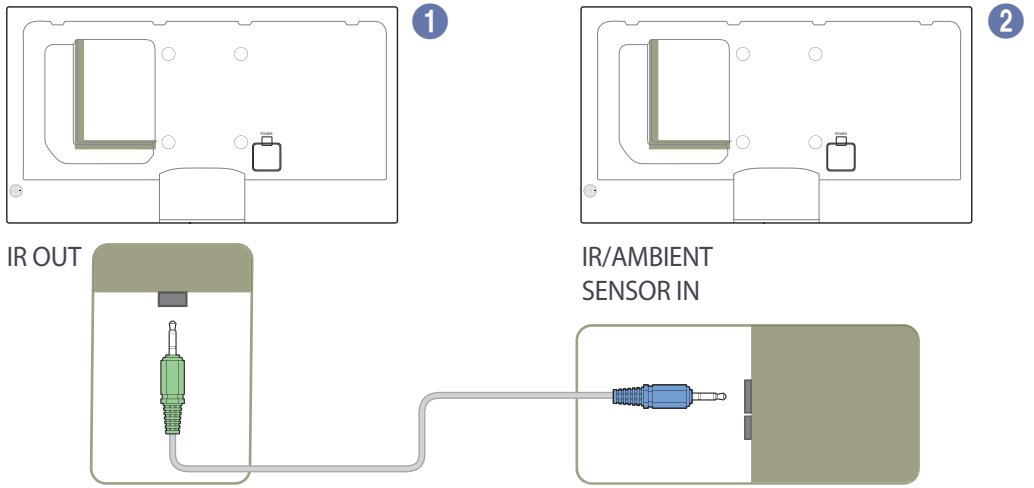
IR ステレオ ケーブル (別売り) を使用した接続

外部センサー キットを接続する前に、機器の電源をオフにします。接続後、機器の電源をオンにします。

リモコンを使用して複数のモニタ製品を制御する方法

- 専用のステレオ ケーブルを使用して、本製品の IR OUT ポートと他のモニタ製品の IR / AMBIENT SENSOR IN ポートを接続します。
- ディスプレイ製品 1 で指定したリモコンから送信された命令が、ディスプレイ製品 1 とディスプレイ製品 2 で受信されます。

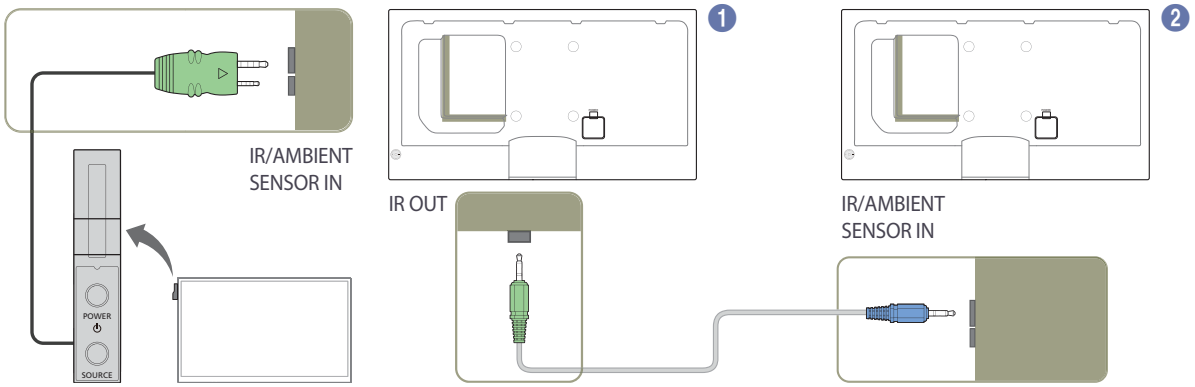
― 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



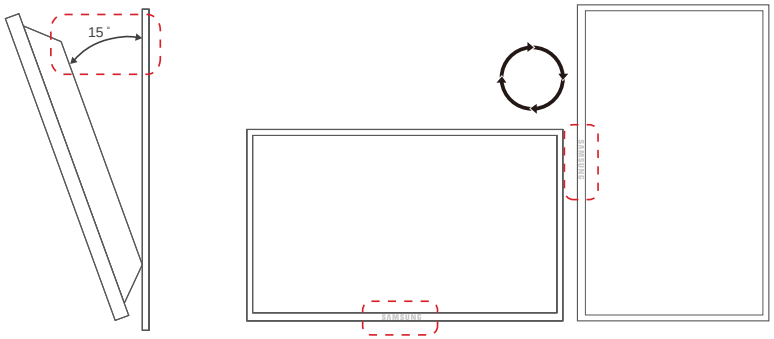
外部センサー キット (別売り) を使用して複数のディスプレイ製品を制御する方法

- ディスプレイ製品 1 (外部センサー キットが接続された製品) で指定したリモコンから送信された命令が、ディスプレイ製品 1 とディスプレイ製品 2 で受信されます。

― 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



製品の設置前に（設置ガイド）



ケガを予防するため、設置指示にしたがって本機器をしっかりと床または壁に取り付けてください。

- 壁に取り付ける場合は必ず、認定設置会社に依頼してください。
- 依頼せずに設置すると落下の原因となり、ケガにつながります。
- 必ず指定された壁設置を行ってください。

傾斜角度と回転

詳細は、Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせください。

- 製品は、垂直壁面から最大15˚ の角度まで傾斜させることができます。
- 製品を垂直姿勢（縦位置）で使用するには、製品を時計回りに回転させて LED を下向きにします。

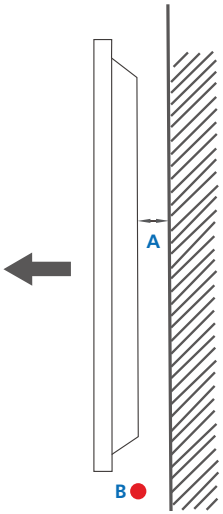


図 1.1 側面図

換気

垂直壁面への設置

A 40 mm 以上

B 周囲温度:35˚C 未満

- 製品を垂直壁面に設置する場合、換気および周囲温度を 35˚C 未満に維持するために、製品と壁面との間に 40 mm 以上の隙間を空けてください。

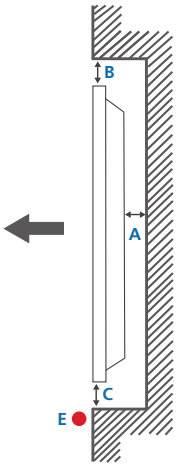
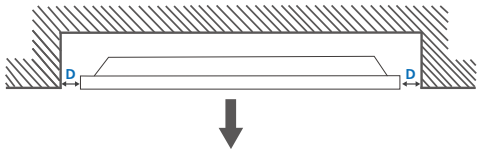


図 1.2 側面図

図 1.3 側面図



凹凸のある壁面への設置

― 詳細は、Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせください。

平面図

A 40 mm 以上

B 70 mm 以上

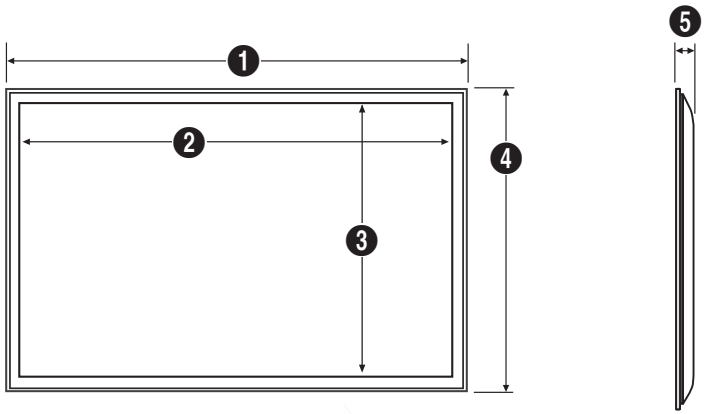
C 50 mm 以上

D 50 mm 以上

E 周囲温度:35˚C 未満

― 製品を凹凸のある壁面に設置する場合、換気のために製品と壁面との間に上記と同じ隙間を空け、周囲温度を 35˚C 未満に維持するようにしてください。

寸法

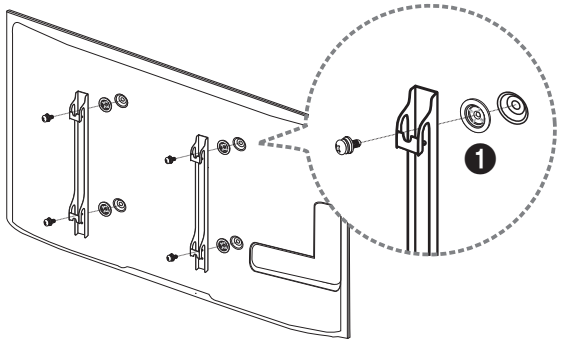


単位:mm

モデル名	1	2	3	4	5
ME32C	734.8	702.4	396.8	433.8	29.9
ME40C	922.1	890.6	503.2	539.4	29.9
ME46C	1057.6	1023.0	577.6	615.8	29.9
ME55C	1248.0	1213.6	684.4	722.4	29.9

― 図面は一部原寸に比例していないものを含みます。上記寸法は予告なく変更されることがあります。本製品の設置を行う前に寸法を確認してください。誤植などに関する責任は一切負いません。

ウォール マウントを設置する



ウォール マウントを設置する前の準備

他メーカーのウォール マウントを設置する場合は、ホルダー リング (❶) をご使用ください。

ウォール マウント キットの設置

本製品は、ウォール マウント キット (別売り) を使用して壁に設置することができます。

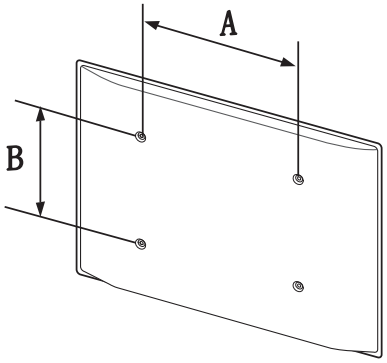
ウォール マウントの設置に関する詳細は、ウォール マウントに付属のマニュアルを参照してください。

ウォール マウント ブラケットを設置する際には、技術者に連絡してサポートを受けることをお勧めします。

Samsung Electronics はお客様自身によるウォール マウント設置の結果発生した本製品の損傷および人身への被害について一切の責任を負いません。

ウォール マウント キットの仕様 (VESA)

― 床に対して垂直になるように、ウォール マウントをしっかりとした壁に取り付けます。漆喰壁のような表面にウォール マウントを取り付ける場合、事前に最寄りの販売店に詳細情報を要求してください。
本製品を傾斜のある壁に設置すると、落下して大怪我につながる場合があります。



- Samsung 製ウォール マウント キットには、詳細な設置マニュアルと、組み立てに必要な各部品が同梱されています。
- 標準以上の長さのネジ、および VESA 規格のネジ仕様に適合しないネジはご使用にならないでください。
長すぎるネジは、本製品の内部を傷つける恐れがあります。
- VESA 規格のネジ仕様に適合していないウォール マウントの場合、ウォール マウントの仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- ネジはきつく締めすぎないようにしてください。本製品の損傷や落下につながり、ケガを招く恐れがあります。
Samsung はこれらの事故に関して一切責任を負いません。
- VESA 規格に適合しないウォール マウントや指定外のウォール マウントをご使用の場合、および製品の設置説明書に従わなかった場合に生じた製品の損傷や人身に対する被害について Samsung は責任を負いません。
- 15 度以上の傾斜で本製品を取り付けないようにしてください。
- 本製品を壁に取り付ける際には、必ず二人以上で行ってください。
- ウォール マウント キットの標準寸法は下表のとおりです。

単位:mm

モデル名	VESA 規格のネジ穴仕様 (A * B) [ミリ]	標準ネジ	個数
ME32C	200 × 200	M8 / L14~16	4
ME40C			
ME46C	400 × 400		
ME55C			

― 本製品の電源が入っている状態でウォール マウント キットを設置しないでください。感電による被害につながる恐れがあります。

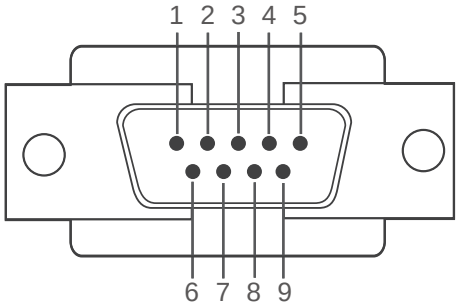
リモコン (RS232C)

ケーブル接続

RS232C ケーブル

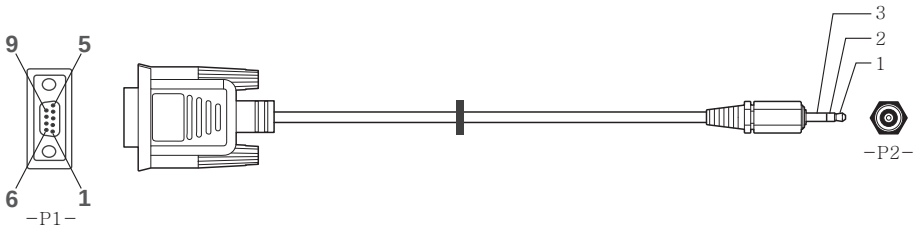
インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No.2)、RxD (No.3)、GND (No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット:	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

- ピン配置



ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	信号グラウンド
6	DSR (Data Set Ready)
7	送信リクエスト
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

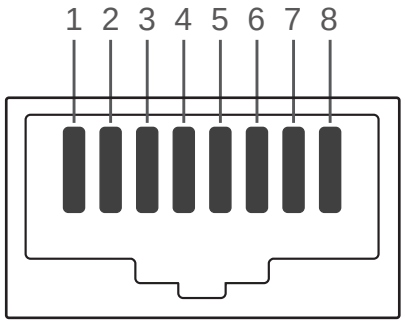
- RS232C ケーブル
  コネクタ:ステレオ ケーブルを接続する 9 ピン D-Sub



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	——→	3	Tx	ステレオ
	Tx	3	←——	2	Rx	プラグ
	Gnd	5	——	5	Gnd	(3.5ø)

LAN ケーブル

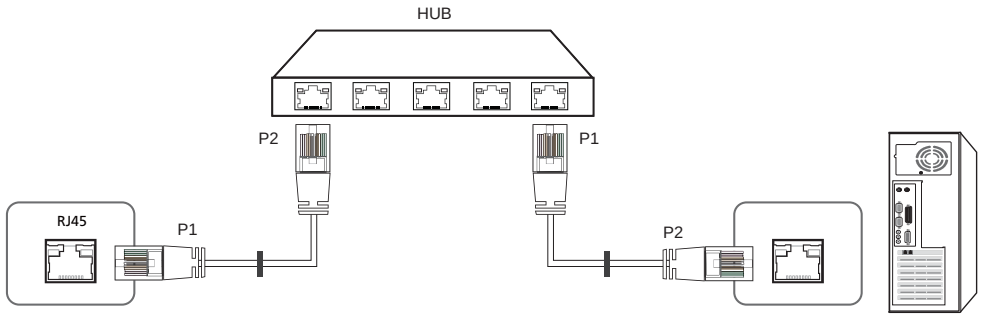
- ピン配置



ピン番号	標準色	信号
1	白色と橙色	TX+
2	橙色	TX-
3	白色と緑色	RX+
4	青色	NC
5	白色と青色	NC
6	緑色	RX-
7	白色と茶色	NC
8	茶色	NC

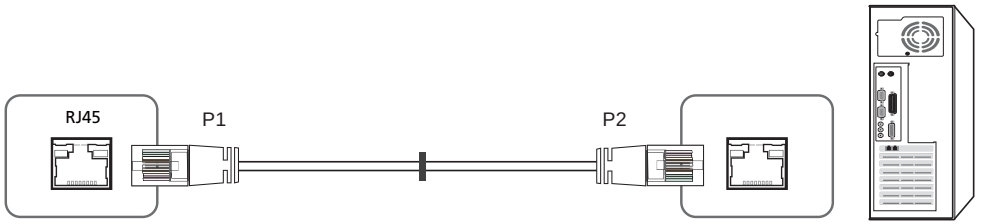
・ コネクタ:RJ45

ダイレクト LAN ケーブル (PC から HUB へ)



信号	P1		P2	信号
TX+	1	<-------->	1	TX+
TX−	2	<-------->	2	TX−
RX+	3	<-------->	3	RX+
RX−	6	<-------->	6	RX−

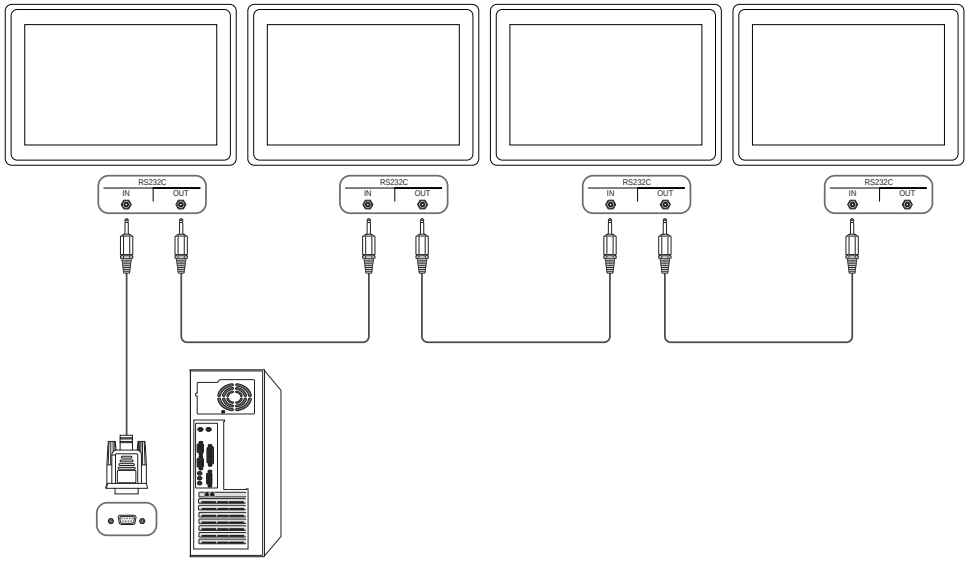
クロス LAN ケーブル (PC から PC へ)



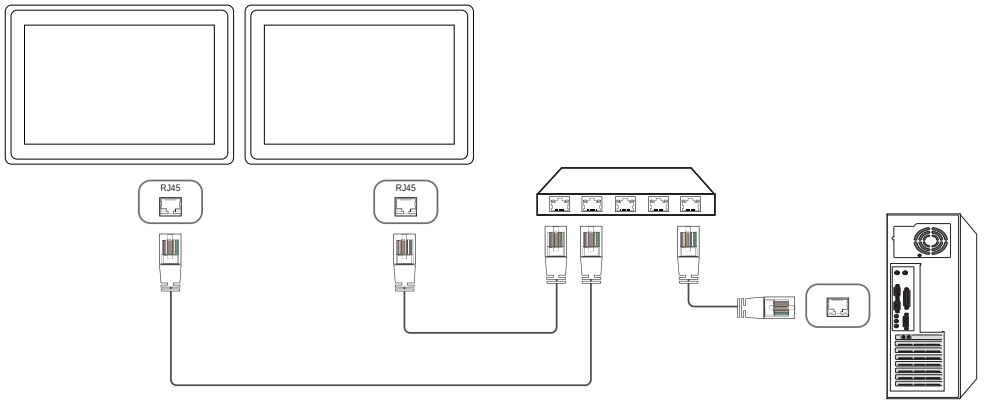
信号	P1		P2	信号
TX+	1	<-------->	3	RX+
TX−	2	<-------->	6	RX−
RX+	3	<-------->	1	TX+
RX−	6	<-------->	2	TX−

接続

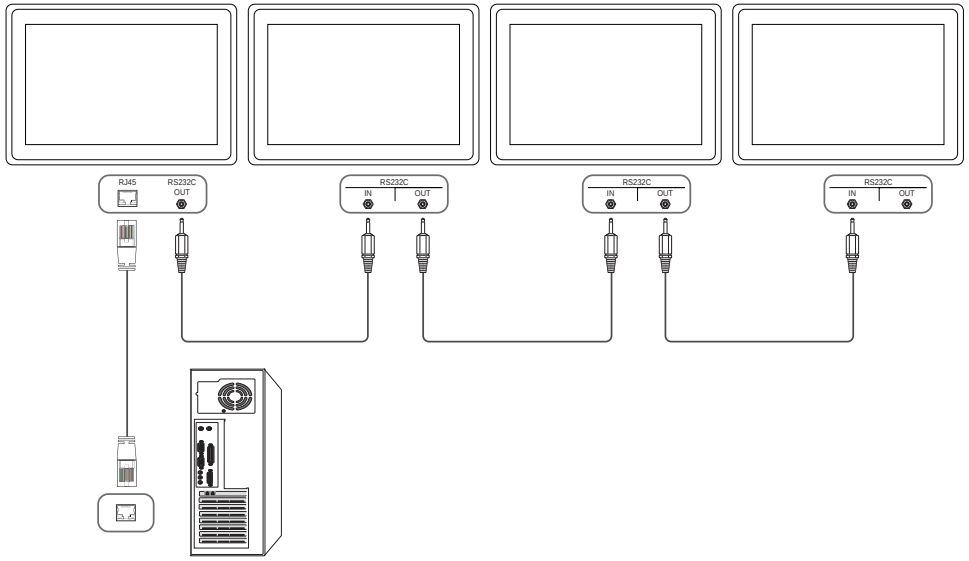
- 接続 1



- 接続 2



- 接続 3



制御コード

制御状態の表示 (制御コマンド取得)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

制御 (制御コマンドのセット)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

コマンド

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面モード制御	0x18	-
5	画面サイズ制御	0x19	0~255
6	PIP オン/オフ制御	0x3C	0~1
7	自動調整制御(PC、BNCのみ)	0x3D	0
8	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
9	安全ロック	0x5D	0~1
10	ビデオ ウォール オン	0x84	0~1
11	ビデオ ウォール ユーザー制御	0x89	-

- 実行されるすべての通信は、16 進数です。チェックサムの計算は、ヘッダを除くすべての値を合計して行います。以下に示すようにチェックサムの合計が 2 桁を超える場合は (11+FF+01+01=112)、最初の桁を消します。

例: 電源 On & ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

- シリアルケーブルで接続されたすべてのデバイスを ID に関わらず同時に制御するには、ID を "0xFE" に設定してコマンドを送信します。コマンドはデバイスごとに実行されますが、ACK は返されません。

電源制御

- 機能
  製品の電源オン / オフは、PC を使用して行うことができます。
- 電源状態の表示 (Get Power ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

- 電源 オン / オフの設定 (Set Power ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

"Power":製品に設定する電源コード。

1: 電源オン

0: 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x11	"Power"	

"Power":製品に設定する電源コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x11	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード。

音量制御

- 機能
  製品の音量は、PC を使用して調整することができます。
- 音量状態の表示 (Get Volume Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

- 音量の設定 (Set Volume)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	"Volume"	

"Volume":製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x12	"Volume"	

"Volume":製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x12	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード。

入力信号制御

- 機能
  製品の入力ソースは、PC を使用して変更することができます。
- 入力信号状態の表示 (Get Input Source Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定 (Set Input Source)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	"Input Source"	

"Input Source":製品に設定する入力ソース コード。

0x14	PC
0x18	DVI
0x0C	入力信号
0x08	コンポーネント
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_video
0x30	RF(TV)
0x40	DTV
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	DisplayPort

— DVI_video、HDMI1_PC および HDMI2_PC は、Set コマンドと共に使用できません。これらの入力信号は、"Get" コマンドにのみ応答します。

— 本モデルは、HDMI1、HDMI1_PC、HDMI2、および HDMI2_PC ポートには対応していません。

— **MagicInfo** は、**MagicInfo** 機能を備えるモデルでのみ使用することができます。

— RF (TV) および DTV は、TV を使用するモデルでのみ使用することができます。

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x14	"Input Source"	

"Input Source":製品に設定する入力ソース コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x14	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード。

画面モード制御

- 機能
  製品の画面モードは、PC を使用して変更することができます。
  画面モードは、**画像分割** 機能が有効になっているときには制御できません。
  ― この制御は、TV を使用するモデルにのみ使用することができます。
- 画面ステータスの表示 (Get Screen Mode Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x18		0	

- 映像サイズの設定 (Set Picture Size)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x18		1	"Screen Mode"	

"Screen Mode":製品のステータスを設定するコード

0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x18	"Screen Mode"	

"Screen Mode":製品のステータスを設定するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x18	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

画面サイズ制御

- 機能
  製品の画面サイズは、PC を使用して変更することができます。
- 画面サイズの表示 (Get Screen Size Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x19	"Screen Size"	

"Screen Size":製品の画面サイズ (範囲:0-255、単位:インチ)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x19	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

PIP オン/オフ制御

- 機能
  製品の PIP モードは、PC を使用してオン/オフすることができます。
  — PIP 機能を搭載したモデルでのみ利用できます。
  — このモードは、**画像分割** が **オン** に設定されているときは制御できません。
  — この機能は **MagicInfo** では使用できません。
- PIP オン / オフ状態の表示 (Get the PIP ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x3C		0	

- PIP オン / オフの設定 (Set the PIP ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3C		1	"PIP"	

"PIP":製品の PIP モードをオン/オフするコード

1: PIP オン

0: PIPオフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3C	"PIP"	

"PIP":製品の PIP モードをオン/オフするコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3C	"PIP"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

自動調整制御(PC、BNCのみ)

- 機能
  PCを を使用して、PC システム画面を自動で調整します。
- 自動調整状態の表示 (Get Auto Adjustment Status)
  なし
- 自動調整の設定 (Set Auto Adjustment)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3D		1	"Auto Adjustment"	

"Auto Adjustment" :0x00 (常時)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3D	"Auto Adjustment"	

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3D	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

画面分割モード制御

- 機能
  画像分割 モードは、PC を使用して製品上で有効にすることができます。
  この制御は、**画像分割** が有効になっている製品でのみ使用できます。
- 画面分割モードの表示 (Get Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- 画面分割の設定 (Set Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode":Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

1: **フルモード**

0: **ナチュラルモード**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode":Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

安全ロック

- 機能
  PC を使用して、製品の **安全ロック** 機能のオン/オフを切り替えることができます。
  この制御は、電源のオン、オフに関わらずいつでも使用することができます。
- 安全ロック状態の表示 (Get Safety Lock Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロックの有効化または無効化 (Set Safety Lock Enable / Disable)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	"Safety Lock"	

"Safety Lock":製品に設定する安全ロック コード

1: オン

0: オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5D	"Safety Lock"	

"Safety Lock":製品に設定する安全ロック コード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x5D	"ERR"	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

ビデオ ウォール オン

- 機能
  PC を使用して製品のビデオ ウォール機能のオン/オフを切り替えます。
- ビデオ ウォールのオン/オフ状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x84		0	

- ビデオ ウォールのオン/オフの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x84		1	V.Wall_On	

- V.Wall_On :製品に設定するビデオ ウォール コード

1: ビデオ ウォール オン

0: ビデオ ウォール オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x84	V.Wall_On	

V.Wall_On :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x84	ERR	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

ビデオ ウォール ユーザー制御

- 機能
  PC を使用して製品のビデオ ウォール機能のオン/オフを切り替えます。
- ビデオ ウォールの状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x89		0	

- ビデオ ウォールの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	値1	値2	チェックサム
0xAA	0x89		2	Wall_Div	Wall_SNo	

Wall_Div:製品に設定されているビデオ ウォールの分割コード

10x10 ビデオ ウォール モデル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
オフ	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00
1	0x11	0x12	0x13	0x14	0x15	0x16	0x17	0x18	0x19	0x1A	0x1B	0x1C	0x1D	0x1E	0x1F
2	0x21	0x22	0x23	0x24	0x25	0x26	0x27	0x28	0x29	0x2A	0x2B	0x2C	0x2D	0x2E	0x2F
3	0x31	0x32	0x33	0x34	0x35	0x36	0x37	0x38	0x39	0x3A	0x3B	0x3C	0x3D	0x3E	0x3F
4	0x41	0x42	0x43	0x44	0x45	0x46	0x47	0x48	0x49	0x4A	0x4B	0x4C	0x4D	0x4E	0x4F
5	0x51	0x52	0x53	0x54	0x55	0x56	0x57	0x58	0x59	0x5A	0x5B	0x5C	0x5D	0x5E	0x5F
6	0x61	0x62	0x63	0x64	0x65	0x66	0x67	0x68	0x69	0x6A	0x6B	0x6C	0x6D	0x6E	0x6F
7	0x71	0x72	0x73	0x74	0x75	0x76	0x77	0x78	0x79	0x7A	0x7B	0x7C	0x7D	0x7E	N/A
8	0x81	0x82	0x83	0x84	0x85	0x86	0x87	0x88	0x89	0x8A	0x8B	0x8C	N/A	N/A	N/A
9	0x91	0x92	0x93	0x94	0x95	0x96	0x97	0x98	0x99	0x9A	0x9B	N/A	N/A	N/A	N/A
10	0xA1	0xA2	0xA3	0xA4	0xA5	0xA6	0xA7	0xA8	0xA9	0xAA	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
11	0xB1	0xB2	0xB3	0xB4	0xB5	0xB6	0xB7	0xB8	0xB9	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
12	0xC1	0xC2	0xC3	0xC4	0xC5	0xC6	0xC7	0xC8	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
13	0xD1	0xD2	0xD3	0xD4	0xD5	0xD6	0xD7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
14	0xE1	0xE2	0xE3	0xE4	0xE5	0xE6	0xE7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
15	0xF1	0xF2	0xF3	0xF4	0xF5	0xF6	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Wall_SNo :製品に設定されている製品番号コード

10x10 ビデオ ウォール モデル : (1 ~ 100)

設定番号	データ
1	0x01
2	0x02
...	...
99	0x63
100	0x64

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	値2	チェックサム
0xAA	0xFF		4	'A'	0x89	Wall_Div	Wall_SNo	

- Nak

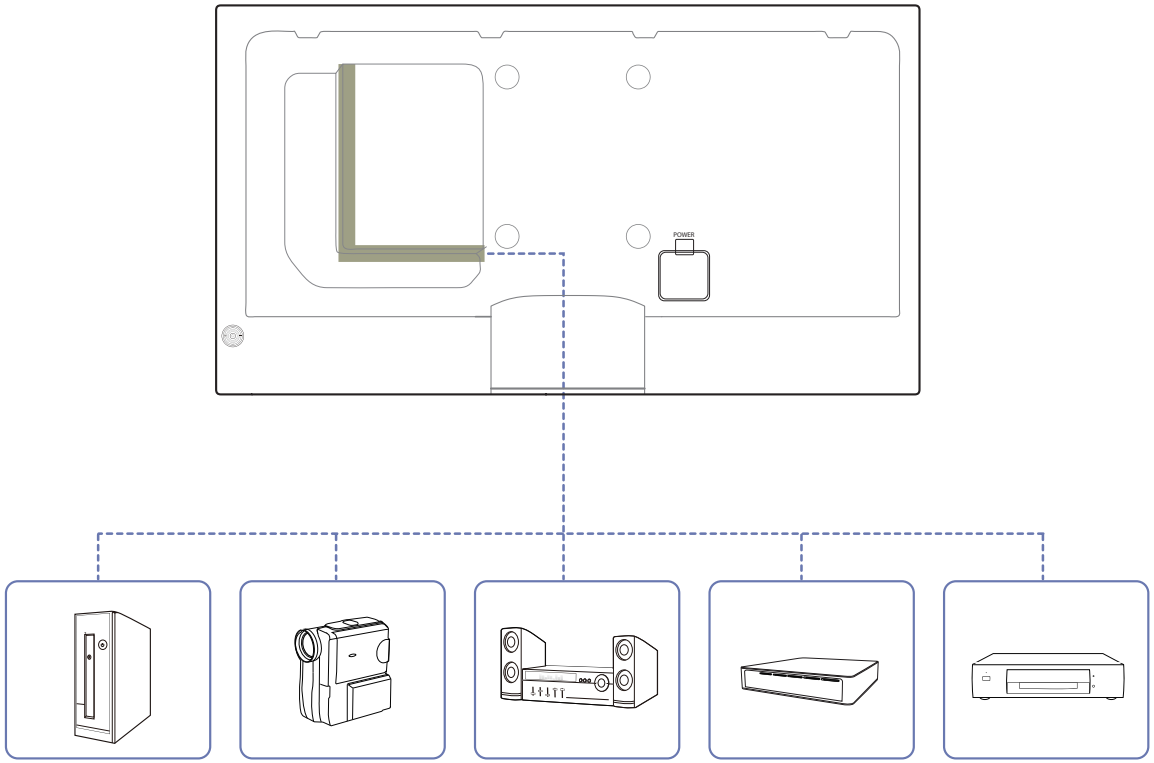
ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x89	ERR	

"ERR" :発生したエラーを示すコード

第 3 章
入力信号デバイスの接続と使用

接続の前に

製品に他のデバイスを接続する前に、以下をチェックします。この製品に接続可能なデバイスには、PC、カムコーダー、スピーカー、セット トップ ボックスおよび DVD/Blu-Ray ディスク プレイヤーが含まれます。



接続前のチェックポイント

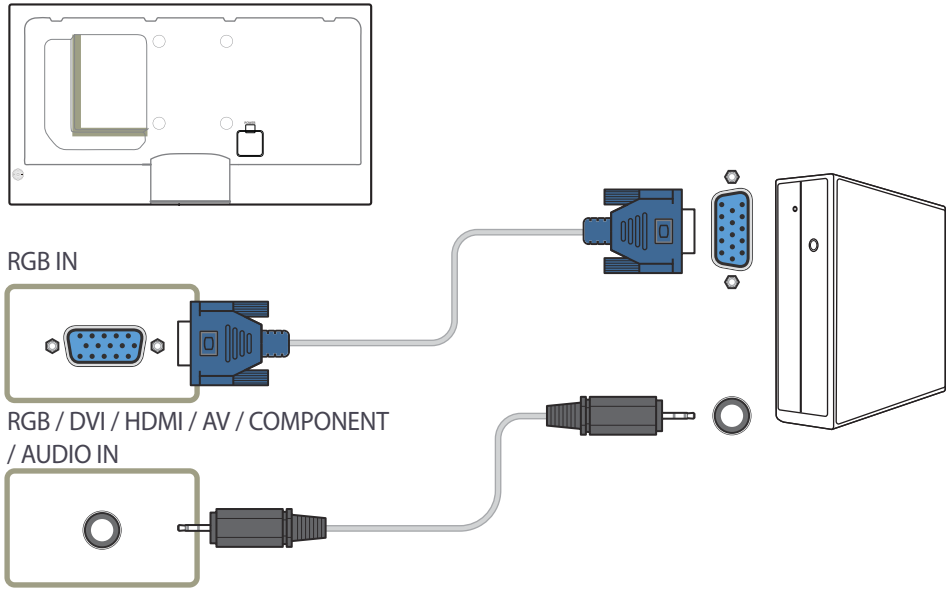
- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。
  入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。
  接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- サウンドポートは左に白、右に赤を正しく接続します。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

PC との接続

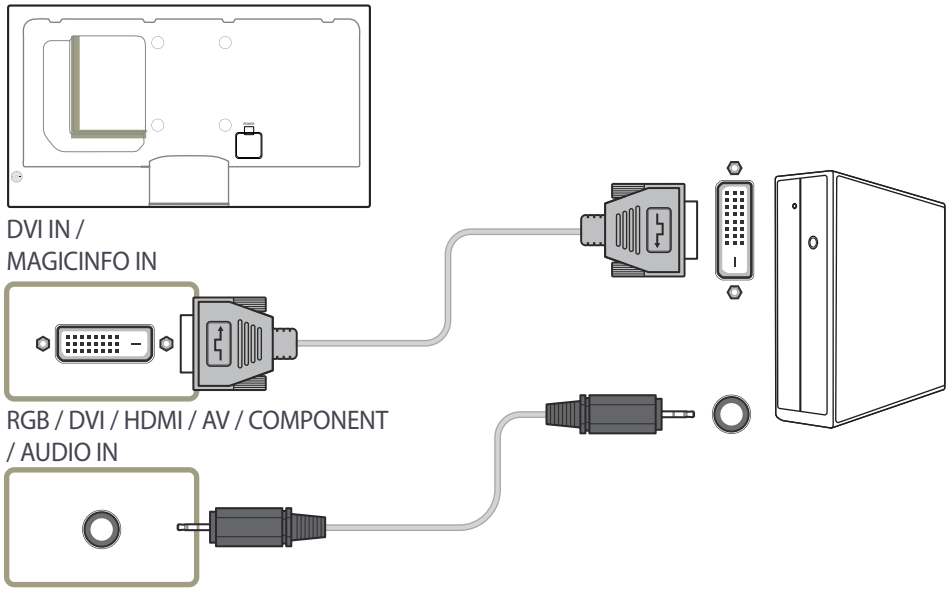
- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- 本製品には、PC を複数の方法で接続することができます。
  お使いの PC に適した接続方法を選んでください。

― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

D-SUB ケーブルを使用した接続 (アナログタイプ)

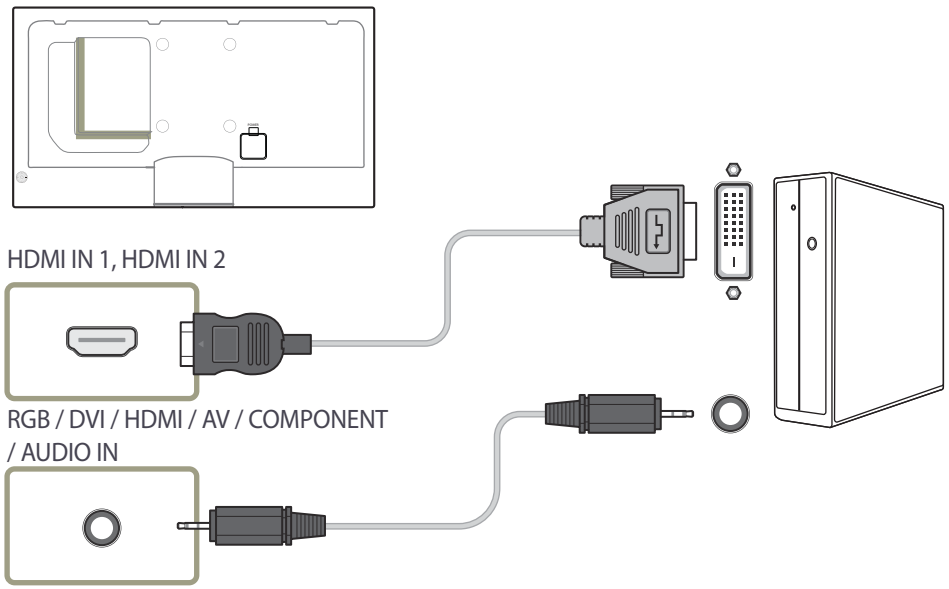


DVI ケーブルを使用した接続 (デジタルタイプ)

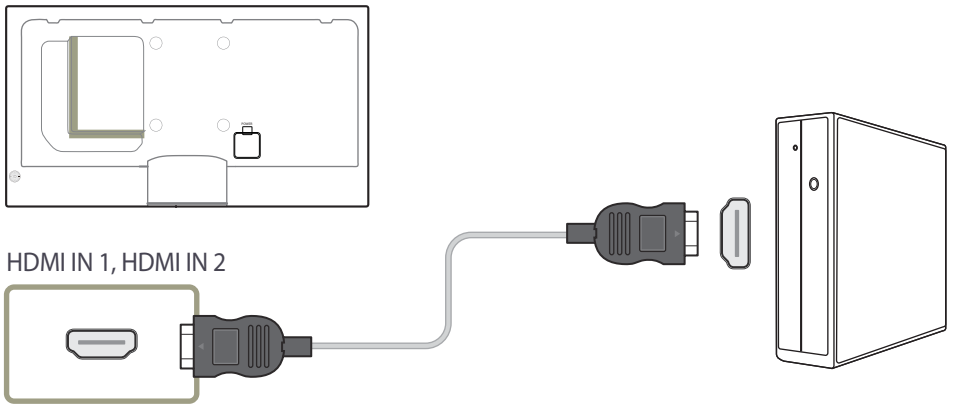


HDMI-DVI ケーブルを使用した接続

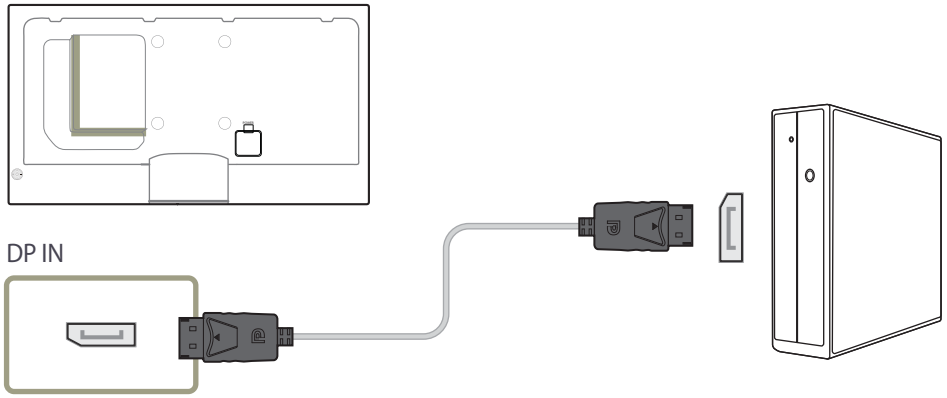
— HDMI-DVI ケーブルを使用して PC を製品に接続する場合、**名前の編集** を **DVI PC** に設定して、PC に保存されたビデオおよびオーディオ コンテンツにアクセスします。



HDMI ケーブルを使用した接続



DP ケーブルを使用した接続



- DP 使用に関する注意事項

  ― 製品の電源がオフまたは省電力モードの場合、スタンバイの電力容量を増やすために DP 通信は自動的に停止されます。
  製品がデュアル モニター モードの状態で電源がオフまたは省電力モードになっている場合、モニターの設定変更は反映されないことがあります。また、結果として画面も正しく表示されないことがあります。
  この場合、製品を使用する前に **省電力 (最大)** を **オフ** に設定してください。

  ― DP 基準に準拠していないグラフィック カードを使用している場合、省電力モードでは Windows の起動画面/BIOS 画面が表示されないことがあります。この場合、製品の電源をオンにした後で PC の電源をオンにしてください。

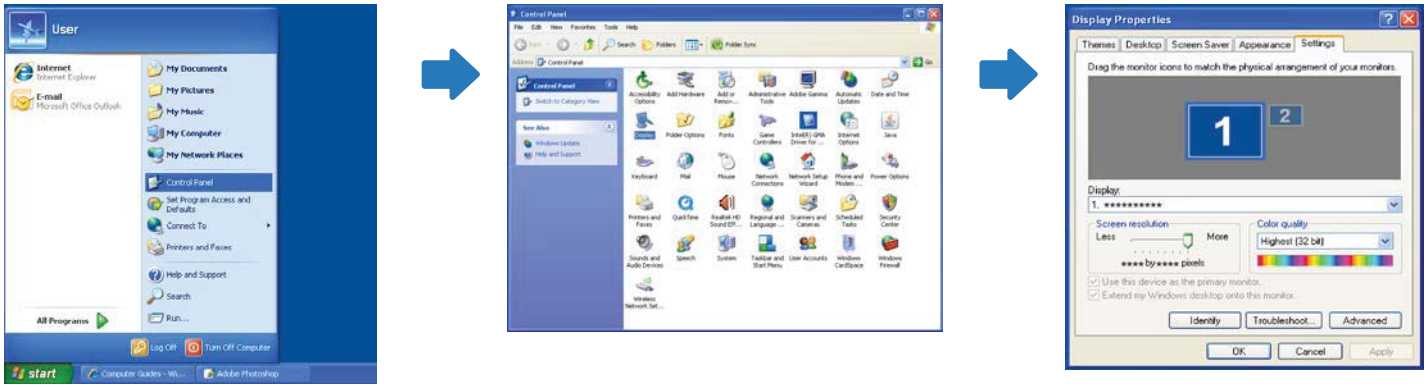
解像度の変更

― PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。

― 最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

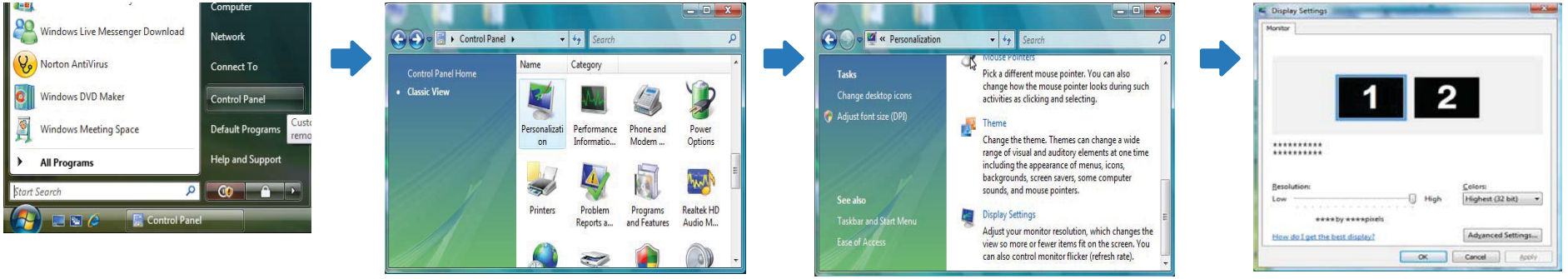
Windows XP での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **設定**に移動して、解像度を変更します。



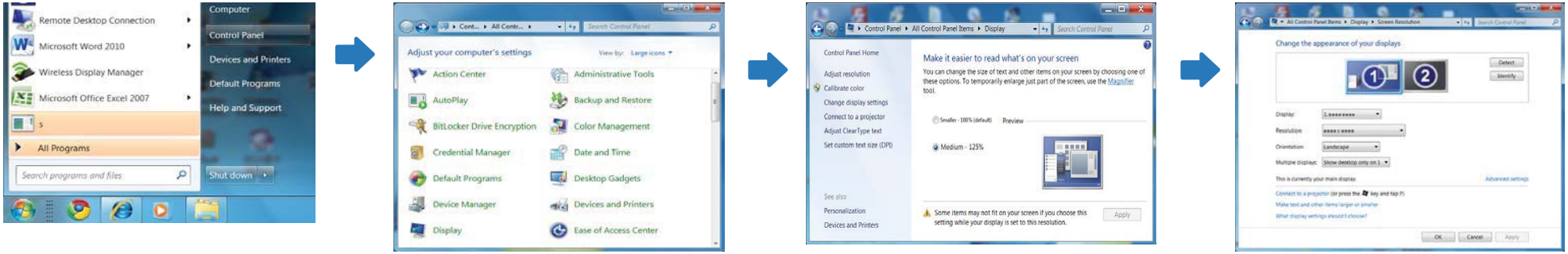
Windows Vista での解像度の変更

コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定**の順で選択して、解像度を変更します。



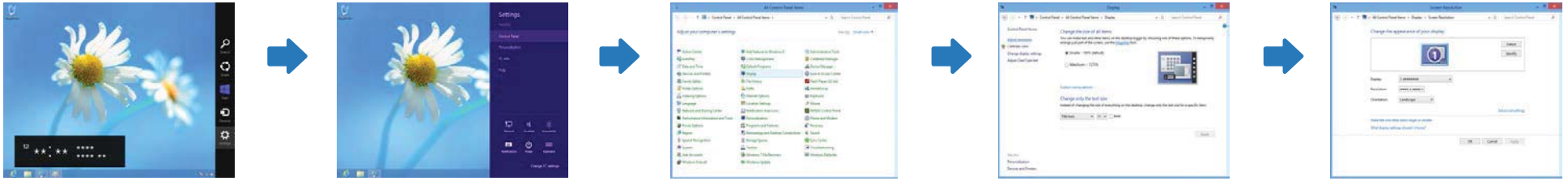
Windows 7 での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度**の順で選択して、解像度を変更します。



Windows 8 での解像度の変更

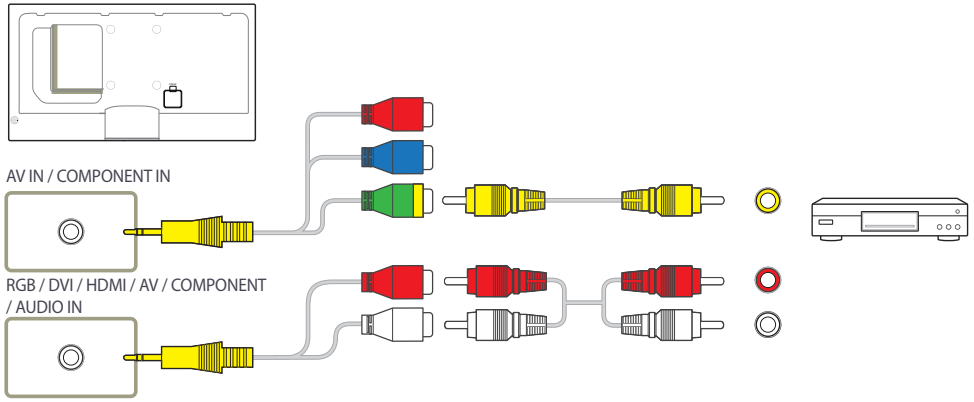
設定 → **コントロール パネル** → **画面** → **画面の解像度**の順で選択して、解像度を変更します。



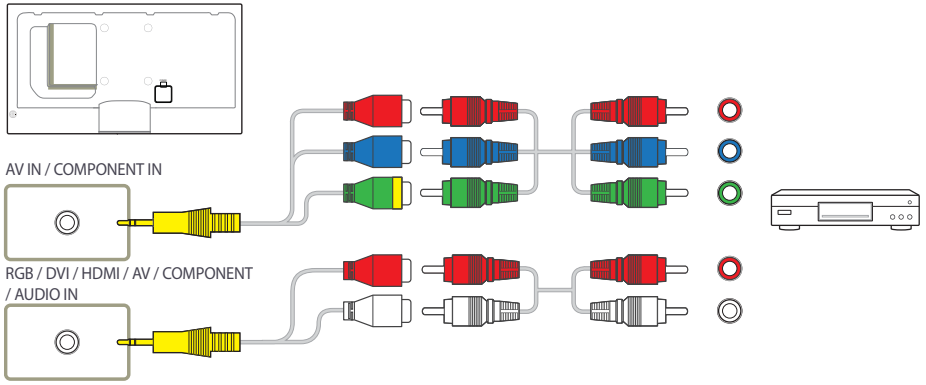
ビデオ機器との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- ケーブルを使用して、ビデオ デバイスを本製品に接続することができます。
  ― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
  ― リモコンの SOURCE ボタンを押して、ソースを変更します。

AV ケーブルを使用した接続



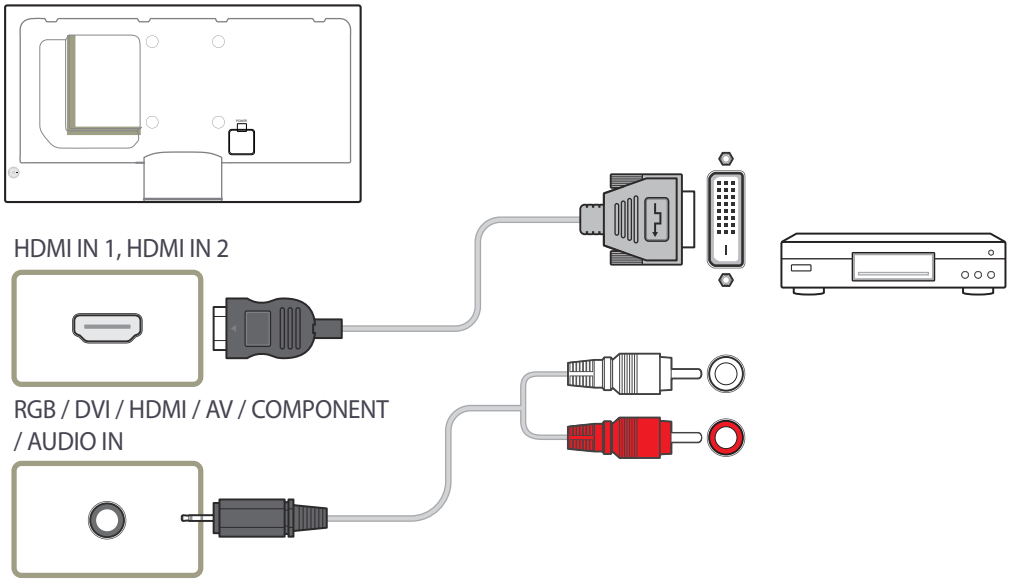
コンポーネント ケーブルを使用した接続



HDMI-DVI ケーブルを使用した接続

― 製品が HDMI-DVI ケーブルでビデオ デバイスに接続されている場合、オーディオは有効になりません。これを解決するには、製品とビデオ デバイスのオーディオ ポートにオーディオ ケーブルを追加します。HDMI-DVI ケーブルを使用してビデオ デバイスを本製品に接続する場合、**名前の編集** を **DVI デバイス** に設定して、ビデオ デバイスに保存されたビデオおよびオーディオ コンテンツにアクセスします。

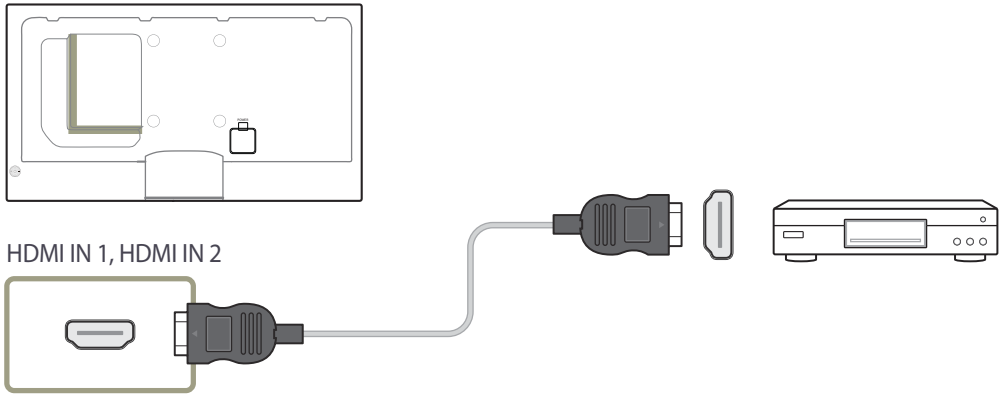
― サポートされる解像度には、1080p (50/60Hz)、720p (50/60Hz)、480p および 576p が含まれます。



HDMI ケーブルを使用した接続

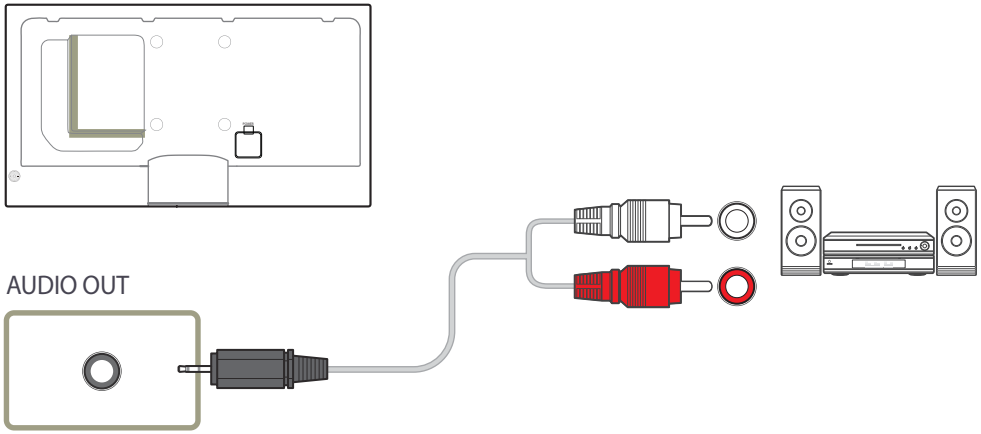
HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用する (1080pまで)

- 画質や音質を良くするためには、HDMI ケーブルを使用してデジタル デバイスに接続してください。
- HDMI ケーブルはデジタル ビデオ信号やデジタル オーディオ信号をサポートします。
  また、オーディオ ケーブルを必要としません。
  - HDMI 出力をサポートしないデジタル デバイスに製品を接続するには、HDMI-DVI ケーブルやオーディオ ケーブルを使用してください。
- 古いバージョンの HDMI モードを使用する外部機器を製品に接続している場合は、映像が正常に表示されなかったり (または全く表示されない)、音声が機能しないことがあります。
  このような問題が起きた場合は、外部機器のメーカーに HDMI バージョンについて問い合わせ、バージョンが古い場合は最新のものを要求してください。
- HDMI ケーブルは 14 mm 以下のものを使用してください。
- 認定 HDMI ケーブルを購入してください。認定外の HDMI ケーブルを使用すると、映像が表示されなかったり接続エラーが起こることがあります。
- 標準ハイスピード HDMI ケーブル、またはイーサネット対応 HDMI ケーブルをお勧めします。
  本製品では HDMI を通したイーサネット機能はサポートしていません。



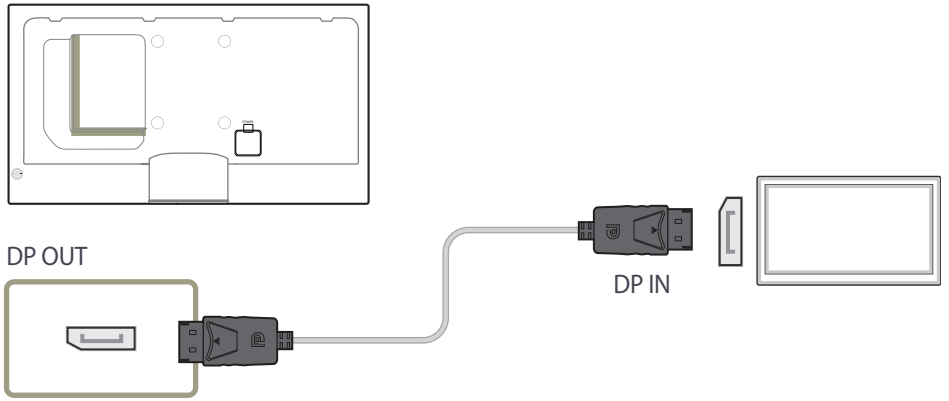
オーディオ システムに接続する

― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。



外部モニターを接続する

― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。



ネットワーク ボックスの接続 (別売り)

― ネットワーク ボックスの接続方法についての詳細は、ご購入のネットワーク ボックスに付属のユーザー マニュアルを参照してください。

MagicInfo

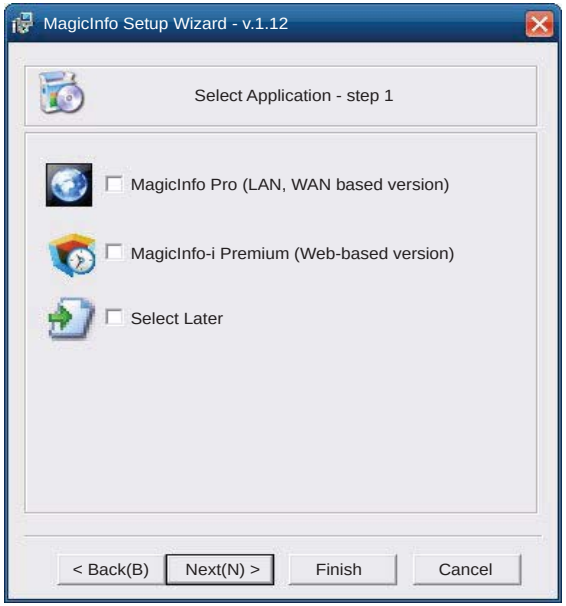
MagicInfo を使用するには、ネットワーク ボックス (別売り) を製品に接続する必要があります。

― MagicInfo 設定を変更するには、デスクトップの "MagicinfoSetupWizard" を実行します。

― **MagicInfo** の使用方法についての詳細は、ネットワーク ボックスに付属の DVD を参照してください。

― このセクションの情報は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

― ネットワーク ボックスを提供した以外のオペレーティング システムのインストールした、オペレーティング システムを以前のバージョンに戻した、あるいは所与のオペレーティング システムと互換性のないソフトウェアをアインストールした後に問題が発生した場合、技術サポートのサービスを受けることができなくなり、サービス技術者の出張費用も変更されます。製品の交換または返品も受け付けられません。



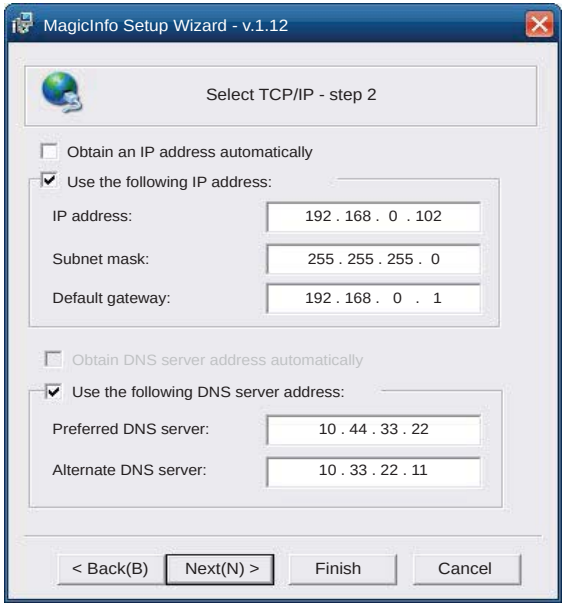
MagicInfo モードへの移行

1 ネットワーク ボックス (別売) を設置して製品に接続した後、製品をオンにします。

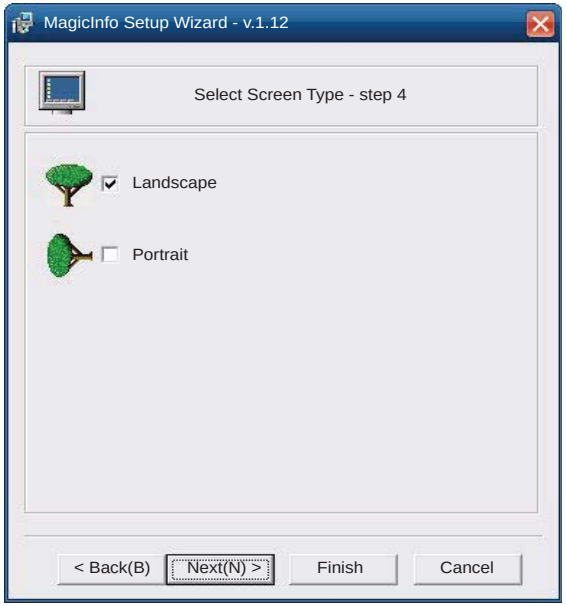
2 リモコンの SOURCE を押して、**MagicInfo** を選択します。

― 製品の DVI IN / MAGICINFO IN ポートにネットワーク ボックスを接続すると、**入力ソース** が **DVI** から **MagicInfo** に変わります。

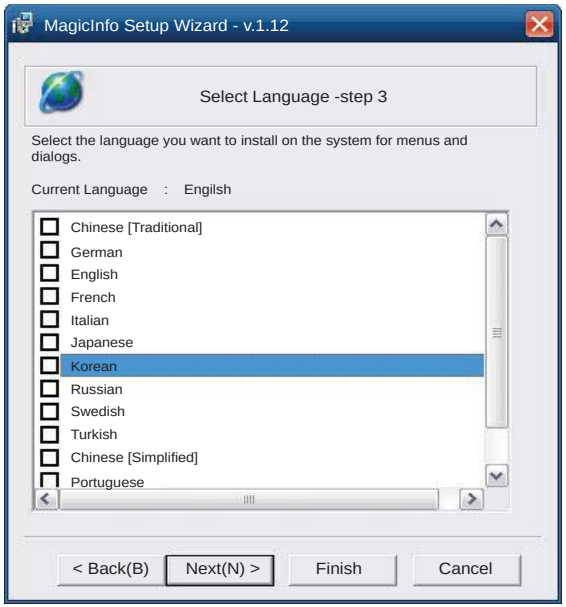
3 MagicInfo を起動したときに実行するデフォルトのアプリケーションを選択します。



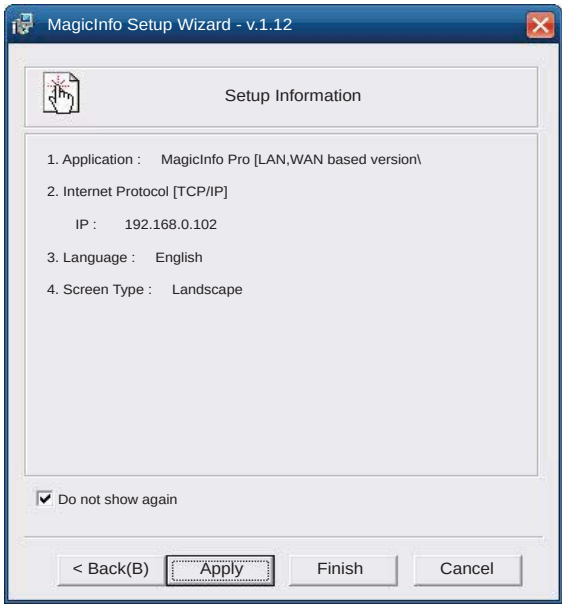
4 IP 情報を入力します。



6 ディスプレイ モードを選択します。



5 言語を選択します。(デフォルトの言語は English です。)



7 先ほど行った設定をダブルクリックします。

― 実行アイコンが表示されない場合は、デスクトップの **MagicInfo** アイコンをダブルクリックします。アイコンは画面の右下に表示されます。

入力ソースを変更する

入力ソース

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **入力ソース** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソース で入力信号を選択して、入力信号デバイス名を変更することができます。

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

— リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

— 変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

第 4 章
MDC の使用

マルチコントロール の設定

MENU → システム → マルチコントロール → ENTER
製品に個別の ID を割り当てます。

マルチコントロール の設定

- **ID 設定**
  セットに ID を割り当てます。(範囲: 0~99)
  ▲/▼ を押して数字を選択し、 を押します。
- **ID 入力**
  入力信号を受ける入力ケーブルに接続された製品の ID 番号を入力します。
  リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。
- **MDC 接続**
  MDC 信号を受信するための MDC との接続方法を選択します。
  - **RS232C MDC**
    RS232C MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。
  - **RJ45 MDC**
    RJ45 MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。
- **DisplayPort デイジー チェーン**
  DP IN 出力ポートを使用して DP OUT ビデオ入力を表示するには、SST (Single Stream Transport) および MST (Multi Stream Transport) からデバイスの接続方法を選択します。
  クローン: SST (Single Stream Transport) 出力モードでは、接続された 2 台のディスプレイ装置に同じ画面出力が表示されます。
  — **クローン** を選択すると、PC は 2 台のディスプレイを 1 つのモニターとして認識します。
  — **クローン** モードが有効になるのは、入力ソースが **ディスプレイ ポート** 以外のデジタル入力 (**DVI**、**HDMI1**、**HDMI2**、**MagicInfo**) の場合です。
  拡張: MST (Multi Stream Transport) モードでは、接続された 2 台のディスプレイ装置に異なる画面出力が表示されます。
  — **拡張** を選択すると、PC は 2 台のディスプレイを別個のモニターとして認識します。
  — このモードは、DisplayPort 1.2 MST をサポートしている PC でのみ機能します。
  — Full HD 解像度 (1920x1080) 表示の場合、最大 4 台のディスプレイを接続できます。

MDC プログラムのインストール / アンインストール

インストール方法

MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

2 MDC Unified のインストール プログラムをクリックします。

3 インストール用の言語を選択します。次に、[OK] をクリックします。

ソフトウェアのインストール ウィンドウがメイン画面に表示されない場合には、CD の MDC フォルダにある MDC Unified 実行ファイルを使用してインストールします。

4 "Welcome to the InstallShield Wizard for MDC_Unified" 画面が表示された場合は、[Next] をクリックします。

5 表示される [License Agreement] ウィンドウで、[I accept the terms in the license agreement] を選択して [Next] をクリックします。

6 表示される [Customer Information] ウィンドウで、すべての情報フィールドに入力して [Next] をクリックします。

ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

7 表示される [Destination Folder] ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを選択してから [Next] をクリックします。

8 表示される [Ready to Install the Program] ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから [Install] をクリックします。

9 インストールの進捗状況が表示されます。

[Launch MDC Unified] を選択して [Finish] をクリックすると、MDC プログラムが直ちに実行されます。

10 表示される [InstallShield Wizard Complete] ウィンドウで [Finish] をクリックします。

11 インストール後には、デスクトップ上に [MDC Unified] ショートカット アイコンが作成されます。

アンインストール

- MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。
- 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

1 [**スタート**] メニューの [**設定**] > [**コントロール パネル**] を選択して、[**プログラムの追加と削除**] をダブルクリックします。

2 リストから [MDC Unified] を選択して、[**変更/削除R**] をクリックします。

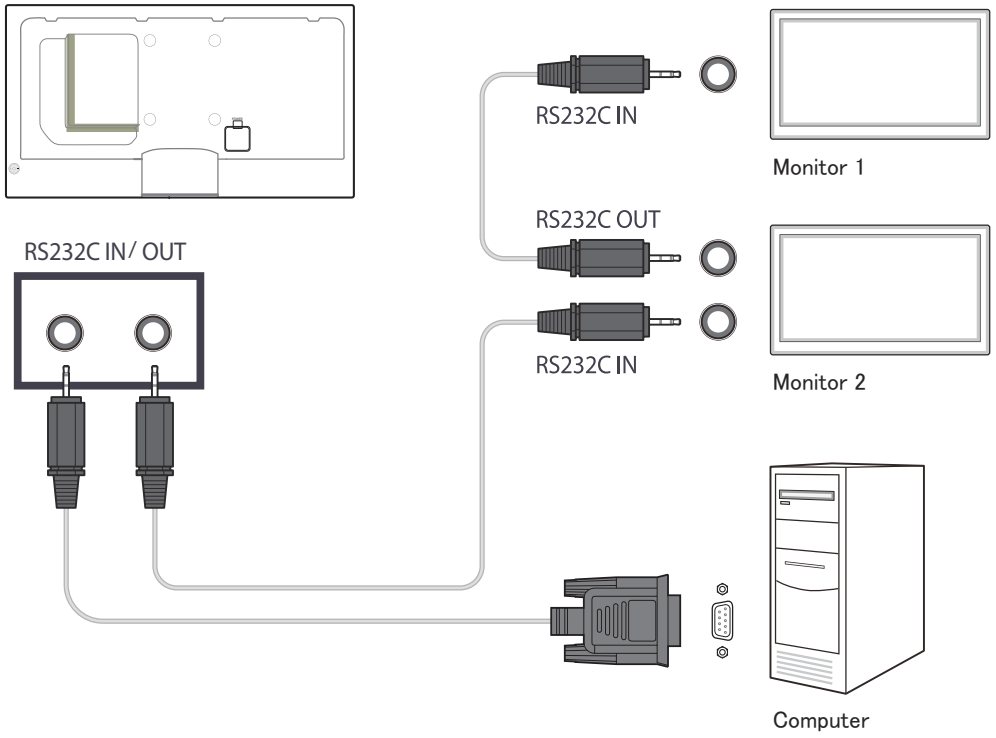
MDC とは?

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

MDC の接続

RS-232C (シリアル データ通信標準規格) による MDC の使用

RS-232C シリアル ケーブルを PC のシリアル ポートとモニターに接続します。

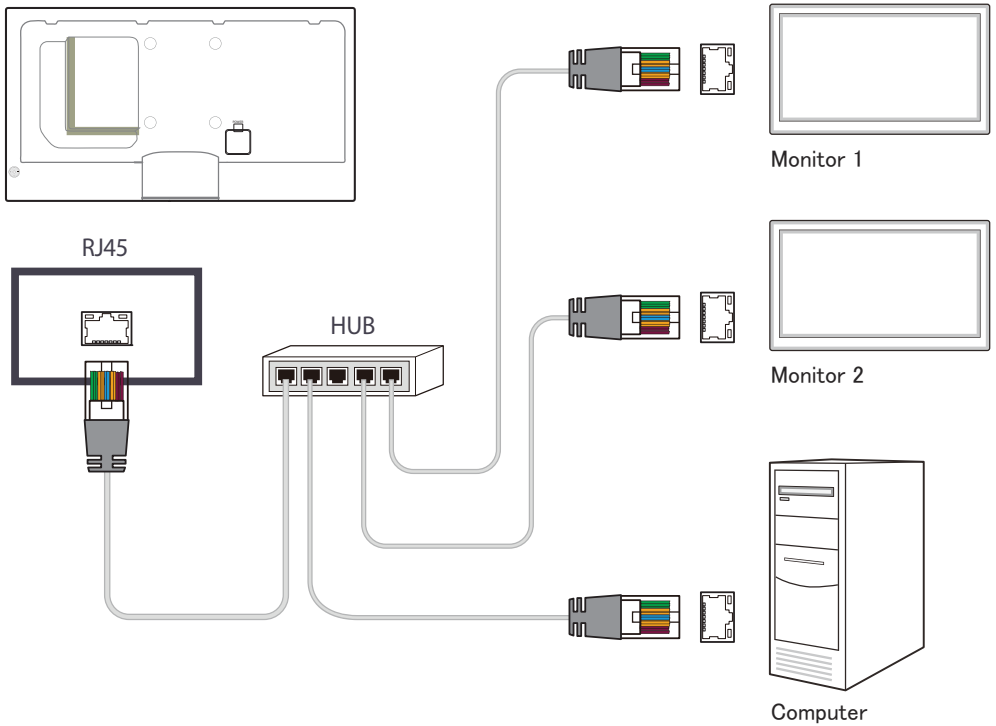


イーサネットによる MDC の使用

プライマリのディスプレイ装置の IP アドレスを入力して、PC にデバイスを接続します。
RS-232C シリアル ケーブルを使ってディスプレイ装置をもうひとつ接続できます。

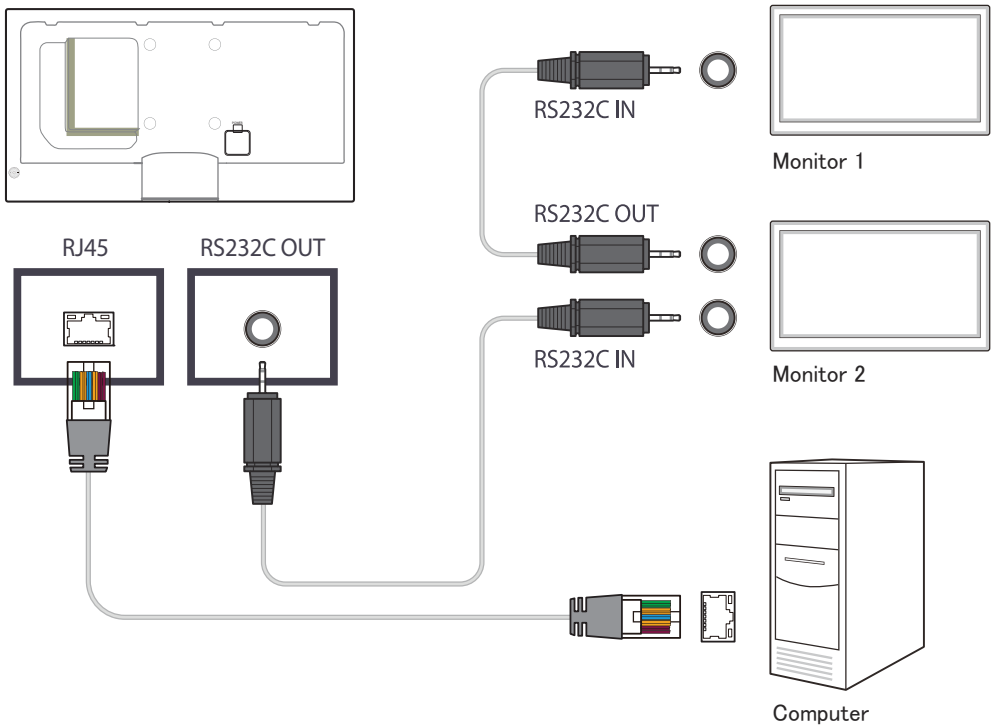
ダイレクト LAN ケーブルによる接続

— 本製品の RJ45 ポートと HUB の LAN ポートを使用して複数の製品を接続することができます。



クロス LAN ケーブルによる接続

― 本製品の RS232C IN / OUT ポートを使用して複数の製品を接続することができます。



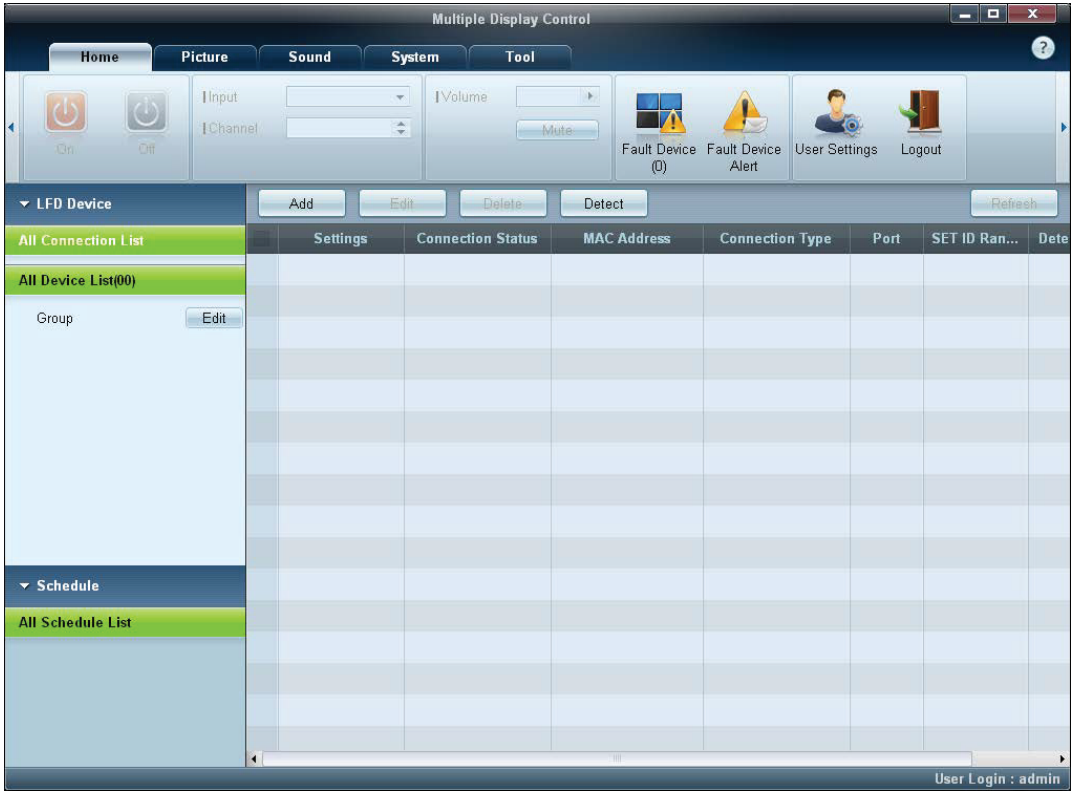
接続の管理

接続の管理には、接続リストと接続リスト変更オプションが含まれます。

接続リスト – 接続リストには接続設定 (IP/COM、ポート番号、MAC、接続タイプ) などの接続に関する詳細、接続状態、**Set ID Range**、および検出されたデバイスが表示されます。

接続ごとに、シリアル デイジー チェーン機能で接続したデバイスを最大 100 台収容できます。
接続から検出されたすべての LFD がデバイス リストに表示され、ユーザーによるグループ分けや検出されたデバイスへのコマンド送信ができます。

接続リスト変更オプション – 接続変更オプションには**Add**、**Edit**、**Delete**、および**Refresh**が含まれます。



User Login

プログラムを起動するとユーザー ログイン ウィンドウが表示されます。

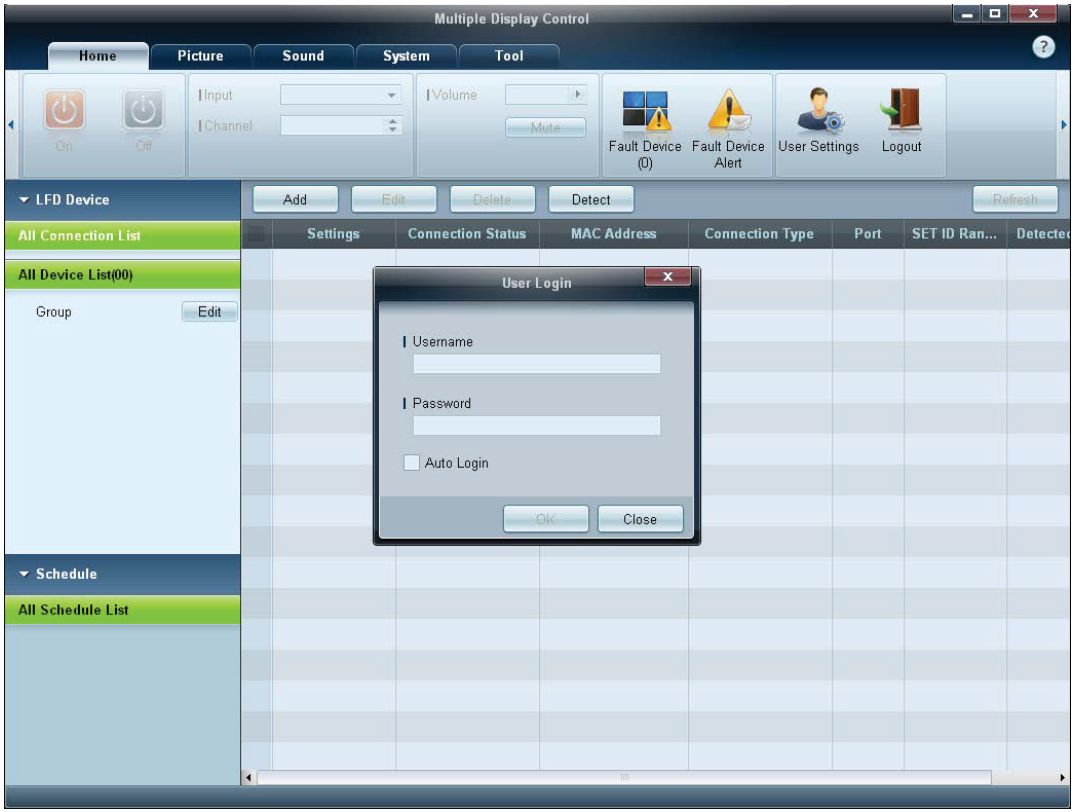
初期状態の ID (**password**: admin) とパスワード (**Auto Login**: admin) は、admin に設定されています。

― 安全のため、パスワードは初回ログイン後に必ず変更してください。

― パスワードを変更するには、**Home** > **User Settings** に移動します。

ログインに成功すると、プログラムの右下に [**User Login : admin**] と表示されます。

プログラムの再起動時に自動的にログインを行うには、**User Login** ウィンドウの **Auto Login** チェックボックスを選択します。



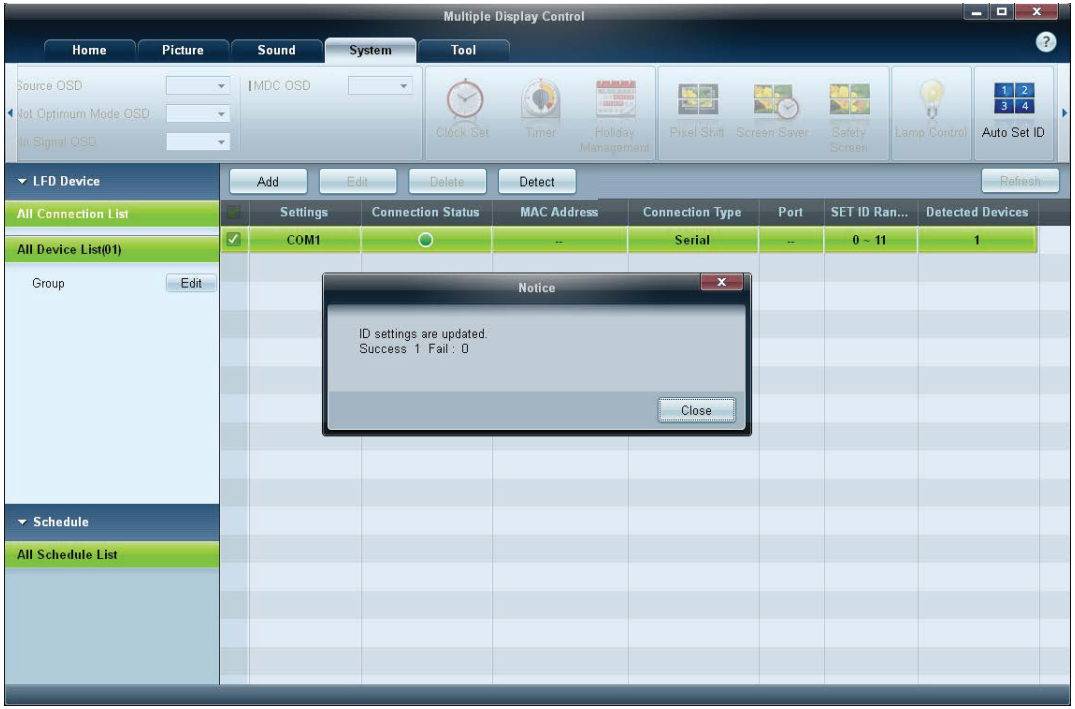
Auto Set ID

Auto Set ID機能により、選択した接続のデイジー チェーンに接続されたすべての LFD にセット ID が割り振られます。

接続あたりの LFD の最大数は 100 個です。

セット ID は、デイジー チェーンの並び順に 1 から 99 まで割り振られ、最後は セット ID 0 になります。

― 最後の 100 番目の LFD の ID は 0 に設定されます。

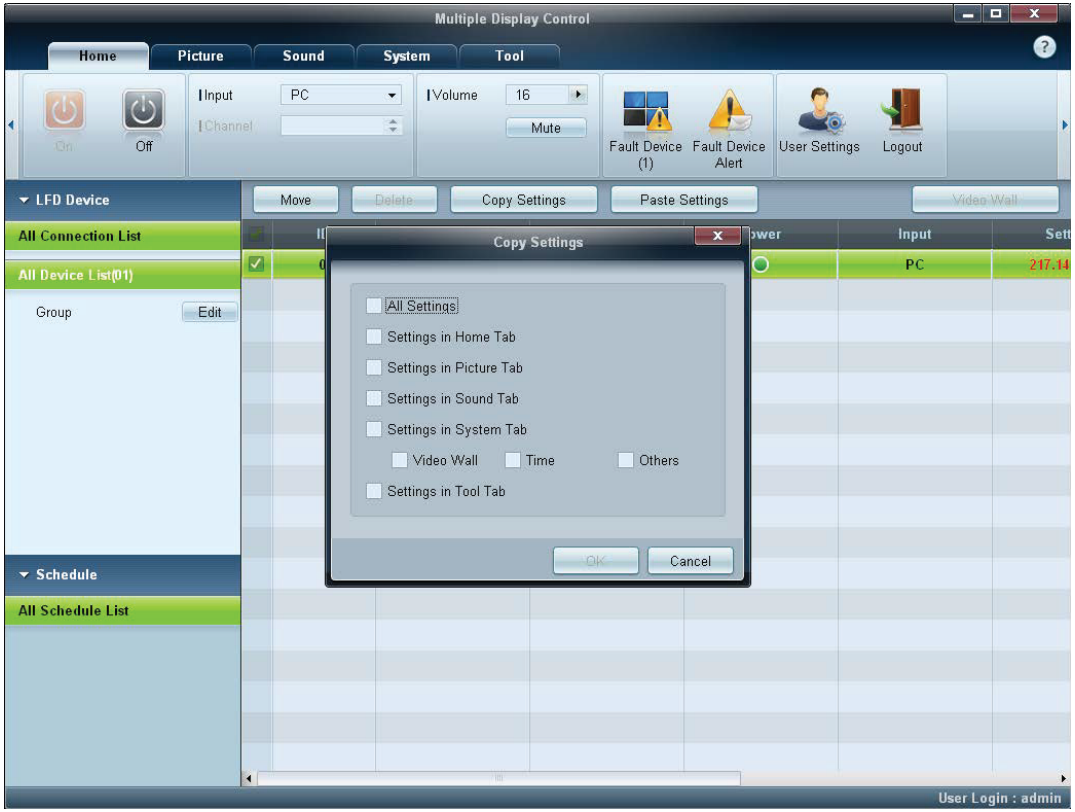


クローニング

クローニング機能を使うと、任意の LFD の設定をコピーして選択した複数の LFD に適用できます。

コピー設定オプション ウィンドウを使って、クローニングする特定のタブ カテゴリまたはすべてのタブ カテゴリを選択できます。

一度行った設定を削除するには、**Paste Settings** ボタンをクリックします。

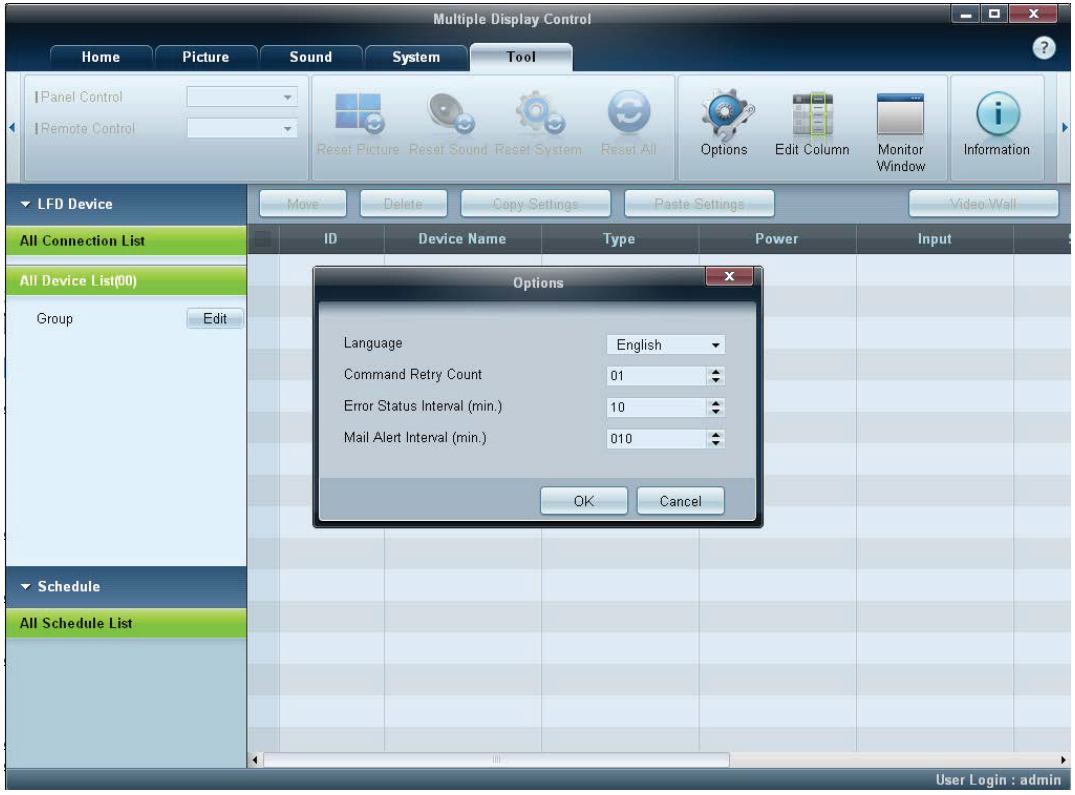


コマンドの再試行

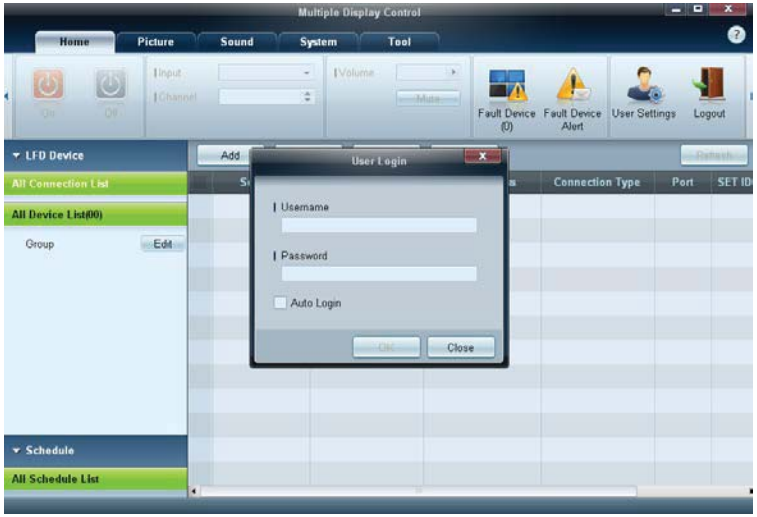
この機能は、LFD からの応答がないか応答が破損している場合に MDC コマンドを再試行する最大数を指定するのに使用します。

再試行カウント値は、MDC オプション ウィンドウから設定できます。

再試行カウント値は 1～10 の間の値とし、デフォルト値は 1 になります。



MDC を開始する

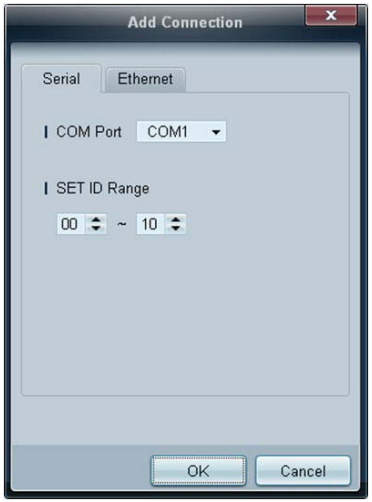


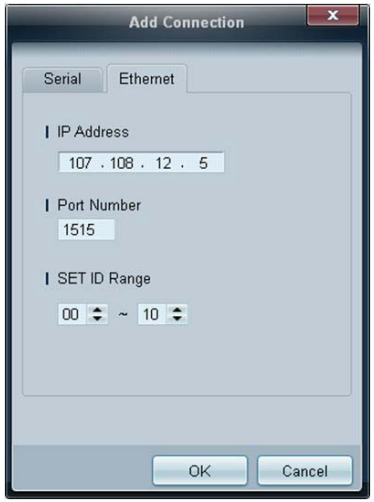
1 プログラムを起動するには、**スタート** → **プログラム** → **Samsung** → MDC Unified をクリックします。

MDC プログラムの起動後にログイン ウィンドウが表示されます。

ユーザー ID とパスワードを入力します。

- デフォルトのユーザー ID とパスワードは admin です。
- パスワードは最初のログイン後に必ず変更してください。



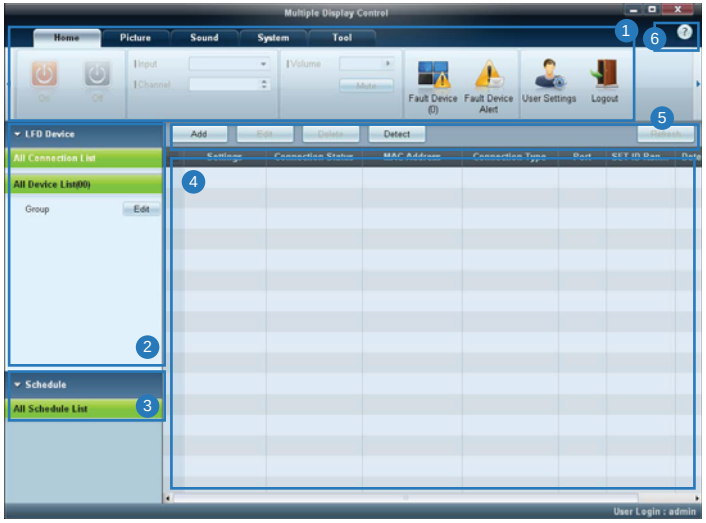


2 **Add**をクリックしてディスプレイ装置を追加します。

SET ID Range: モニターに割り当てる一意の ID の範囲を選択します。

- 接続が RS232C を介して確立されている場合は、**Serial**に移動して**COM Port**を指定します。
- 接続が**Ethernet**を介して接続されている場合は、ディスプレイ装置に関して入力した IP を入力します。

メイン画面のレイアウト



1 **メニュー バー**	ディスプレイ装置のステータスまたはプログラムのプロパティを変更します。
2 **デバイス分類項目**	接続されているデバイス装置またはデバイス グループをリスト表示します。
3 **スケジュール分類項目**	ディスプレイ装置のスケジュールをリスト表示します。
4 **セット リスト**	調整するディスプレイ装置を選択します。
5 **セット リストの変更**	セットを追加、編集、再グループ化、または削除します。
6 **ヘルプ トピック**	プログラムのヘルプ トピックを表示します。

メニュー

Home

選択したデバイスの電源のオンまたはオフ、入力ソースまたは音量の変更ができます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Home**タブを選択します。

項目を選択して対応する設定を変更します。

電源

- **On** : 選択したディスプレイの電源をオンにします。
- **Off**: 選択したディスプレイの電源をオフにします。

Input

- 入力ソース :入力ソースを変更します。
  - 使用できる入力ソースは接続されたディスプレイ装置のモデルによって異なります。
  - 入力ソースは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ変更できます。
- **Channel** : チャンネルを変更します。
  - TV チャンネルは上下の矢印キーで変更できます。
  - チャンネルは、入力ソースが**TV**になっている場合にのみ変更できます。
  - すでに登録されているチャンネルのみ選択できます。
  - TV をサポートするモデルでのみ利用できます。

Volume

― 音量の変更またはミュートは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ行えます。

Volume

- 選択したディスプレイの音量を調整します。
- 音量はスライド バーを使って 0～100 の範囲で変更できます。

Mute

- 選択したディスプレイの**Mute**を有効または無効にします。
  Muteがオンになっているときに**Volume**を調整すると、**Mute**は自動的に無効となります。

警告

Fault Device

- このメニューには、ファン エラー、温度エラー、明るさセンサー エラー、またはランプ エラーが発生しているディスプレイ装置のリストが表示されます。
- ディスプレイ装置をリストから選択します。**Repair**ボタンが有効になります。
- **Refresh**ボタンをクリックしてディスプレイ装置のエラー ステータスを更新します。復旧したディスプレイ装置は、**Fault Device List**から除かれます。

Fault Device Alert

- エラーが検出されたディスプレイ装置は、電子メールで報告されます。
- 必要なフィールドすべてに記入します。**Test**ボタンおよび**OK**ボタンが有効になります。
  Sender情報を確認して、**Recipient**を少なくともひとつ入力してください。

User Login

User Settings

- ログイン情報を追加、削除または編集します。

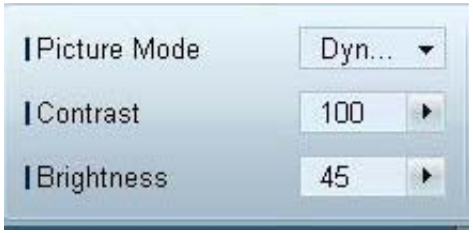
Logout

- 現在のユーザー アカウントからログアウトするには、以下の操作を行います。
- **Logout**をクリックします。「**Do you want to log admin out?**」とメッセージが表示されます。
- **Yes**をクリックします。ユーザー ログイン ウィンドウが表示されます。
- ログインしない場合は、**Close** をクリックします。プログラムが終了します。

  ― **Logout** を使用してプログラムを終了しようとすると、**Auto Login** チェックボックスを選択している場合でも、ユーザー情報の入力を求めるログイン ウィンドウが表示されます。

画面調整

カスタム



画面設定 (コントラスト、明るさ等) を調整できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Picture**タブを選択します。

項目を選択して対応する画面設定を変更します。

Picture Mode

- 選択したディスプレイ装置の映像モードを調整します。

Contrast

- 選択したディスプレイ装置のコントラストを調整します。

Brightness

- 選択したディスプレイ装置の明るさを調整します。

色

- 入力ソースがPCになっているときは、ColorおよびTint (G/R)は使用できません。
- PC Source と Video Source の両方が選択されているときは、Color、Tint (G/R)、Color Tone および Color Temp. は使用できません。

Color

- 選択したディスプレイ装置の色度を調整します。

Tint (G/R)

- 選択したディスプレイ装置の色合いを調整します。

Color Tone

- 選択したディスプレイ装置の背景色を調整します。

Color Temp.

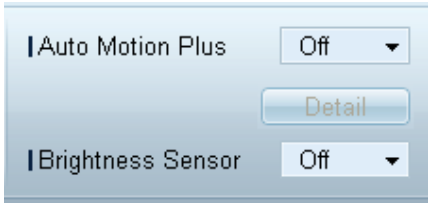
- 選択したディスプレイ装置の色温度を変更します。

— Color ToneがOffに設定されているときには、このオプションが有効になります。

HDMI Black Level

- 選択したディスプレイ装置のHDMI Black Levelを調整します。

オプション



Auto Motion Plus

このオプションは動きの多いイメージの閲覧に使用します。

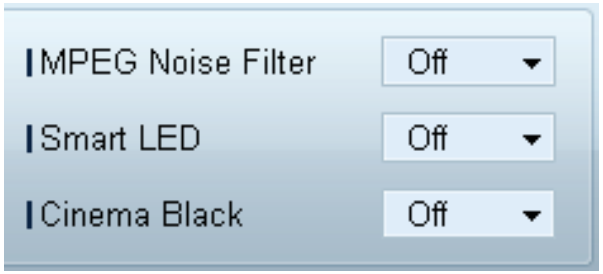
- Off : Auto Motion Plus機能を無効にします。
- Clear : Auto Motion Plusのレベルを「クリア」に設定します。このモードは色彩の鮮やかなイメージの閲覧に適します。
- Standard : Auto Motion Plusのレベルを「標準」に設定します。
- Smooth : Auto Motion Plusのレベルを「スムース」に設定します。このモードはイメージのスムースな表示に適しています。
- Custom : 画面の残像またはちらつきのレベルをカスタマイズします。
- Demo : Auto Motion Plusの技術デモを表示します。モードを変更した場合の結果をウィンドウの左側にプレビュー表示できます。

  — Auto Motion Plusは製品のモデルによっては利用できないことがあります。
- Detail: 選択したディスプレイ装置に関する詳細情報を表示します。

Brightness Sensor

- 選択したディスプレイ装置のBrightness Sensorを有効または無効にします。
- Brightness Sensorは、周囲の光の強さを検出して画面の明るさを自動的に調整します。

  — Brightness Sensorは製品のモデルによっては利用できないことがあります。



MPEG Noise Filter

MPEG のノイズを低減して画質を向上します。

- **Off** / **Low** / **Medium** / **High** / **Auto**

Smart LED

映像の鮮明さが最大になるように LED バックライトを制御します。

Cinema Black

この機能を使うと、ムービー モード時にビデオ映像の上下が暗くなり、より臨場感のある映像をお楽しみいただけます。

- **Off**: **Cinema Black** 機能をオフにします。
- **On**: ビデオに応じて画面上下の暗さを調節します。

サイズ

Picture Size

- 選択したディスプレイ装置の画面サイズを調整します。
- 詳細な設定をサポートしないモードに**Picture Size**が設定されてるときは、**Detail**項目は無効になります。
- –/+ ボタンで**Zoom**を調整できます。
- 画面のポジションは、上下左右の方向ボタンで調整できます。

Detail

- 選択した画面サイズの詳細を確認できます。

PC Screen Adjustment

- 周波数調整または微調整には、**Coarse**または**Fine**の –/+ ボタンを使用できます。
- 画面のポジションを調整するには、**Position**の下にある 4 つのイメージのどれかをクリックします。
- 周波数を自動調整または微調整、もしくは画面のポジションを変更するには、**Auto Adjustment**をクリックします。

高度な機能

3D Control

3D Mode

3D 入力フォーマットを選択します。

3D L/R Change

左の映像と右の映像を入れ替えます。

3D → 2D

左目用の映像のみを表示します。

3D Auto View

3D Auto View を Message Notice に設定すると、製品が 3D 信号を受信したときメッセージがポップアップ表示されるようになります。

3D Optimization

3D 効果の全般的な調整を行います。

3D Expert Pattern

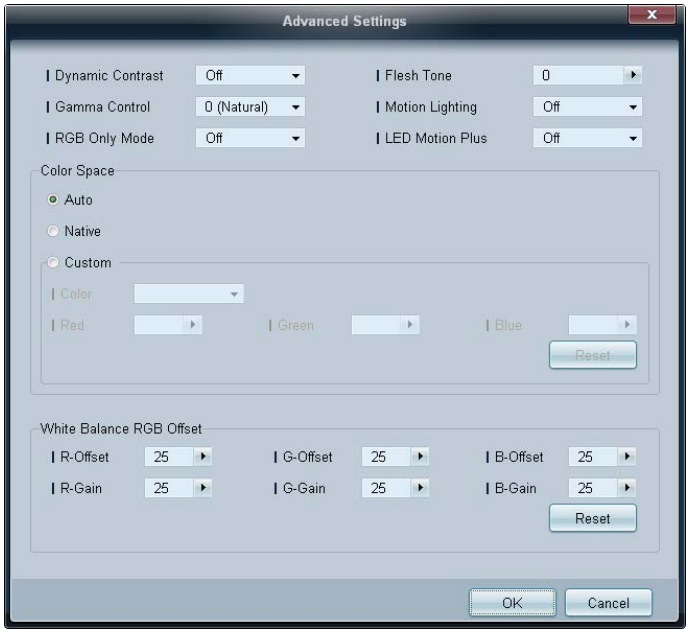
3D パターンを表示します。

3D Effect

最適な 3D 視聴のために、遠近や奥行きなどの 3D 効果を調整します。

- Auto: 3D 入力ソースに合わせて遠近や奥行きの設定を自動的に調整します。
- Manual: 遠近や奥行きの設定を手動で調整します。

Advanced Settings



Dynamic Contrast

画面のコントラストを調整します。

Gamma Control

原色の強さを調整します。

RGB Only Mode

色相と彩度の微調整を行うため **Red**、**Green** および **Blue** を表示します。

Flesh Tone

肌色を鮮明に強調します。

Motion Lighting

動画表示中に画面の明るさを下げて消費電力を抑えます。

LED Motion Plus

急な動きの多い映像からぼやけや揺れを除去し、より鮮明な映像を表示します。

Color Space

画像構成に利用可能な色の範囲と種類（色空間）を調整します。

- **Auto** / **Native** / **Custom**
  - **Color**、**Red**、**Green**、**Blue** および **Reset** を調整するには、**Color Space** を **Custom** に設定します。

White Balance

色温度を調整して、より自然な画像にします。

- **R-Offset** / **G-Offset** / **B-Offset**
  各色（赤、緑、赤）の暗さを調整します。
- **R-Gain** / **G-Gain** / **B-Gain**
  各色（赤、緑、赤）の明るさを調整します。
- **Reset**
  White Balance をデフォルト設定に戻します。

音声調整

– 選択したセットで**Bass**または**Treble**項目がサポートされていない場合は、その項目は無効になります。

音声設定を変更できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Sound**タブを選択します。

Bass

- 選択したディスプレイの低音を調整します。

Treble

- 選択したディスプレイの高音を調整します。

Balance(L/R)

- 選択したディスプレイ装置の左右のスピーカーの音量を調整します。

SRS TS XT

- 選択したディスプレイ装置の**SRS TS XT**を有効または無効にします。

システムの設定

Video Wall

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**System**タブを選択します。

Video Wall 機能は、映像全体の一部を表示するか、接続された複数のディスプレイ装置のそれぞれに同じ映像を繰り返し表示するのに使用します。

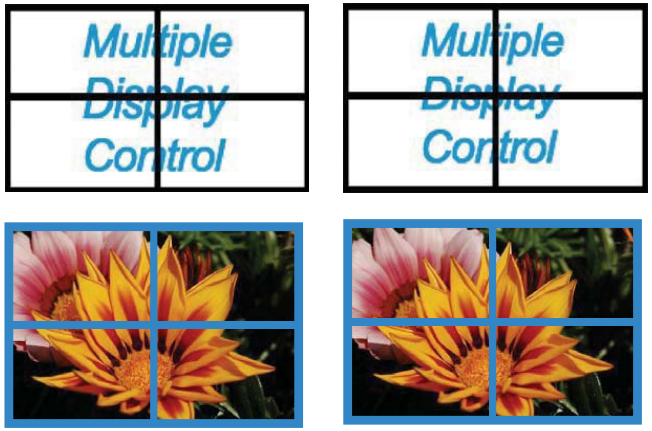
– **Video Wall**は、各デバイスが同じグループ内にある場合にのみ有効となります。

Video Wall

- **Video Wall**を有効または無効にします。

形式

- 分割画面の表示方式を選択します。



Full　　Natural

H

- 水平方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。
- 1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

  ― **H** に 15 を割り当てた場合、**V** には最大 6 まで割り当てできます。

V

- 垂直方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。
- 1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

  ― **V** に 15 を割り当てた場合、**H** には最大 6 まで割り当てできます。

Screen Position

- ディスプレイのレイアウトを表示 (画面ディバイダで設定) または必要に応じて変更します。
- **Video Wall**がオンに設定されているときには、**Screen Position**と**Preview**が有効になります。
- 複数のセットが選択されている場合、**H** と **V** の設定が選択したセットのレイアウトに一致するときにだけ **Preview** が有効となることに注意してください。
- **Position**を変更するには、セットを選択して新しいポジションにドラッグします。

  ― 画面ディバイダ設定の範囲はモデルによって異なります。

PIP

PIP Size

- 現在のディスプレイの**PIP Size**を表示します。

PIP Source

- PIP 入力ソースを選択します。

Sound Select

- プライマリまたはセカンダリ画面のどちらか一方のサウンドを選択して有効にします。

Channel

- **PIP Source**が**TV**のときは、チャンネルを変更できます。

― PIP の調整に必要な基本情報がメニュー画面に表示されます。

― **Video Wall** が **On** になると、**PIP** は無効となります。

― PIP が**On** になると、**Picture Size** は無効となることに注意してください。

全般

User Auto Color

- 画面の色を自動的に調整します。

  ― PCモードでのみ使用できます。

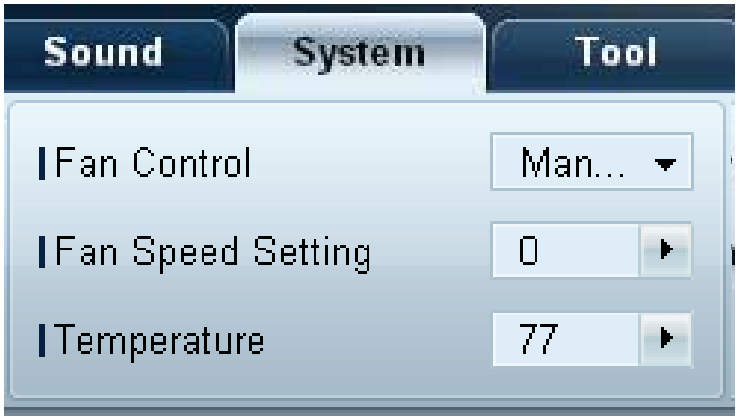
Auto Power

- 製品の電源が自動的にオンになるように設定します。

Standby Control

- 入力ソースが検出されなかったときは、スタンバイ モードで起動するように設定します。

ファン & 温度



製品保護のためファン速度と内部温度の検出に必要な設定を行います。

Fan Control

- ファン速度の設定方法を選択します。

Fan Speed Setting

- ファン速度を設定します。

Temperature

- 温度の範囲を指定して内部温度を検出します。

セキュリティ

Safety Lock

- オンスクリーン メニューをロックします。

  — ロックを解除するには、**Safety Lock**を**Off**に設定します。

Button Lock

- ディスプレイ装置のボタンをロックします。

  — ボタンのロックを解除するには、**Button Lock**を**Off**に設定します。

OSD ディスプレイ

Source OSD

- **Source**が変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

Not Optimum Mode OSD

- 非互換モードが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

No Signal OSD

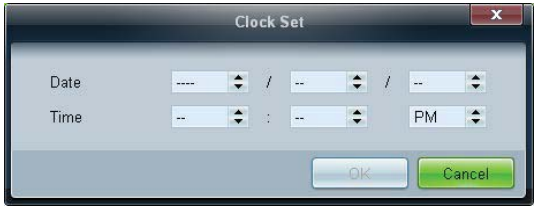
- 入力信号がない場合に、メッセージを表示するかどうかを選択します。

MDC OSD

- MDC によって設定が変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

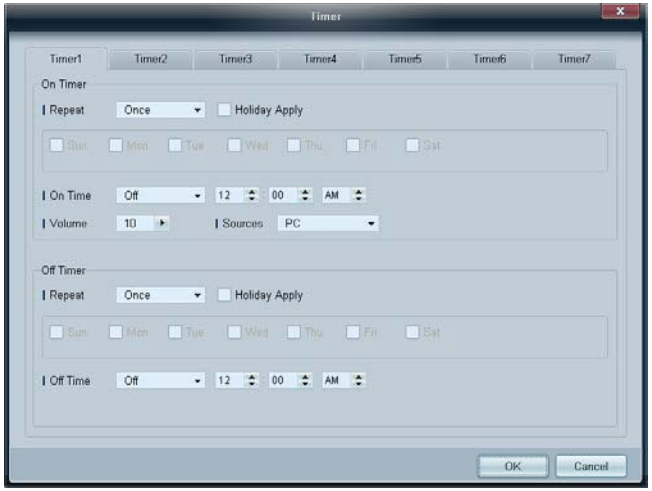
現在時刻

Clock Set



選択したディスプレイ装置の現在時刻を PC の設定時刻に合わせて変更します。
ディスプレイ装置に時刻が設定されていない場合は、ヌル値が表示されます。

Timer



On Timer

- **Repeat** : 選択した**Timer**を繰り返す周期を指定します。
  Once, **EveryDay**, **Mon~Fri**, **Mon~Sat**, **Sat~Sun**, **Manual**
- **Holiday Apply** : **Holiday Management**設定を**Timer**に適用できます。
- **On Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオンにする時刻を設定します。
- **Volume** : **On Time**によりディスプレイ装置の電源がオンになったときの音量を指定します。
- **Source** : **On Time**によってディスプレイ装置の電源をオンにしたときの入力ソースを指定します。

Off Timer

- **Repeat** : 選択した**Timer**を繰り返す周期を指定します。
  Once, **EveryDay**, **Mon~Fri**, **Mon~Sat**, **Sat~Sun**, **Manual**
- **Holiday Apply** : **Holiday Management**設定を**Timer**に適用できます。
- **Off Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオフにする時刻を設定します。

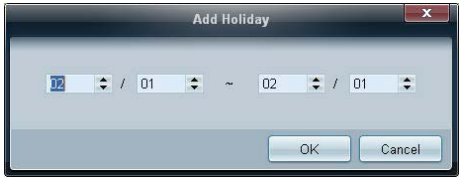
— **Repeat**の下にある曜日を選択するためのチェックボックスは、**Manual**が選択されている場合にのみ有効となります。

Holiday Management

Holiday Managementにより、Timerで電源がオンになるように設定したデバイスが特定の日付にオンにならないようにできます。

― Holiday Management機能は、Timer設定メニューで有効または無効にできます。

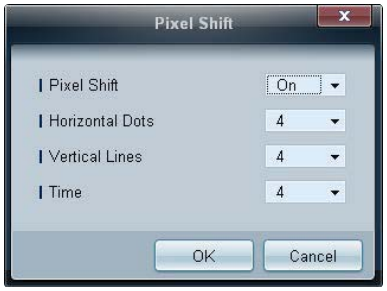
- Add: 祝日を指定できます。
  Holiday ManagementウィンドウでAddボタンをクリックします。



- Delete : 祝日を削除します。対応するチェックボックスにチェックマークを入れて、このボタンをクリックします。
- 祝日のリスト:これまでに追加した祝日のリストを表示します。

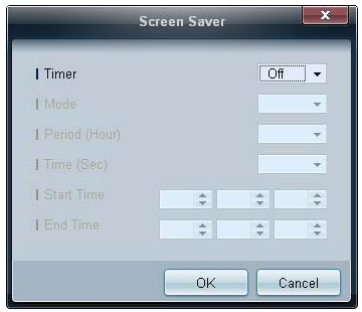
画面の焼き付き防止

Pixel Shift

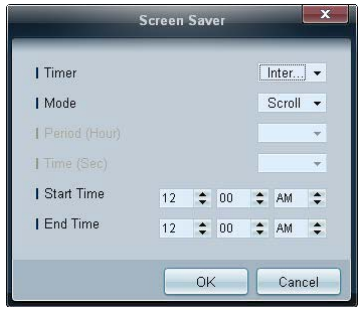


画面の残像防止のため指定時刻にわずかに画面を動かします。

Screen Saver



— **Period (Hour)** と **Time (Sec)** は、**Repeat** を選択すると設定できるようになります。



— **Start Time** と **End Time** は、**Interval** を選択すると設定できるようになります。

この機能は選択されたディスプレイ装置の画面が長時間使われずに放置された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

Timer: **Screen Saver** にタイマーを設定できます。

- **Off**
- **Repeat**: **Mode** に設定された残像防止パターンを指定の間隔 (**Period**) で表示します。
- **Interval**: **Mode** に設定された残像防止パターンを指定の期間 (**Start Time** から **End Time** まで) 表示します。
- **Mode**: 表示する画面保護パターンを選択します。
- **Period (Hour)**: **Screen Saver** 機能を有効にする間隔を指定します。
  — **Timer** に **Repeat** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **Time (Sec)**: **Screen Saver** をオンにし続ける継続時間を指定します。
  — **Timer** に **Repeat** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **Start Time**: スクリーン セーバーを表示するための開始時間を設定します。
  — **Timer** に **Interval** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **End Time**: スクリーン セーバーを表示するための終了時間を設定します。
  — **Timer** に **Interval** が設定されているときには、このオプションが有効になります。

Safety Screen

Safety Screen機能はディスプレイ装置の画面に静止画像が長時間表示された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

Lamp Control

Lamp Controlは、バックライトを調整して消費電力を抑えるのに使用されます。

選択したディスプレイ装置のバックライトを指定した時刻に自動的に調整します。

Manual Lamp Controlが調整されると、**Auto Lamp Control**は自動的に**Off**に切り替わります。

選択したディスプレイのバックライトを手動で調整します。

Auto Lamp Controlが調整されると、**Manual Lamp Control**は自動的に**Off**に切り替わります。

- **Ambient Light** : **Ambient Light**は周囲の光の強さを検出して、同一のシリアル チェーンに接続されたすべての LFD について画面の明るさを自動的に調整します。

Ticker

ビデオまたは画像の表示中にテキストを入力すると、テキストが画面に表示されます。

Ticker

Tickerを有効または無効にします。

- **Off** / **On**

Message

画面に表示するメッセージを入力します。

Timer

メッセージ (**Message**) を表示する **Start Time** と **End Time** を設定します。

Position

メッセージ (**Message**) を表示する向きを **Horizontal** と **Vertical** から選択します。

Motion

メッセージ (**Message**) を表示する **Direction** と **Speed** を指定します。

Font Options

メッセージの **Size**、**Foreground Color**、**Foreground Opacity**、**Background Color** および **Background Opacity** を指定します。

ツールの設定

セキュリティ

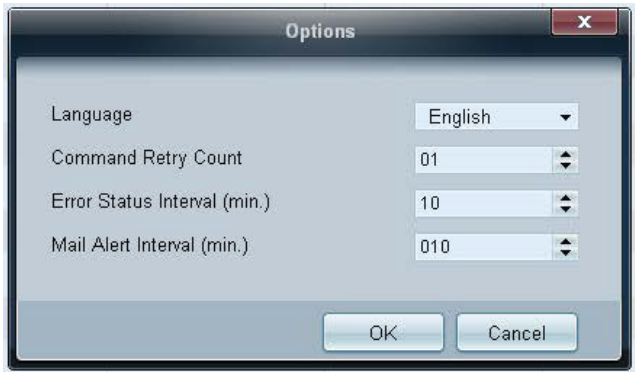
- **Panel Control**: ディスプレイ装置の画面をオンまたはオフにします。
- **Remote Control**: リモート コントロールを有効または無効にします。

リセット

- **Reset Picture**: 画面設定をリセットします。
- **Reset Sound**: 音声設定をリセットします。
- **Reset System**: システム設定をリセットします。
- **Reset All**: 画面、音声、およびシステム設定を同時にリセットします。

編集列

Options



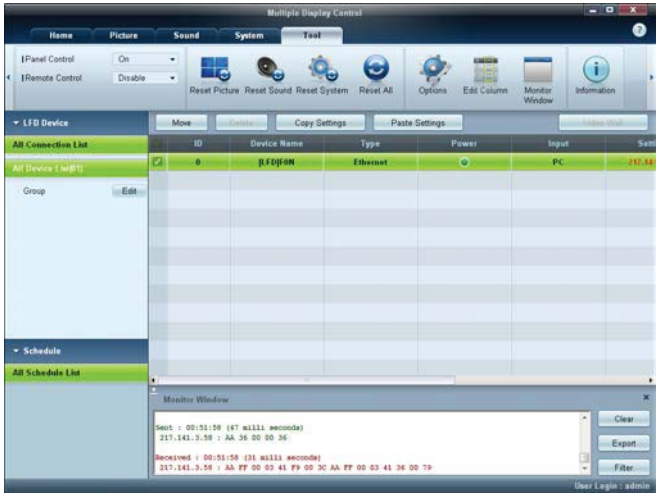
ディスプレイのリストに表示される項目に関する設定を行います。

- **Language**: MDC プログラムで使用する言語を選択します。言語の選択後、MDC プログラムを再起動して、選択した言語を使用できるようにします。
- **Command Retry Count**: 命令の実行エラーが発生した場合の再試行の回数を指定します。
- **Error Status Interval**: "**Fault Device**" の発生状況を確認するために、ディスプレイ装置に対してクエリを実行するための時間間隔を指定します。
- **Mail Alert Interval**: "**Fault Device**" の発生時に電子メール通知を実行するための時間間隔を指定します。

Edit Column

セットのリストに表示する項目を選択します。

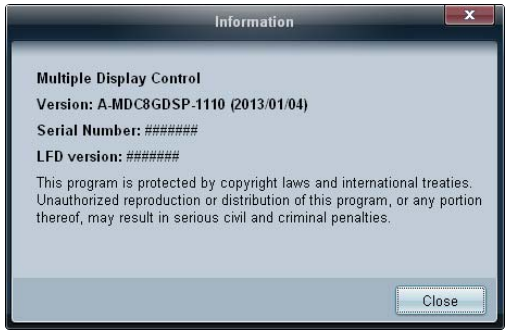
Monitor Window



コンピュータとディスプレイ装置間のデータ転送に関する詳細ウィンドウが表示されます。

- **Filter**

Information


Information
Multiple Display Control
Version: A-MDC8GDSP-1110 (2013/01/04)
Serial Number: #######
LFD version: #######
This program is protected by copyright laws and international treaties. Unauthorized reproduction or distribution of this program, or any portion thereof, may result in serious civil and criminal penalties.
Close

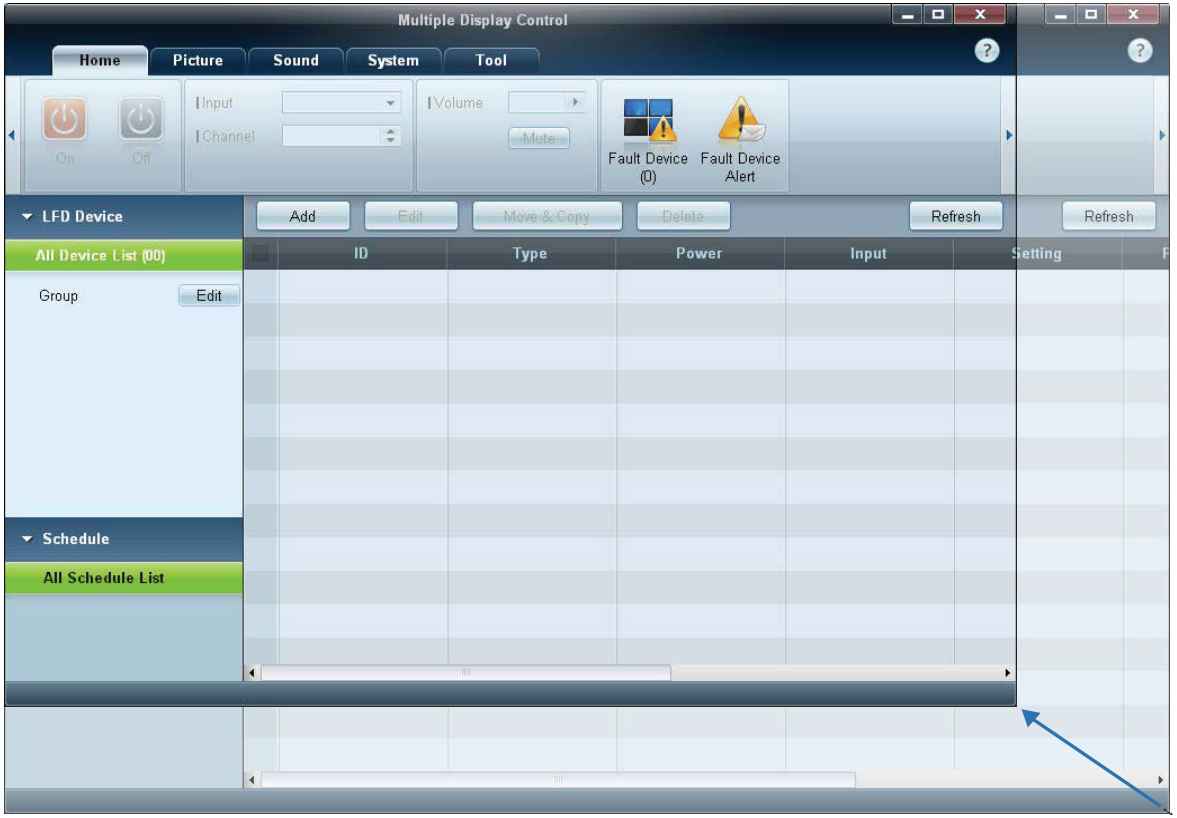
プログラム情報を表示します。

その他の機能

ウィンドウのリサイズ

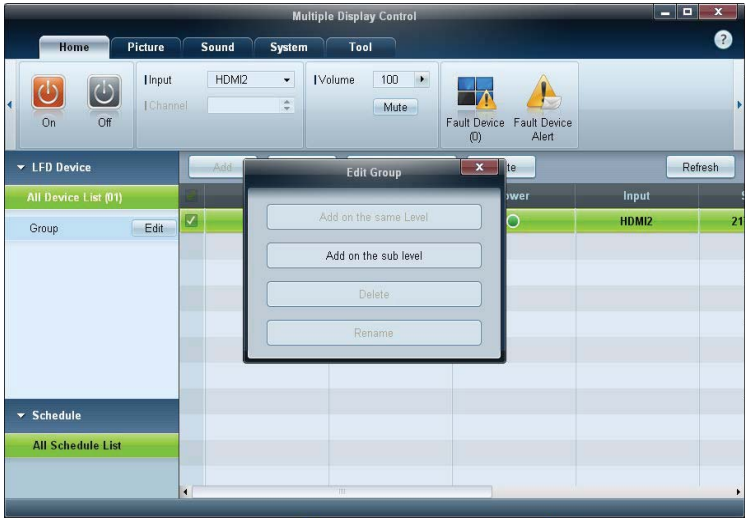
プログラム ウィンドウの角にマウスのポインターを置きます。矢印が表示されます。

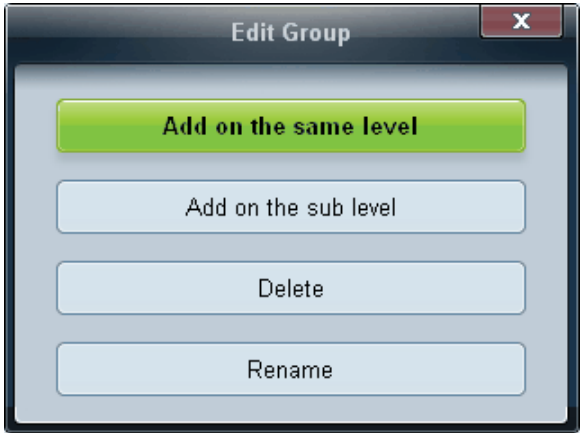
矢印を動かしてプログラム ウィンドウのサイズをカスタマイズします。



グループの管理

グループの作成





– **Add on the same level**ボタンは、少なくとも 1 つのグループが作成されている場合に有効となります。

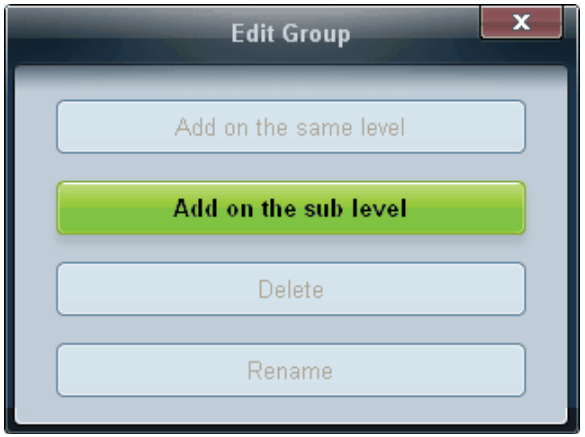
グループを作成してセットのリストをグループ単位で管理します。

― 重複するグループ名は使用できません。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるディスプレイ装置リストのセクションを右クリックして **Group** → **Edit** を選択します。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Add on the same level**または**Add on the sub level**をクリックします。

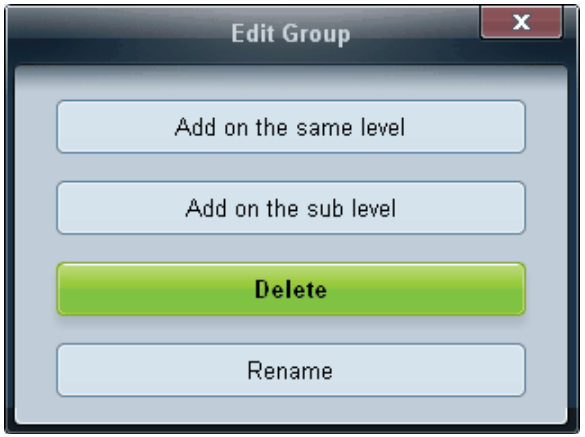
- **Add on the same level**: 選択したグループと同じレベルにグループを作成します。



- **Add on the sub level**: 選択したグループの下にサブグループを作成します。

3 グループ名を入力します。

グループの削除

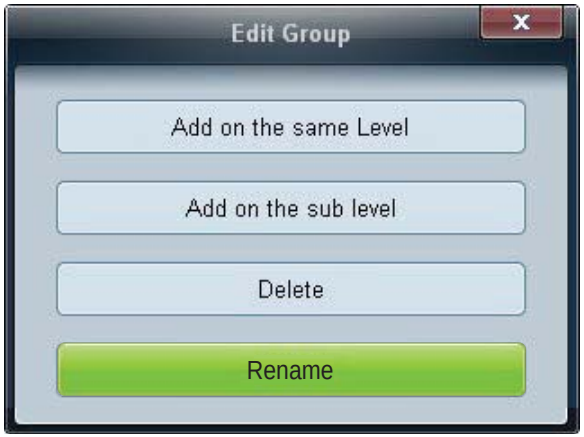


1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Delete**をクリックします。

3 **Yes**をクリックします。グループが削除されます。

グループのリネーム

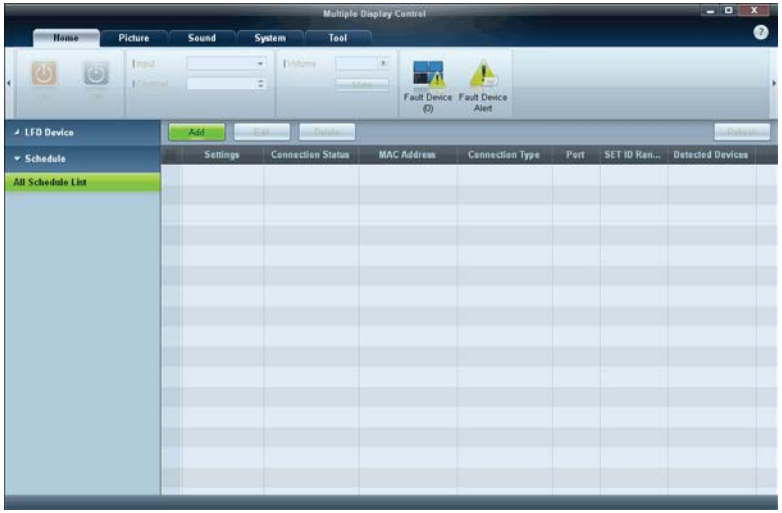


1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Rename**をクリックします。

3 古いグループ名の中にカーソルが現れるので、新しいグループ名を入力します。

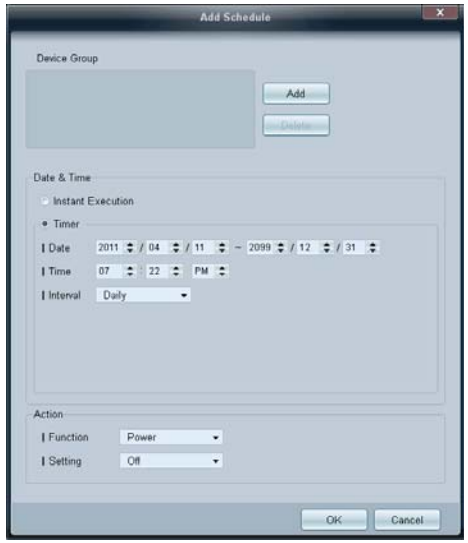
スケジュールの管理



スケジュールの作成

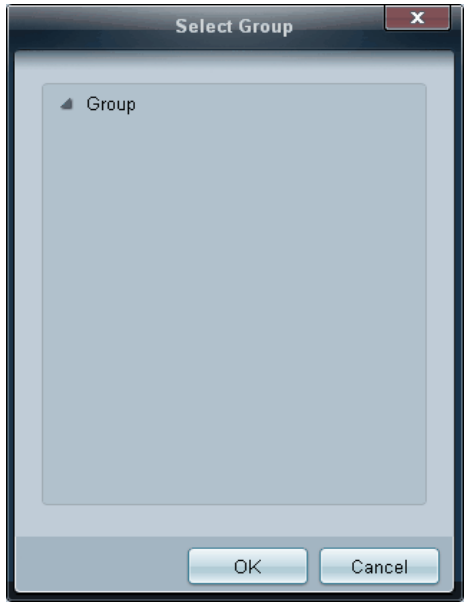
グループ単位でスケジュールを作成して登録します。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるスケジュールのセクションの**All Schedule List**をクリックします。中央の**Add**ボタンが有効になります。



2 Addボタンをクリックします。Add Scheduleウィンドウが表示されます。

3 Device Group項目の下にあるAddをクリックして、スケジュールを追加するグループを選択します。



4 Date&Time/Action を選択して OK をクリックします。スケジュールが追加され、セット リスト ウィンドウにスケジュールのリストが表示されます。

- Device Group : グループを選択します。
- Date&Time
  Instant Execution : 直ちにスケジュールを実行します。
  Timer :スケジュールを実行する日付、時刻、および間隔を設定します。
- Action : 指定の時刻および間隔で起動する機能を選択します。

スケジュールの変更

スケジュールを変更するには、スケジュールを選択してEditをクリックします。

スケジュールの削除

スケジュールを削除するには、スケジュールを選択してDeleteをクリックします。

トラブルシューティング ガイド

– このプログラムは、PC とディスプレイとの通信の問題、または付近にある電子機器から放出される電磁波によって誤作動する場合があります。

問題	解決方法
制御したいディスプレイがシステム情報チャートに表示されません。	1 RS232C ケーブルの接続を確認します (ケーブルが適切なシリアル ポートに正しく接続されていることを確認します)。 2 ID が重複する別のディスプレイが接続されていないことを確認します。ID の重複したディスプレイを接続すると、データの衝突によってディスプレイが表示されない原因となることがあります。 3 ディスプレイの ID が 0～99 の範囲にあることを確認します (ディスプレイ メニューで ID を変更します)。 ― 0～99 の範囲の ID をサポートするディスプレイでは、ID は 0～99 の範囲で設定しなければなりません。
制御したいディスプレイが他の制御情報グリッドに表示されない。	ディスプレイの電源がオンになっていることを確認してください。(システム情報チャートの電源ステータスを見ます) ディスプレイに接続された入力信号を選択してください。
以下のメッセージが繰り返し表示されます。 	制御しようとするディスプレイが接続されていることを確認してください。
On TimeまたはOff Timeが設定されているのに、別の時刻にディスプレイが交互にオンまたはオフになります。	PC の時刻を調整して、接続されたディスプレイとの間で同期してください。
リモコンが機能しない。	リモコンは、RS-232C ケーブルが外されている場合、またはRemote Control機能がDisableのときにプログラムが正常に閉じられなかった場合に機能しなくなることがあります。これを解決するには、プログラムを再度実行してRemote ControlをEnableに設定します。

複数のディスプレイを使用しているときにディスプレイのプロパティを表示する方法

1 ディスプレイが選択されていないとき:デフォルト値が表示されます。

2 1 台のディスプレイが選択されているとき:選択したディスプレイの設定が表示されます。

3 2 台のディスプレイが (たとえば ID 1、ID 3 の順で) 選択されたとき :ID 1 の設定が表示され、続いて ID 3 の設定が表示されます。

4 All+Select チェックボックスがチェックされてすべてのディスプレイが選択されたとき:デフォルトの設定が表示されます。

第 5 章
画面調整

映像 設定 (**バックライト**、**色調** など) を行います。

– **映像** メニュー オプションのレイアウトは、製品によって異なる場合があります。

映像モード

MENU → **映像** → **映像モード** → ENTER

製品が使用される環境に適切な映像モード (**映像モード**) を選択します。

現在の入力信号によって、異なる**映像モード** オプションが表示されます。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソースが PC、DVI または ディスプレイ ポート の場合

- **情報**: このモードは疲れ目を軽減するため、一般の人々に情報を表示するのに適しています。
- **広告**: このモードは、ビデオ コンテンツや屋内/屋外広告の表示に適しています。

入力ソースが AV、コンポーネント、HDMI1、HDMI2 の場合

- **動的**: このモードは、周囲の光が明るいときに適しています。
- **標準**: このモードは全般的に、どの環境にも適しています。
- **ナチュラルモード** : 目への負担を軽減します。
- **動画**: このモードでは疲れ目が軽減されます。

バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色の濃さ / 色合い

MENU → 映像 → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

本製品では画質調整のためのオプションがいくつか提供されています。

入力信号	映像モード	調整可能なオプション
PC、DVI、ディスプレイ ポート、HDMI1 (PC が接続されている場合)、HDMI2 (PC が接続されている場合)	情報	バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス
	広告	バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色の濃さ
AV, コンポーネント, HDMI1, HDMI2	動的, 標準, ナチュラルモード , 動画	バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色の濃さ / 色合い

— バックライト、コントラスト、明るさ、シャープネス、色の濃さ または 色合い への変更を行った場合、それに応じて OSD も調整されます。

— 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。

— 映像の明るさを下げることにより、消費電力を抑えることができます。

画面調整

MENU → **映像** → **画面調整** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画面に表示する映像のサイズとアスペクト比を選択します。

画像サイズ

― 現在の入力信号によって、異なる**画面調整** オプションが表示されます。

- **16:9**: 映像を **16:9** ワイド モードに設定します。
- **ズーム1**: 低倍率で拡大するために使用します。上側と横側を切り取ります。
- **ズーム2**: 高倍率で拡大するために使用します。
- **スマート ビュー 1**: **16:9** 映像を 50% 縮小します。
  ― **スマート ビュー 1** は、**HDMI1**、**HDMI2** モードでのみ使用できます。
- **スマート ビュー 2**: **16:9** 映像を 25% 縮小します。
  ― **スマート ビュー 2** は、**HDMI1**、**HDMI2** モードでのみ使用できます。
- **ワイド フィット**: 画像のアスペクト比を拡大して、画面全体に表示します。
- **4:3**: 映像をベーシック (**4:3**) モードに設定します。
  ― 長期にわたる **4:3** フォーマットのご使用は避けてください。
  画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像 (画面の焼き付き) が起こる場合があり、これは保証外となります。
- **画面に合わせる**: **HDMI1**、**HDMI2** (720p / 1080i / 1080p) 信号または **コンポーネント** (1080i / 1080p) 信号が入力されたときに、切り取りなしで全体画像を表示します。
- **カスタム**: ユーザーの好みに合わせて解像度を変更します。
- **オリジナルの縦横比**: 入力ソースが **PC**、**DVI**、**HDMI1**(PC 接続)、**HDMI2** (PC 接続)、または **ディスプレイ ポート** のときにビデオを元のアスペクト比で表示します。
  ― モデルによって使用可能なポートが異なる場合があります。

入力ソースごとに設定可能な画像サイズが異なります。

入力ソース	画像サイズ
AV、コンポーネント (480i、480p)	16:9, ズーム1, ズーム2, 4:3, カスタム
コンポーネント (1080i、1080p)	16:9, ワイド フィット, 画面に合わせる, 4:3 , カスタム
HDMI1、HDMI2 (720p、1080i、1080p)	16:9, スマート ビュー 1, スマート ビュー 2, ワイド フィット, 4:3 , 画面に合わせる, カスタム
HDMI1、HDMI2 (480i、480p)	16:9, ズーム1, ズーム2, スマート ビュー 1, スマート ビュー 2, 4:3, カスタム
PC、DVI、ディスプレイ ポート、HDMI1(PC が接続されている場合)、HDMI2 (PC が接続されている場合)	16:9, 4:3, オリジナルの縦横比

位置

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

映像の位置を調整します。**位置** は、**画像サイズ** が **ズーム1**、**ズーム2**、**ワイド フィット**、**画面に合わせる** または **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。

— **ズーム1**、**ズーム2**、**ワイド フィット** または **画面に合わせる** を選択したのち **位置** 機能を使用するには、次の手順を行います。

1 ▼ ボタンを押して **位置** を選択します。↵ ボタンを押します。

2 ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、画像を上下に移動させます。

3 ↵ ボタンを押します。

ズーム/ポジション

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

— **HDMI1**、**HDMI2** (1080i/1080p) または **コンポーネント** (1080i/1080p) または **カスタム** で **画面に合わせる** を選択したのち **ズーム/ポジション** 機能を使用するには、次の手順を行います。

1 ▼ ボタンを押して **ズーム/ポジション** を選択します。↵ ボタンを押します。

2 **ズーム** または **位置** を選択します。↵ ボタンを押します。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して映像を移動させます。

4 ↵ ボタンを押します。

— 元の位置に画像表示を戻す場合は、**ズーム/ポジション** 画面で **リセット** を選択します。画像が、デフォルトの位置に表示されるように設定されます。

PC 画面調整

- **粗調整** / **微調整**
  画像ノイズを除去または軽減します。
  微調整でノイズ除去ができない場合、**粗調整** 機能を使用して周波数を可能な限り最適に調整し（**粗調整**）、再び微調整してください。ノイズが軽減された後は、画像を再調整して画面中央にくるようにします。
- **位置**
  PC の画面が中央揃えになっていない、または製品の画面内に収まらない場合に PC の画面位置を調整します。
  ▲ボタンまたは ▼ボタンを押して、垂直位置を調整します。◀ボタンまたは ▶ボタンを押して、水平位置を調整します。
- **画像リセット**
  画像をデフォルト設定に戻します。

- **PC** モードでのみ使用できます。
- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

解像度の選択

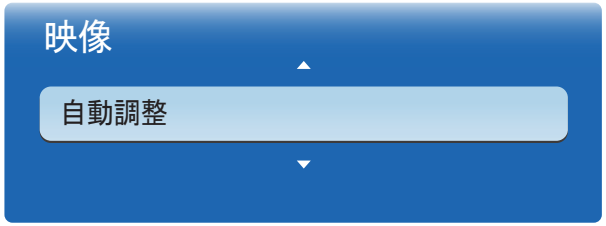
グラフィック カードの解像度が以下のいずれかでも画像が正常に表示されない場合は、このメニューを使用して、製品の解像度として PC と同じ解像度を選択することにより、画質を最適化することができます。

利用できる解像度: **オフ** / **1024x768** / **1280x768** / **1360x768** / **1366x768**

- **PC** モードでのみ使用できます。
- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

自動調整

MENU → **映像** → **自動調整** → ENTER



周波数値や位置を調整し、自動的に設定を微調整します。

- **PC** モードでのみ使用できます。
- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

回転

MENU → **映像** → **回転** → ENTER

製品の画面の向きを変更します。

- **ランドスケープ**: 画面をランドスケープ モードで表示します (デフォルト)。
- **ポートレイト**: 画面をポートレイト モードで表示します。

- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

アスペクト比

MENU → **映像** → **アスペクト比** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

回転した画面を全画面またはオリジナルのどちらかに設定します。

- **全画面**: 回転した画面を全画面表示します。
- **オリジナル**: 回転した画面をオリジナルのアスペクト比で表示します。

― 回転 **を** ポートレイト に設定している場合にのみ使用できます。

詳細設定

MENU → **映像** → **詳細設定** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソース	映像モード	詳細設定
PC、**DVI**、**ディスプレイ ポート**、**HDMI1** (PC が接続されている場合)、**HDMI2** (PC が接続されている場合)	**情報**	**ホワイト バランス** / **ガンマ**
	広告	**ダイナミック コントラスト** / **色深度 (黒)** / **鮮明** / **色空間** / **ホワイト バランス** / **ガンマ**
AV, **コンポーネント**, **HDMI1**, **HDMI2**	**ナチュラルモード** , **動的**	使用できません
AV	**標準**	**ダイナミック コントラスト** / **色深度 (黒)** / **鮮明** / **RGB のみモード** / **色空間** / **ホワイト バランス** / **ガンマ** / **動画画面の明るさ調節**
	動画	**ダイナミック コントラスト** / **色深度 (黒)** / **鮮明** / **RGB のみモード** / **色空間** / **ホワイト バランス** / **10p ホワイト バランス** / **ガンマ**
コンポーネント, **HDMI1**, **HDMI2**	**標準**	**ダイナミック コントラスト** / **色深度 (黒)** / **鮮明** / **RGB のみモード** / **色空間** / **ホワイト バランス** / **ガンマ** / **エキスパート向けパターン** / **動画画面の明るさ調節**
	動画	**ダイナミック コントラスト** / **色深度 (黒)** / **鮮明** / **RGB のみモード** / **色空間** / **ホワイト バランス** / **10p ホワイト バランス** / **ガンマ** / **エキスパート向けパターン**

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ダイナミック コントラスト

画面のコントラストを調整します。

- **オフ** / **低** / **中** / **高**

色深度 (黒)

諧調レベルを選択して画面の奥行きを調整します。

- **オフ** / **暗** / **暗く** / **最も暗く**

鮮明

ピンク **鮮明** を強調します。

RGB のみモード

色相と彩度の微調整を行うため **赤**、**緑** および **青** を表示します。

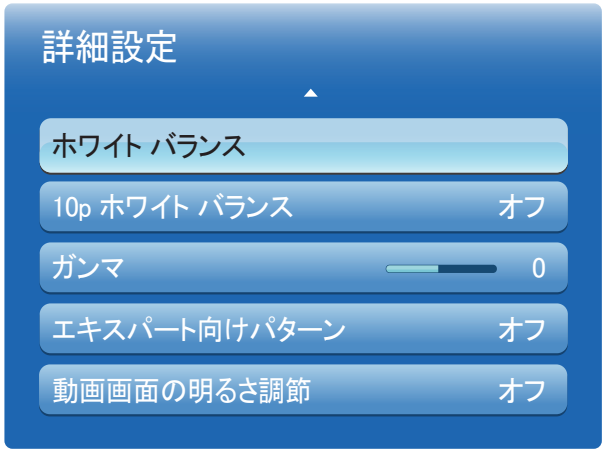
- **オフ** / **赤** / **緑** / **青**

色空間

画像構成に利用可能な色の範囲と種類 (色空間) を調整します。

- **自動** / **ネイティブ** / **カスタム**

  — **色の濃さ**、**赤**、**緑**、**青** および **リセット** を調整するには、**色空間** を **カスタム** に設定します。



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ホワイト バランス

色温度を調整して、より自然な画像にします。

- **Rオフセット** / **Gオフセット** / **Bオフセット**: 各色 (赤、緑、青) の暗さを調整します。
- **Rゲイン** / **Gゲイン** / **Bゲイン**: 各色 (赤、緑、青) の明るさを調整します。
- **リセット**: **ホワイト バランス** をデフォルト設定に戻します。

10p ホワイト バランス

赤、緑、青の明るさを調整することで、10 ポイント 間隔でホワイト バランスを制御します。

- **オフ** / **オン**

間隔: 調整する間隔を選択します。

赤: 赤のレベルを調整します。

緑: 緑のレベルを調整します。

青: 青のレベルを調整します。

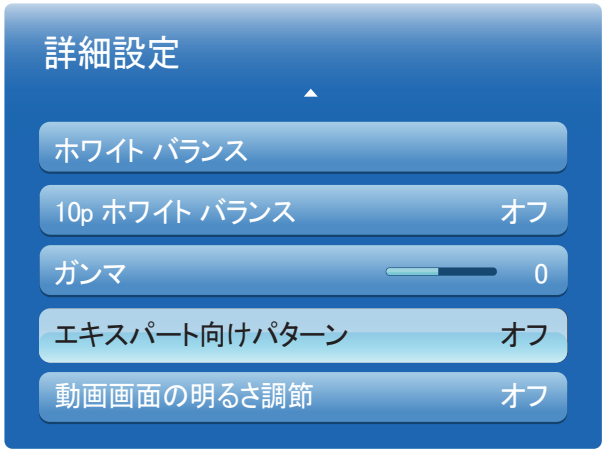
リセット: **10p ホワイト バランス** をデフォルト設定に戻します。

— **映像モード** が **動画** に設定され外部入力が全入力に設定されている場合に使用できます。

— 外部機器によっては、本機能に対応していないものがあります。

ガンマ

原色の強さを調整します。



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

エキスパート向けパターン

映像の調整を行うには、**エキスパート向けパターン** 機能を使用します。

OSD メニューが表示されていない場合や **映像** メニュー以外のメニューが開いている場合は、本製品は調整内容を保存して **エキスパート向けパターン** 画面を閉じます。

- **オフ**: **エキスパート向けパターン** 機能をオフにします。
- **パターン1**: このテスト画面で表示設定の効果をモノクロ諧調で確認します。
- **パターン2**: このテスト画面で表示設定の効果をカラー表示で確認します。

— **パターン1** または **パターン2** を選択した後、希望の効果に合わせて詳細設定を調整することができます。

— **エキスパート向けパターン** が起動している間は、音声は出力されません。

— **コンポーネント**、**HDMI1**、**HDMI2** モードでのみ有効です。

動画画面の明るさ調節

動画表示中に画面の明るさを下げて消費電力を抑えます。

- **オフ** / **オン**

映像オプション

MENU → 映像 → 映像オプション → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

▲ と ▼ の矢印キーを使用して項目を選択し、 を押します。
矢印キーを使用して設定を変更し、 を押します。

入力信号	映像モード	映像オプション
PC, DVI	情報	色調 / Color Temp. / HDMI 階調レベル / ダイナミック バックライト
	広告	色調 / Color Temp. / デジタル ノイズ フィルタ / MPEG ノイズ フィルタ / HDMI 階調レベル / Motion Plus (ME55C モデルのみ) / ダイナミック バックライト
HDMI1(PC が接続されている場合)、HDMI2 (PC が接続されている場合)	情報	色調 / Color Temp. / HDMI 階調レベル / ダイナミック バックライト
	広告	色調 / Color Temp. / デジタル ノイズ フィルタ / MPEG ノイズ フィルタ / HDMI 階調レベル / Motion Plus (ME55C モデルのみ) / ダイナミック バックライト
ディスプレイ ポート	情報	色調 / Color Temp. / ダイナミック バックライト
	広告	色調 / Color Temp. / デジタル ノイズ フィルタ / MPEG ノイズ フィルタ / Motion Plus (ME55C モデルのみ) / ダイナミック バックライト
HDMI1, HDMI2	動的, 標準, ナチュラルモード, 動画	色調 / Color Temp. / デジタル ノイズ フィルタ / MPEG ノイズ フィルタ / HDMI 階調レベル / Motion Plus (ME55C モデルのみ) / ダイナミック バックライト
AV、コンポーネント、HDMI1 (1080i)、HDMI2 (1080i)	動的, 標準, ナチュラルモード, 動画	色調 / Color Temp. / デジタル ノイズ フィルタ / MPEG ノイズ フィルタ / フィルム モード / Motion Plus (ME55C モデルのみ) / ダイナミック バックライト

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

色調

入力ソースが **PC**、**DVI**、**ディスプレイ ポート** または **HDMI1** (PC 接続)、**HDMI2** (PC 接続) のとき。

- **オフ** / **寒色系** / **標準** / **暖色系**

入力ソースが **AV**、**コンポーネント**、**HDMI1** または **HDMI2** のとき。

- **オフ** / **寒色系** / **標準** / **暖色系1** / **暖色系2**

— **暖色系1** または **暖色系2** は、**映像モード** が **動的** になると非アクティブになります。

— 本製品の入力ポートに接続されている各外部機器の設定は変更できます。

Color Temp.

色温度 (**赤**/**緑**/**青**) を調整します。(範囲:3000K–15000K)

— このオプションは、**色調** が **オフ** に設定されている場合に使用できます。

デジタル ノイズ フィルタ

本製品の受信放送電波が弱い場合、**デジタル ノイズ フィルタ** 機能を起動して画面上の雑音やゴースト発生を軽減することができます。

- **オフ** / **低** / **中** / **高** / **自動**

— 電波が弱い場合、本製品の画像表示が良くなるまですべてのオプションをお試しください。

MPEG ノイズ フィルタ

MPEG のノイズを低減して画質を向上します。

- **オフ** / **低** / **中** / **高** / **自動**

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

HDMI 階調レベル

諧調レベルを選択して画面の奥行きを調整します。

- **標準** / **低**

— **HDMI1**、**HDMI2** および **DVI** モードでのみ使用できます (AV タイミング:480p、576p、720p、1080i、1080p)。

フィルム モード

動画を見るのに適したモードです。

自動的にすべてのソースからの映像信号を検知して処理し、最適な画質に調整するように本製品を設定します。

- **オフ** / **自動1** / **自動2**

— **AV**、**コンポーネント**、**HDMI1** (1080i) または **HDMI2** (1080i) で使用できます。

Motion Plus (ME55C モデルのみ)

急な動きの多い映像からぼやけや揺れを除去し、より鮮明な映像を表示します。

メニュー名は国によって異なる場合があります。

オフ : Motion Plus をオフにします。

クリア : Motion Plus を**クリア** モードに設定します (動画をはっきりと表示するのに適しています)。

標準 : Motion Plus を **標準** モードに設定します。

スムーズ : Motion Plus を **スムーズ** モードに設定します (動画を自然な感じに表示するのに適しています)。

カスタム : 残像や揺れを低減するために使用します。

デモ : Motion Plus のデモ表示を行います (Motion Plus を **オン** に設定している場合、画面の左半分に映像が表示されます)。

- **不鮮明さの軽減** : 残像を低減するために使用します。
  – Motion Plus が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。
- **ジャダ軽減** : 揺れを低減するために使用します。
  – Motion Plus が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。
- **リセット**: Motion Plus 設定をデフォルト値に復元します。
  – このオプションによって、画面上の色が変わることがあります。
  – **同時画面** が **オン** に設定されている場合は無効になります。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ダイナミック バックライト

バックライトは、現在の条件下で最適なコントラストを得られるように自動調整されます。

- **オフ** / **オン**

― **ダイナミック バックライト** は、入力ソースが **PC**、**AV** または **コンポーネント** のとき **画像分割** が **オン** である場合には使用できません。

映像のリセット

MENU → **映像** → **映像のリセット** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

現在の映像モードをデフォルトの設定に戻します。

第 6 章
音声調整

製品の音声 (**サウンド**) を設定します。

サウンド モード

MENU → **サウンド** → **サウンド モード** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ユーザーの好みに合った音声モードを選択します。

- **標準**: 標準音声モードを選択します。
- **音楽**: 音声よりも音楽が強調されます。
- **動画**: 動画に最適な音声を使用します。
- **音声を明瞭にする**: 音声がその他の音よりも強調されます。
- **アンプ**: 高周波音の強さを上げて、聴覚障害者にも聞き取りやすい音声を提供します。

― **スピーカ選択** が **外部** に設定されている場合、**サウンド モード** は使用できません。

サウンド効果

MENU → **サウンド** → **サウンド効果** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

出力音声に適した音声効果を設定します。

― **スピーカ選択** が **外部** に設定されている場合、**サウンド効果** は使用できません。

― **サウンド モード** が **標準** に設定されている場合にのみ使用できます。

- **Virtual Surround** (**オフ** / **オン**)
  この機能は、HRTF (頭部伝達関数) 技術を使用し、2 つのスピーカーを通じて仮想 5.1ch サラウンド サウンドを提供します。
- **Dialog Clarity** (**オフ** / **オン**)
  この機能は、BGM や効果音よりも音声を強くして、会話を聞きやすくします。
- **イコライザ**
  音声設定をスピーカーごとに行うには **イコライザ** を使用します。
  – **バランス L/R**: 左右のスピーカー間のバランスを調整します。
  – **100Hz** / **300Hz** / **1kHz** / **3kHz** / **10kHz** (帯域幅調整):特定の帯域幅の周波数のレベルを調整します。
  – **リセット**: イコライザをデフォルト設定に戻します。

スピーカーの設定

MENU → **サウンド** → **スピーカーの設定** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

- **スピーカ選択** (**外部** / **内部メモリ**)
  外部受信機を通じて放送や映画のサウンド トラックを聞いているときに、本製品のスピーカーとオーディオ受信機に取り付けられているスピーカーとの復号速度差によって反響が聞こえる場合があります。このような症状が起きたときには、本製品の設定を **外部** に変更してください。

  — **スピーカ選択** を **外部** に設定すると、製品のスピーカーがオフになります。
  この設定では外部スピーカーからのみ音声が聞こえます。**スピーカ選択** を **内部メモリ** に設定すると、製品のスピーカーと外部スピーカーの両方がオンになります。この設定では両方のスピーカーから音声が聞こえます。

  — 映像信号がない場合、本製品のスピーカーと外部スピーカーは両方とも消音状態になります。

- **自動音量調節** (**オフ** / **標準** / **夜間**)
  音量はチャンネルにより異なる場合があります。
  別のチャンネルに切り替えたときに音量レベルを自動的に均一にします。
  – **標準** 設定では、各チャンネルの音量レベルが均一になるため、チャンネルを変更しても音量レベルは変わりません。
  – **夜間** は各チャンネルの音量レベルを均一化して引き下げることにより騒音を抑えます。**夜間** は夜間に音量を低く保ちたいときに有用です。

  — 接続しているソース機器の音量制御を使用するには、**自動音量調節** を **オフ** に設定します。
  自動音量調節 が **標準** または **夜間** に設定されている場合、接続しているソース機器の音量制御の変更が適用されないことがあります。

サウンドのリセット

すべての音声設定を工場出荷時の設定に戻します。

MENU → **サウンド** → **サウンドのリセット** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

第 7 章
ネットワーク

ネットワーク設定

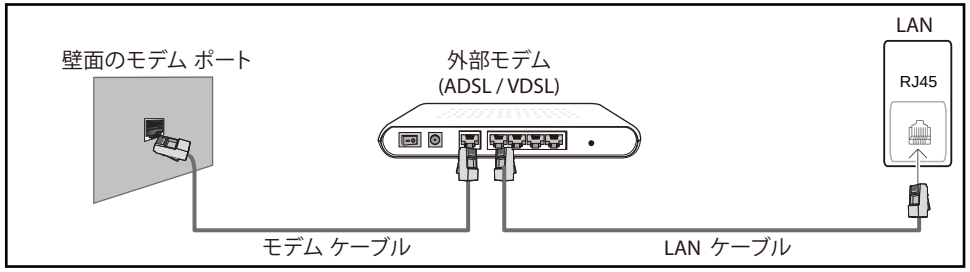
MENU → **ネットワーク** → **ネットワーク設定** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

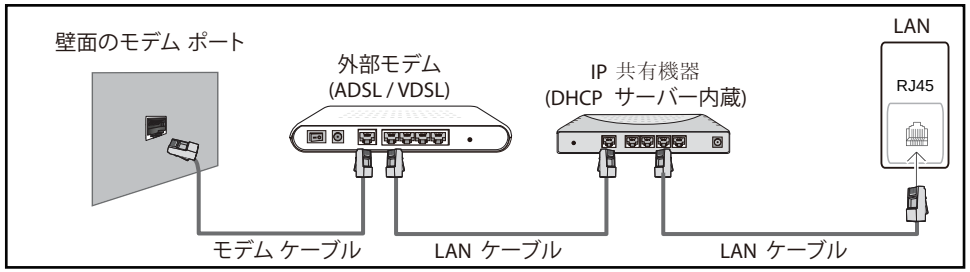
有線ネットワークに接続する

ケーブル経由で本製品を LAN に接続する方法として、以下の 3 つの方法があります。

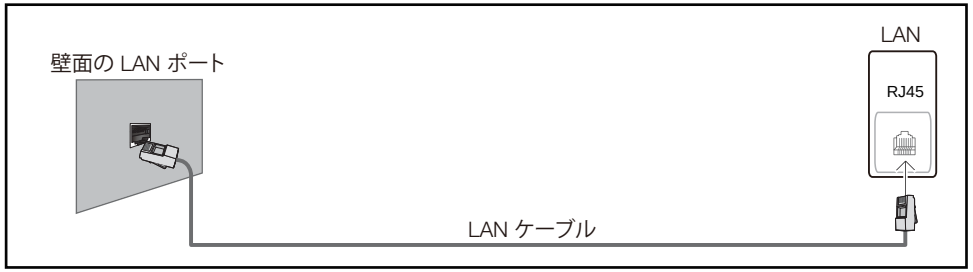
- LAN ケーブルを使用して本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムとを接続し、本製品を LAN に接続します。下図を参照してください。



- 本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムに接続されている IP 共有機とを接続し、本製品を LAN に接続します。接続には LAN ケーブルをご使用ください。下図を参照してください。



- ご使用のネットワーク構成によっては、LAN ケーブルを使用して直接本製品の背面にある LAN ポートと壁にあるネットワーク接続用の差し込み口とを接続し、本製品を LAN に接続することができます。
  下図を参照してください。壁にあるネットワーク接続用の差し込み口は、ご自宅のモデムまたはルーターに接続されています。



動的ネットワークをご使用の場合は、DHCP (動的ホスト設定プロトコル) に対応している ADSL モデムやルーターを使用してください。DHCP に対応しているモデムやルーターをご使用の場合、本製品がインターネットに接続するために必要な IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および DNS 値は自動的に取得されるため、手動で入力する必要がありません。ホームネットワークのほとんどは動的ネットワークです。

ネットワークによっては固定 IP アドレスを必要とするものもあります。固定 IP アドレスを必要とする場合、ネットワーク接続をセットアップする際に、本製品のケーブル設定画面から IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS 値を手動で入力する必要があります。IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および DNS 値は、ご契約のインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせの上、入手してください。

Windows コンピュータをご使用の場合、コンピュータからこれらの設定値を入手することもできます。

— ご使用のネットワークが固定 IP アドレスを必要とする場合、DHCP 対応の ADSL モデムを使用することも可能です。

— DHCP 対応の ADSL モデムでは固定 IP アドレスもご使用になれます。

有線ネットワーク設定

ソフトウェア アップグレードの実行など、インターネット サービスに使用するネットワーク接続を設定します。

自動 ネットワーク設定

LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。

自動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定** 画面に移動します。**開始** を選択して、↵ を押し、次にもう一度 ↵ を押します。

2 ネットワーク テスト画面が表示されるので、ネットワーク接続を確認します。

接続が確認されると、「**有線ネットワーク接続とインターネット接続を完了しました。**」とメッセージが表示されます。

— 接続プロセスが失敗するときは、LAN ポートの接続を確認してください。

— 自動プロセスでネットワーク接続値を検出できない場合、または接続を手動で設定したい場合は、次の

手動ネットワーク設定 ネットワーク設定 のセクションを参照してください。

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイおよび DNS サーバーアドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。

2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。

3 ダイアログが表示されるので、サポート タブをクリックします。

4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定** 画面に移動します。**開始** を選択して、↵ を押し、次にもう一度 ↵ を押します。

2 ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。**停止** を押します。検証プロセスが停止します。

3 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。

4 上部のフィールドを選択して、↵ を押し、次に **IP 設定** を **手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

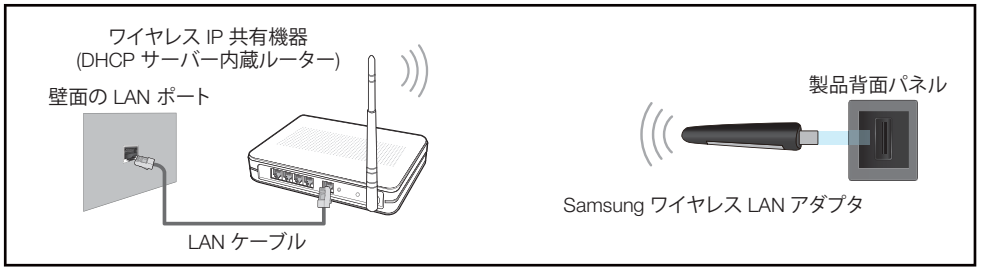
— **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。

5 入力したら、ページ 下部の **OK** を選択して、次に ↵ を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

6 接続が確認されると、「**有線ネットワーク接続とインターネット接続を完了しました。**」とメッセージが表示されます。

ワイヤレス ネットワークに接続する

本製品をワイヤレス ネットワークに接続するには、ワイヤレス ルーターかモデム、および Samsung ワイヤレス LAN アダプタ (WIS10ABGN、WIS12ABGNX) が必要です。本製品の背面または側面にある USB ポートにアダプタを接続します。下図を参照してください。



別売りの Samsung 製のワイヤレス LAN アダプタは、指定販売店、オンライン ショップ、および Samsungparts.com でお求めいただけます。Samsung 製ワイヤレス LAN アダプタは IEEE 802.11a/b/g/n の通信プロトコルに準拠しています。Samsung では、IEEE 802.11n のご使用をお勧めしています。ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、動画がなめらかに再生されないことがあります。

— ワイヤレス ネットワークをご利用になる際には、必ず "Samsung ワイヤレス LAN アダプタ" (WIS10ABGN, WIS12ABGNX) をお使いください。
Samsung ワイヤレス LAN アダプタと USB 延長ケーブルは別売りです。指定販売店、オンライン ショップ、および Samsungparts.com でお求めください。

— 未使用のチャンネルをワイヤレス IP 共有機に割り当ててください。ワイヤレス IP 共有機に割り当てたチャンネルが別の周辺機器によって使用されている場合、競合による通信障害が生じます。

— 本製品が対応しているワイヤレス ネットワークのセキュリティ プロトコルは以下のとおりです。
Pure High-throughput (Greenfield) 802.11n モードを選択し、お使いのアクセス ポイント ルーターまたはワイヤレス ルーターの暗号化方式を WEP、TKIP または TKIP AES (WPS2Mixed) に設定して接続する場合、Samsung 製品は、新しい Wi-Fi の認証規格に準拠しません。

— ご使用のワイヤレス ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合、PBC (プッシュボタン) または PIN (個人暗証番号) を利用してネットワークに接続することができます。どちらの接続方式を利用しても、WPS は自動的に SSID と WPA キーを設定します。

— ご使用のルーター、モデム、または機器が認証されていない場合、"Samsung ワイヤレス LAN アダプタ" を介して本製品に接続できないことがあります。

— Samsung ワイヤレス LAN アダプタを接続する前に、本製品の電源がオンになっていることを確認してください。

— 接続方法:ワイヤレス ネットワーク接続をセットアップするには、以下の 3 つの方法があります。
自動設定 (自動ネットワーク検索機能を使う)、手動設定、**WPS(PBC)**

— USB ハブや本製品に付属の USB 延長ケーブル以外のケーブルを使用して本製品と Samsung ワイヤレス LAN アダプタを接続した場合、本製品が Samsung ワイヤレス LAN アダプタを認識しないことがあります。

ワイヤレス ネットワーク設定

自動ネットワーク設定

ほとんどのワイヤレス ネットワークはネットワークにアクセスする装置を必要とするセキュリティ システムを選択肢として備え、アクセス キーまたは **セキュリティ キー** と呼ばれる暗号化セキュリティ コードを伝送します。この **セキュリティ キー** はパス フレーズに基づいていて、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ設定の際に、一般に単語または一連の文字および特定の長さの数字を入力するように要求されます。この方法のネットワーク接続設定を使用し、かつワイヤレス ネットワークに **セキュリティ キー** が用いられている場合には、自動または手動設定プロセス中にパス フレーズを入力する必要があります。

自動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定** 画面に移動します。**開始** を選択して、↵ を押します。

2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。

3 この一覧の中から、▲ または ▼ ボタンを使ってネットワークを選択し、次に ↵ ボタンを 2 回押します。

— 無線ルーターが非公開 (不可視) に設定されている場合は、**ネットワークの追加** を選択して接続を確立するための適切な **ネットワーク名** および **セキュリティ キー** を入力する必要があります。

4 **セキュリティ キーを入力してください。** 画面が表示されるのでステップ 5 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 7 に進んでください。

5 ルーターにセキュリティがある場合は、**セキュリティ キー** (**セキュリティ キー** または **PIN**) を入力します。

6 入力したら、右矢印ボタンを使ってカーソルを **次へ** に移動させ、↵ を押します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

— ルーターとの接続は確立されますが、インターネットにはアクセスできません。

7 接続が確認されると、「**ワイヤレス (無線) ネットワークとインターネット接続のセットアップが完了し、使用の準備が整いました。**」とメッセージが表示されます。

手動ネットワーク設定

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイおよび DNS サーバー アドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。

2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。

3 ダイアログが表示されるので、サポート タブをクリックします。

4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定** 画面に移動します。**開始** を選択して、↵ を押します。

2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。

3 この一覧の中から、▲ または ▼ ボタンを使ってネットワークを選択し、次に ↵ ボタンを 2 回押します。

— 無線ルーターが非公開（不可視）に設定されている場合は、**ネットワークの追加** を選択して接続を確立するための適切な **ネットワーク名** および **セキュリティ キー** を入力する必要があります。

4 **セキュリティ キーを入力してください。** 画面が表示されるのでステップ 5 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 7 に進んでください。

5 ルーターにセキュリティがある場合は、**セキュリティ キー**（**セキュリティ キー** または **PIN**）を入力します。

6 入力したら、右矢印ボタンを使ってカーソルを **次へ** に移動させ、↵ を押します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

7 ネットワーク接続の試行中に **停止** を選択します。これにより接続が停止します。

8 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。

9 上部のフィールドを選択して、↵ を押し、次に **IP 設定** を **手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

— **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。

10 入力したら、ページ 下部の **OK** を選択して、次に ↵ を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

11 接続が確認されると、「**ワイヤレス（無線）ネットワークとインターネット接続のセットアップが完了し、使用の準備が整いました。**」とメッセージが表示されます。

WPS(PBC)

WPS(PBC) を使用したセットアップ方法

ルーターに **WPS(PBC)** ボタンがある場合は、次の手順を行います。

1 **ネットワーク設定** 画面に移動します。

2 **WPS(PBC)** を選択して、↵ を押し、次にもう一度 ↵ を押します。

3 ルーターの **WPS(PBC)** ボタンを 2 分以内に押します。製品が自動的に必要なすべてのネットワーク設定値を収集しネットワークへの接続を行います。

4 ネットワーク接続画面が表示され、ネットワーク設定が完了します。

ネットワーク ステータス

MENU → **ネットワーク** → **ネットワーク ステータス** → ENTER

現在のネットワークおよびインターネットの状態を確認できます。

― 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

Wi-Fi ダイレクト

MENU → **ネットワーク** → **Wi-Fi ダイレクト** → ENTER

製品をワイヤレス モバイル デバイスに接続するように設定します。
この機能を使用すると、ルーターを使用せずにワイヤレス モバイル デバイスと製品を直接接続できるようになります。

― この機能を使用するには、モバイル デバイスが **Wi-Fi ダイレクト** をサポートしている必要があります。

Wi-Fi ダイレクト を使用してモバイル デバイスを製品に接続するには、次の手順を行います。

1 **Wi-Fi ダイレクト** 画面に移動します。製品がデバイスの検索を開始します。

2 デバイスの **Wi-Fi ダイレクト** 機能をオンにします。目的の Wi-Fi デバイスを選択します。

- PBC (プッシュボタン):Wi-Fi デバイスの **WPS(PBC)** ボタンを 2 分以内に押します。
  製品が自動的に必要なすべてのネットワーク設定値を収集しネットワークへの接続を行います。
- **PIN**: デバイスに表示される **PIN** を入力します。

― デバイスを切断したい場合は、接続中の Wi-Fi デバイスを選択し、次に **切断しました** を選択します。

ソフト AP

MENU → **ネットワーク** → **ソフト AP** → ENTER

この機能を使用すると、製品を **Wi-Fi ダイレクト** をサポートしないモバイル デバイスに接続できます。Wi-Fi デバイスの接続オプションを設定します。

- **ソフト AP**
  ソフト AP の電源をオンまたはオフにします。**ソフト AP** を **オン** に設定すると、モバイル デバイスが Wi-Fi 接続リスト中の製品名を検索できるようになります。
- **セキュリティ キー**
  リモコンを使用して手動で **セキュリティ キー** を設定します。
  - B **セキュリティ キーの表示**: セキュリティ キーが表示されます。セキュリティ キーを表示するかどうかは、上部のチェックボックスに示されます。
  - A **削除**: 入力したセキュリティ キーを 1 桁分だけ削除します。
  - C **スペース**: セキュリティ キーの入力時に文字の間に空白を挿入します。
  - **戻る**: セキュリティ キーを入力する前の画面に戻ります。
  - **セキュリティ キー** は 9 桁以上にする必要があります。
  - 生成したセキュリティ キーを接続するデバイスに入力します。
  - ネットワークが正常に動作しない場合は、セキュリティ キーを再確認してください。セキュリティ キーに誤りがあると故障の原因となることがあります。

AllShare 設定

MENU → **ネットワーク** → **AllShare 設定** → ENTER

本製品の **AllShare Play** 機能を使うように設定されている携帯電話または接続デバイスのリストを表示します。

- **許可** / **拒否**: デバイスを許可/遮断します。
- **リストから削除**: デバイスをリストから削除します。

  — この機能では、リストからデバイスの名前が削除されるだけです。デバイスをオンにしたり製品への接続を試みると、削除したデバイスがリストに再度表示されることがあります。

AllShare Play 機能の使用

携帯電話からメディア コンテンツ (ビデオ、写真、音楽) が送信されることを知らせる警告ウィンドウが装置に表示されます。警告ウィンドウの表示から 3 秒後に自動的にコンテンツが再生されます。警告ウィンドウの表示中に RETURN または EXIT ボタンを押すと、メディア コンテンツは再生されません。

— デバイスがメディア機能を通じて最初に製品にアクセスした場合には、警告ポップアップ ウィンドウが表示されます。ボタンを押して **許可** を選択します。これにより、携帯電話が自由に製品にアクセスして **AllShare Play** 機能を使用し、コンテンツを再生できるようになります。

— 携帯電話からのメディア コンテンツの転送をオフにするには、**AllShare 設定** を **拒否** に設定します。

— 製品の解像度およびフォーマットによってはコンテンツを再生できないことがあります。

— メディア コンテンツの種類によっては および ◀/▶ ボタンが機能しない場合があります。

— 携帯デバイスを使用して **AllShare Play** を制御できます。詳しくは各携帯デバイスのユーザー ガイドを参照してください。

デバイス名

MENU → **ネットワーク** → **デバイス名** → ENTER

デバイス名を入力または選択します。

この名前はネットワークを通じてネットワーク リモート コントロールに表示できます。

第 8 章
システム

マルチコントロール

MENU → **システム** → **マルチコントロール** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

マルチコントロール の設定

- **ID 設定**
  セットに ID を割り当てます。(範囲: 0~99)
  ▲ または ▼ を押して数字を選択し、 を押します。
- **ID 入力**
  入力信号を受ける入力ケーブルに接続された製品の ID 番号を入力します。
  リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。
- **MDC 接続**
  MDC 信号を受信するための MDC との接続方法を選択します。
  – **RS232C MDC**: RS232C ステレオ ケーブルを通じて MDC と接続します。
  – **RJ45 MDC**: RJ45 ケーブルを通じて MDC と接続します。
- **DisplayPort デイジー チェーン**
  DP IN 出力ポートを使用して DP OUT ビデオ入力を表示するには、SST (Single Stream Transport) および MST (Multi Stream Transport) からデバイスの接続方法を選択します。
  クローン: SST (Single Stream Transport) 出力モードでは、接続された 2 台のディスプレイ装置に同じ画面出力が表示されます。
  — **クローン** を選択すると、PC は 2 台のディスプレイを 1 つのモニターとして認識します。
  — **クローン** モードが有効になるのは、入力ソースが **ディスプレイ ポート** 以外のデジタル入力 (**DVI**、**HDMI**、**MagicInfo**) の場合です。
  拡張: MST (Multi Stream Transport) モードでは、接続された 2 台のディスプレイ装置に異なる画面出力が表示されます。
  — **拡張** を選択すると、PC は 2 台のディスプレイを別個のモニターとして認識します。
  — このモードは、DisplayPort 1.2 MST をサポートしている PC でのみ機能します。
  — Full HD 解像度 (1920x1080) 表示の場合、最大 4 台のディスプレイを接続できます。

時刻

MENU → **システム** → **時刻** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

現在時刻設定 または **スリープ タイマー** を設定できます。**タイマー** 機能を使用すると、指定された時刻に製品を自動的にオンまたはオフにするように設定することができます。

現在時刻設定

製品の様々なタイマー機能で使用されるクロックを設定します。

- **現在時刻設定**
  日付 および **時刻** を設定します。
  現在時刻設定 を選択します。**日付** または **時刻** を選択して、次に を押します。
  数字ボタンを使って数字を入力するか、または上下の矢印ボタンを押してください。左右の矢印キーを押すと、次の入力フィールドに移動します。完了したら、 を押します。

— **日付** および **時刻** はリモコンの数字ボタンを使って直接設定できます。

スリープ タイマー

前もってセットした時間を過ぎると自動的に製品をオフにします。

(**オフ** / **30 分** / **60 分** / **90 分** / **120 分** / **150 分** / **180 分**)

— 上下矢印キーで時間を選択し、次に を押します。**スリープ タイマー** をキャンセルするには、**オフ** を選択します。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

オンタイマー

オンタイマー を設定すると、選択した日時に自動的に製品がオンになります。

指定した音量または入力ソースで製品がオンになります。

オンタイマー: 7 つのオプションの 1 つを選択してオン タイマーを設定します。現在時刻を先に設定してから使用してください。

(**オンタイマー1** ~ **オンタイマー7**)

― **オンタイマー** は、クロックの設定を済ませてから使用してください。

- **設定**: **オフ**、**1 回**、**毎日**、**月~金**、**月~土**、**土~日** または **手動** を選択します。**手動** を選択した場合は、製品をオンにする日付を **オンタイマー** 選択できます。

  ― 選択された日付はチェックマークで示されます。

- **時刻**: 時刻 (時および分) を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。
- **音量**: 音量レベルを設定します。左右の矢印ボタンで音量レベルを変更します。
- **入力ソース**: 入力ソースを選択します。
- **音楽** / **写真** (**入力ソース** が **USB** に設定されている場合):USB デバイスを選択し、製品の起動時に自動的に再生する音楽または写真ファイルが保存されているフォルダを指定します。

  ― この機能は、USB デバイスを接続している場合にのみ使用できます。

― USB デバイスに音楽ファイルがない場合、または音楽ファイルを含むフォルダを選択しなかった場合、タイマー機能は正常に動作しません。

― USB デバイスに写真ファイルが 1 つしかない場合、スライド ショーは再生されません。

― フォルダ名が長すぎる場合、そのフォルダを選択することはできません。

― 使用する各 USB には独自のフォルダが割り当てられます。同じタイプの 2 つ以上の USB デバイスが使用されている場合、各 USB デバイスには異なる名前が割り当てられることに注意してください。

― **オンタイマー** を使用する際には、USB メモリ スティックとマルチ カード リーダーをお使いになることをお勧めします。一部のメーカー製の内蔵バッテリーを持つ USB デバイス、MP3 プレイヤー、または PMP との組み合わせでは、認識に時間がかかるため **オンタイマー** 機能が働かないことがあります。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

オフタイマー

7 つのオプションの 1 つを選択してオフ タイマー (**オフタイマー**) を設定します。(**オフタイマー1** ~ **オフタイマー7**)

― **オフタイマー** は、クロックの設定を済ませてから使用してください。

- **設定**: **オフ**、**1 回**、**毎日**、**月~金**、**月~土**、**土~日** または **手動** を選択します。
  手動 を選択した場合は、製品をオフにする日付を **オフタイマー** 選択できます。
  ― 選択された日付はチェックマークで示されます。
- **時刻**: 時刻 (時および分) を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。
  左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。

休日の管理

休日として指定されている期間は、**タイマー** が無効になります。

- **追加**: 休日として追加したい期間を指定します。
  ▲/▼ ボタンを使用して追加する休日の開始日と終了日を選択し、**保存** ボタンをクリックします。
  期間が休日のリストに追加されます。
  – **開始**: 休日の開始日を設定します。
  – **終了日**: 休日の終了日を設定します。
  – **削除**: 休日のリストからすべての項目を削除します。
  削除 を選択します。「**すべての休日を削除しますか?**」とメッセージが表示されます。
  はい を選択します。すべての休日が削除されます。
- **適用**: 祝祭日に起動しない場合は **オンタイマー** と **オフタイマー** を設定します。
  – を押して、起動しない **オンタイマー** と **オフタイマー** 設定を選択します。
  – 選択した **オンタイマー** と **オフタイマー** が起動しなくなります。

メニュー言語

MENU → **システム** → **メニュー言語** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

メニューの言語を設定します。

― 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。
ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

メニューの回転

MENU → **システム** → **メニューの回転** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

メニュー画面を設定します。

- **ランドスケープ**: ランドスケープ モードでメニューを表示します (デフォルト)。
- **ポートレイト**: 製品画面の右側にポートレイト モードでメニューを表示します。

  — **PC**/**DVI**/**HDMI1**/**HDMI2**/**DisplayPort**/**MagicInfo** モードの場合に使用できます。

エコ ソリューション

MENU → **システム** → **エコ ソリューション** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

省電力

画面の明るさを調整することにより電力消費を抑えます。

ピクチャー オフ を選択すると画面がオフになります。音声は無効になりません。

画面をオンにするには、音量ボタン以外のボタンを押します。

- **オフ** / **低** / **中** / **高** / **ピクチャー オフ**

エコ センサー

省電力の効果を高めるため、ピクチャー設定は室内の照度に自動的に合わせられます。

- **オフ** / **オン**

— **エコ センサー** がオンの状態で **映像** の **バックライト** 設定を調整すると、**オフ** は無効になります。

バックライト（最小輝度）

エコ センサー を **オン** にすると、最小画面輝度を手動で調整できます。**バックライト（最小輝度）** はバックライトの明るさが最小になるモードです。**バックライト（最小輝度）** 設定は **バックライト** 設定より下位の設定です。

— **エコ センサー** が **オン** のときは、周囲の光量に合わせてディスプレイの輝度が（わずかに暗くまたはわずかに明るく）変化します。

無信号電源オフ

どのソースからも信号がない場合にデバイスをオフにすることによって電気を節約します。

- **オフ** / **15 分** / **30 分** / **90 分**

— 接続している PC が省電力モードの時は無効となります。

— 製品はデフォルトで **15 分** に設定されています。

— 指定された時刻に本製品の電源が自動的にオフになります。必要に応じて時刻を変更することができます。

自動電源オフ

過熱防止のためリモコンまたは製品フロント パネルのボタンが 4 時間押されずにいると、製品が自動的にオフになります。

- **オフ** / **オン**

セキュリティ

MENU → **システム** → **セキュリティ** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

セキュリティ 機能にアクセスする度に、PIN 画面が表示されます。デフォルトの PIN 番号は “0-0-0-0” です (デフォルトのパスワード: 0 – 0 – 0 – 0).

安全ロック

セーフロック機能を設定します。

- **オフ** / **オン**

リモコンの LOCK ボタンを除く製品およびリモコンのすべてのメニューとボタンは、**安全ロック** 機能によってロックできます。

メニューおよびボタンのロックを解除するには、LOCK ボタンを押してパスワードを入力します (デフォルト パスワード: 0 – 0 – 0 – 0).

ボタン ロック

このメニューは、製品のボタンをロックしたい場合に有用です。

ボタン ロック が **オン** に設定されているときは、リモコンでのみ製品を制御できます。

- **オフ** / **オン**

PIN の変更

PIN の変更 画面が表示されます。

PIN の 4 桁の数字を選んで **新規 PIN の入力** に入力します。同じ 4 桁の数字を **新規 PIN の確認** にもう一度入力します。

確認画面が消えたら、**閉じる** ボタンを押します。新しい PIN が製品に記憶されます。

同時画面

MENU → **システム** → **同時画面** → ENTER

- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。
- **同時画面** サウンドについては、**サウンドの選択** の説明を参照してください。
- **同時画面** モードで視聴中に製品をオフにした場合、電源を再度オンにした後も **同時画面** モードが継続されます。
- メイン画面をゲームやカラオケの表示に使用すると、PIP 画面内の画像が少し不自然に見えることがあります。

同時画面 の設定

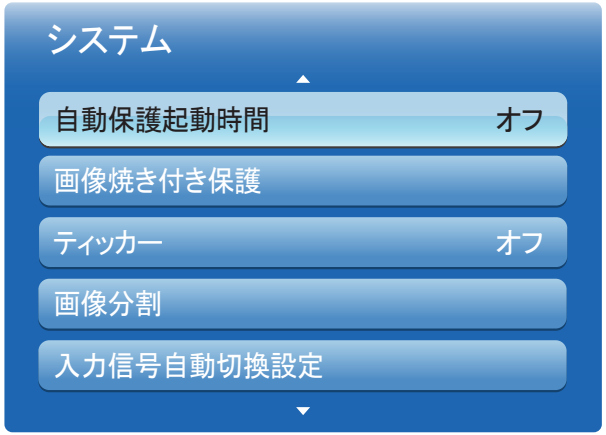
外部ビデオ ソースの画像はメイン画面に、製品からの画像は PIP サブ映像画面に表示されます。

メイン画像	サブ画像
PC	AV
AV	PC, DVI, HDMI1, HDMI2, ディスプレイ ポート
HDMI1, HDMI2, DVI, ディスプレイ ポート	AV
MagicInfo Lite	PC, DVI, AV, コンポーネント, HDMI1, HDMI2, ディスプレイ ポート

- **同時画面** (**オフ** / **オン**): PIP 機能を有効または無効にします。
- **入力ソース**: サブ映像のソースを選択することができます。
- **サイズ** (、、、、、): サブ映像のサイズを選択します。
- **位置** (、、、): サブ映像の位置を選択します。
  - (、、) モードでは、**位置** は選択できません。
- **サウンドの選択** (**メイン** / **サブ**): **メイン** 映像または **サブ** 映像の音声を聴くかを選択できます。

自動保護起動時間

MENU → **システム** → **自動保護起動時間** → ENTER



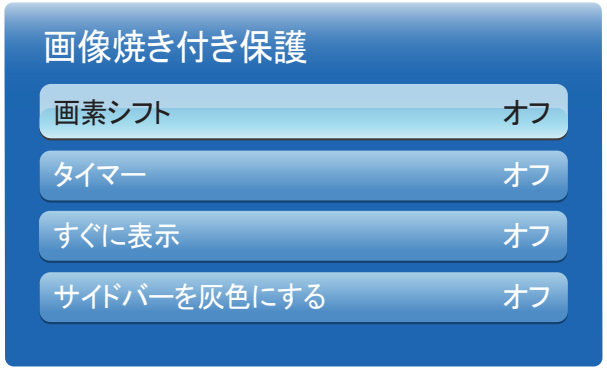
事前に定義した時間だけ静止画像が画面に表示されると、画像の焼き付きを防ぐためスクリーンセーバーが起動します。

- **オフ** / **2 時間** / **4 時間** / **8 時間** / **10 時間**

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画像焼き付き保護

MENU → **システム** → **画像焼き付き保護** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画面の焼き付きの可能性を抑えるため、本製品には **画素シフト** 画面焼き付き防止技術が導入されています。

画素シフト では、画面上の映像をわずかに動かします。

画素シフト 時刻 設定で画像の移動間隔を分単位で調整できます。

画素シフト

ピクセルを水平または垂直に少しだけ動かすことにより残像の発生を最小限に抑えます。

- **画素シフト** (**オフ** / **オン**)
  — **水平**、**垂直方向** および **時刻** は、**画素シフト** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
- **水平**: 画面を水平方向に何ピクセル移動させるかを設定します。
- **垂直方向**: 画面を垂直方向に何ピクセル移動させるかを設定します。
- **時刻**: 水平移動または垂直移動を実行する間隔をそれぞれ設定します。

使用可能な 画素シフト 設定と最適な設定

	使用できる設定	最適な設定
水平 (ピクセル)	0~4	4
垂直方向 (ピクセル)	0~4	4
時刻 (分)	1 分~4 分	4 分

— **画素シフト** 値は、製品サイズ (インチ) およびモードによって変わることがあります。

— 静止画像や **4:3** 出力の長時間の表示は残像の原因となることがあります。これは製品の欠陥によるものではありません。

— この機能は **画面に合わせる** モードでは使用できません。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

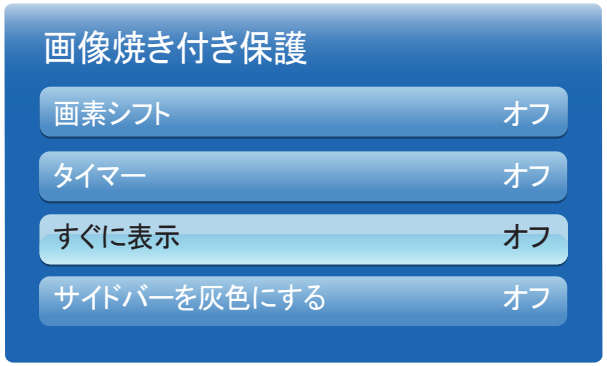
タイマー

画像焼き付き保護 にタイマーを設定できます。

指定した期間を過ぎると **画素シフト** 機能は自動的に停止します。

タイマー

- **オフ**
- **繰り返し**: **モード** に設定された残像防止パターンを指定の間隔（期間）で表示します。
- **間隔**: **モード** に設定された残像防止パターンを指定の期間（**開始時刻** から **終了時刻** まで）表示します。
  - このオプションは**現在時刻設定** が設定されている場合にのみ有効となります。
  - **モード**、**周期**、**時刻**、**開始時刻** および **終了時刻** は、**タイマー**が**繰り返し** または **間隔** に設定されている場合にのみ有効になります。
- **モード**: 表示する画面保護パターンを選択します。
  - **ピクセル**: 画面上のピクセルが連続的に黒色と入れ替わります。
  - **ロールバー**: 縦棒を左から右に移動します。
  - **フェーディング画面**: 画面全体が明るくなり、次に暗くなります。
  - **ロールバー** および **フェーディング画面** パターンは、指定した繰り返し周期または時刻に関係なく一度だけ表示されます。
- **周期**: **画像焼き付き保護** 機能を有効にする間隔を指定します。
  - **タイマー** に **繰り返し** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **時刻**: **画像焼き付き保護** をオンにし続ける継続時間を指定します。
  - **モード** に **ピクセル** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **開始時刻**: 画面保護機能をオンにする時刻を設定します。
  - **タイマー** に **間隔** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **終了時刻**: 画面保護機能をオフにする時刻を設定します。
  - **タイマー** に **間隔** が設定されているときには、このオプションが有効になります。



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

すぐに表示

スクリーン セーバーを選択して、素早く表示されるように設定します。

- **オフ** / **ピクセル** / **ロールバー** / **フェーディング画面**

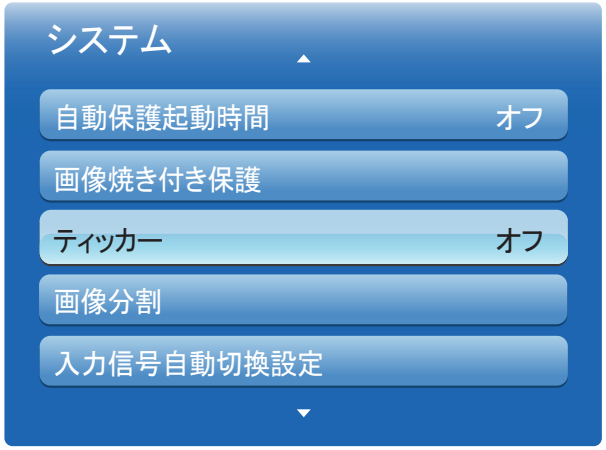
サイドバーを灰色にする

画面のアスペクト比が 4:3 に設定されている場合に、画面保護のため両側のホワイト マージンの明るさを調整します。

- **オフ** / **明るくする** / **暗**

ティッカー

MENU → **システム** → **ティッカー** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ビデオまたは画像の表示中にテキストを入力すると、テキストが画面に表示されます。

- **オフ** / **オン**

  — **メッセージ**、**時刻**、**位置**、**モーション** および **フォント オプション** は、**ティッカー**が**オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
- **メッセージ**: 画面に表示するメッセージを入力します。
- **時刻**: **メッセージ** を表示する **開始時刻** と **終了時刻** を設定します。
- **位置**: **メッセージ** を表示する向きを **水平** と **垂直方向** から選択します。
  - **水平** (**左** / **中央** / **右**)
  - **垂直方向** (**トップ** / **中央** / **底部**)
- **モーション**: **メッセージ** を表示する **方向** と **速度** を設定します。
  - **モーション** (**オフ** / **オン**)
  - **方向** (**左** / **右** / **トップ** / **底部**)
  - **速度** (**遅く** / **標準** / **速く**)

  — **方向** および **速度** は、**モーション** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
- **フォント オプション**: メッセージの **サイズ** と **フォントの色** を指定します。

画像分割

MENU → **システム** → **画像分割** → ENTER

- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。
- **画像分割** オプションは、**同時画面** が **オフ** に設定されている場合にのみ有効になります。
- 水平方向および垂直方向に 5 台以上のディスプレイが接続されている場合には、コントラストや色強度の劣化によって映像が暗くならないよう XGA (1024 x 768) レベル以上の入力を使用することが推奨されます。

画像分割のために接続された複数のディスプレイのレイアウトをカスタマイズします。

さらに、全体の映像の一部を表示するか、または接続された複数のディスプレイそれぞれに同じ映像をリピートします。

複数の画像を表示するには、MDC ヘルプまたは **MagicInfo** ユーザー ガイドを参照してください。
モデルによっては、MagicInfo 機能をサポートしないものがあります。

画像分割

画像分割 を有効または無効にできます。

画像分割を行う場合は、**オン** を選択します。

フォーマット

複数のディスプレイに画像を表示するフォーマットを選択します。

- **フルモード**: 全画面で画像を表示します。
- **ナチュラルモード** : 拡大や縮小なしで、画像をオリジナルの解像度で表示します。

— **フォーマット** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

水平

この機能は、指定された水平方向のディスプレイの数に応じて、画面を自動的に分割します。

水平方向に配置されたディスプレイ数を入力します。

水平方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。

水平配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。

— 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。

— **水平** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

垂直方向

この機能は、指定された垂直方向のディスプレイの数に応じて、スクリーンを自動的に分割します。

垂直方向に配置されたディスプレイ数を入力します。

垂直方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。

垂直配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。

— 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。

— **垂直方向** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

画面の位置

画面の位置 機能を使用すると、番号で特定されるディスプレイを移動することで、画面分割の配置をカスタマイズすることができます。

画面の位置 を選択すると、**水平** または **垂直方向** 設定に応じて指定されているディスプレイの配置が番号と共に表示されます。配置をカスタマイズするには、リモコンの方向キーで番号 (ディスプレイ) を移動し、↵ を押します。

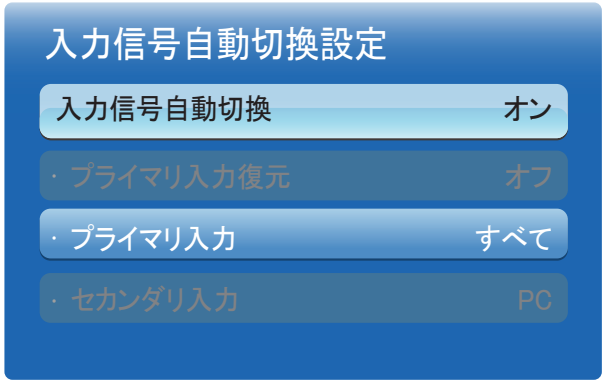
— **画面の位置** には最大 100 個のディスプレイを配置できます。

— **画面の位置** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

— **画面の位置** ウィンドウは、**水平** および **垂直方向** が設定されている場合にのみ表示されます。

入力信号自動切換設定

MENU → **システム** → **入力信号自動切換設定** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力信号自動切換 が **オン** の状態でディスプレイをオンにしたとき、前に選択していたビデオ入力信号がない場合には、ディスプレイは自動的に別のアクティブなビデオ入力信号を探します。

入力信号自動切換

入力信号自動切換 が **オン** になると、アクティブなビデオのビデオ入力信号が自動的に検索されます。

現在のビデオ入力信号が認識できない場合には、**プライマリ入力** 選択が有効になります。

[**セカンダリ入力** 選択は、使用できるプライマリのビデオ入力信号がない場合に有効になります。

プライマリおよびセカンダリ入力ソースが両方とも認識されない場合は、有効なソースの検索が 2 回実行されます。いずれの検索でも、最初にプライマリ ソース、次にセカンダリ ソースが確認されます。両方の検索に失敗した場合は、ディスプレイが最初のビデオ ソースに戻り、信号がないことを示すメッセージが表示されます。

プライマリ入力 選択が **すべて** に設定されているときは、ディスプレイはすべてのビデオ入力信号を 2 回連続して検索してアクティブなビデオ入力信号を探し、ビデオが見つからない場合には最初のビデオ入力信号に戻ります。

プライマリ入力復元

プライマリ入力ソースを接続した場合に、選ばれたプライマリ入力ソースを復元するかを選択します。

― **プライマリ入力** が **すべて** に設定されているときは、**プライマリ入力復元** 機能は無効になります。

プライマリ入力

自動入力ソースの **プライマリ入力** を指定します。

セカンダリ入力

自動入力ソースの **セカンダリ入力** を指定します。

全般

MENU → **システム** → **全般** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

省電力（最大）

電力消費を抑えるため、事前に指定した時間を超えて PC がアイドル状態となったとき製品をオフにします。

- **オフ** / **オン**

— **PC**、**DVI**、**HDMI1**、**HDMI2**、**ディスプレイ ポート** モードでのみ使用できます。

ゲーム モード

PlayStation™ や Xbox™ などのゲーム機を接続する場合は、ゲーム モードを選択するとよりリアルなゲーム体験が楽しめます。

- **オフ** / **オン**

— **ゲーム モード** に関する注意と制限
ゲーム機の接続を切って他の外部機器を接続するときは、設定メニューで **ゲーム モード** を **オフ** に設定してください。

— **ゲーム モード** は、入力ソースが **PC**、**DVI** または **ディスプレイ ポート** に設定されているときには使用できません。

— **ゲーム モード** が **オン** になっている場合
映像モード を **標準** に設定し、**サウンド モード**を**動画** に設定します。

BD Wise

BD Wise をサポートする Samsung 製 DVD、blu-ray、およびホームシアター製品に最適な画質を提供します。**BD Wise** を **オン** にすると、映像モードが自動的に最適な解像度に変更されます。

- **オフ** / **オン**

— **BD Wise** をサポートする Samsung 製品を HDMI ケーブルを通じて製品に接続している場合に使用できます。

— **BD Wise** 機能は、**BD Wise** 機能を持つソース機器が接続されている場合にのみ有効になります。

メニューの透明度

メニュー ボックスの透明度を調整します。

- **高** / **中** / **低**

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

フィードバック音

本製品は、使用時にサウンド フィードバックを提供します。

フィードバック音 は、デフォルトで有効になっています。**フィードバック音** をオフにするか、または音量を調整します。

この機能は、デフォルトで有効になっています。音量を調整したりミュートにすることができます。

― **オフ** / **低** / **中** / **高**

自動電源設定

このオプションを有効にすると、電源ケーブルが接続されると製品が自動的にオンになります。

- **オフ** / **オン**

スタンバイ制御

入力信号を受信したときに適用する画面スタンバイ モードを設定することができます。

- **自動**
  外部入力デバイスがディスプレイに接続されていても、入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。
  ソース機器が接続されていないときには、**信号なし** とメッセージが表示されます。
- **オン**
  入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。
- **オフ**
  入力信号が検出されないときには、**信号なし** とメッセージが表示されます。

  ― **スタンバイ制御** オプションは、**入力ソース** が **PC**、**DVI**、**HDMI1**、**HDMI2** または **ディスプレイ ポート** に設定されている場合に有効になります。

  ― ソース機器が接続されているのに **信号なし** と表示される場合は、ケーブルの接続を確認してください。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ランプ スケジュール

MDC モード中の指定時刻にユーザー設定値に調節されるように、ランプ値を有効にします。

- **オフ** / **オン**

OSD ディスプレイ

画面のメニュー項目を表示または非表示にします。

— **ソース OSD** / **OSD 信号なし** / **MDC OSD**

電源オン調整

電源ボタンが押された後、画面をオンにするウォームアップ時間を設定することができます。(範囲:0 – 50 秒)

— ウォームアップ時間が非常に短いと、過電圧のため製品が破損する場合があります。

温度制御

この機能では、製品の内部温度が検出されます。許容される温度範囲を指定することができます。

デフォルトの温度は 77 °Cに設定されています。

この製品の推奨される動作温度は、75～80 °C (室温 40 °C の場合) です。

— 現在の温度が指定された温度制限を上回ると、画面が暗くなります。温度が上昇し続けると、過熱を防ぐため製品の電源がオフになります。

Anynet+ (HDMI-CEC)

MENU → システム → Anynet+ (HDMI-CEC) → ENTER

- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。
- Anynet+ 機能は、他社製品との組み合わせでは動作しません。
- Anynet+ 外部機器を接続する方法については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
- 受信機 (ホームシアター) は 1 台しか接続できません。

Anynet+ (HDMI-CEC)

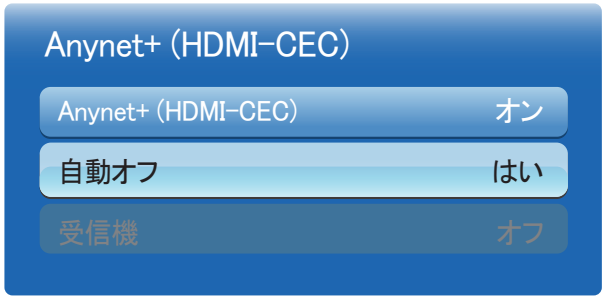
Anynet+ は、Anynet+ をサポートする接続された Samsung 製デバイスをお持ちの Samsung 製品用リモコンで制御できるようにする機能です。Anynet+ システムは、Anynet+ 機能を備える Samsung 製デバイスでのみ使用できます。お持ちの Samsung 製デバイスを見て Anynet+ ロゴがあれば、この機能を備えています。

- Anynet+ デバイスは製品のリモコンでのみ制御可能で、製品のボタンでは制御できません。
- いくつかの状況では、製品のリモコンが機能しないことがあります。そのような場合は、Anynet+ デバイスを再選択してください。
- Anynet+ は、Anynet+ をサポートする AV 機器がスタンバイまたはオン状態のとき機能します。
- 同時画面 モードでは、AV 機器がメイン ディスプレイとして接続されている場合に限り、Anynet+ が機能します。AV 機器が第 2 モニターとして接続されている場合、Anynet+ は機能しません。
- Anynet+ は合計で 12 台までの AV 機器をサポートします。ただし、同時に接続できる同じタイプのデバイスは 3 台までです。

Anynet+ メニュー

Anynet+ メニューは、製品に接続されている Anynet+ デバイスの種類と状態によって変化します。

Anynet+ メニュー	説明
PC の表示	Anynet+ モードを PC モードに変更します。
デバイス リスト	Anynet+ デバイスのリストを表示します。
(デバイス名) メニュー	接続されたデバイスのメニューをメニュー表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤーのディスク メニューが表示されます。
(デバイス名) ツール	接続されたデバイスのツール メニューを表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤーのツール メニューが表示されます。 — このメニューは、デバイスによっては使用できないことがあります。
(デバイス名) タイトル メニュー	接続されたデバイス内のディスクのメニューを表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤー内の動画のタイトル メニューが表示されます。 — このメニューは、デバイスによっては使用できないことがあります。



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

自動オフ

製品をオフにすると、Anynet+ デバイスも自動的に **オフ** になるように設定します。

- **いいえ** / **はい**

— **自動オフ** を **はい** に設定すると、製品の電源をオフにすると同時に外部機器もオフになります。

— デバイスによっては機能しない場合があります。

Anynet+ デバイスを切り替えます。

1 TOOLS ボタンを押して **Anynet+ (HDMI-CEC)** を選択し、次に ↵ を押します。

2 **デバイス リスト** を選択して、次に ↵ を押します。

目的のデバイスが見つからないときは、**更新** を選択してリストを更新してください。

3 デバイスを選択して、次に ↵ ボタンを押します。選択したデバイスに切り替えられます。

— **デバイス リスト** メニューは、**システム** メニューで**Anynet+ (HDMI-CEC)** を **オン** に設定している場合にのみ表示されます。

— 選択したデバイスへの切り替えは、最大で 2 分程度かかることがあります。切り替えの進行中に切り替え動作をキャンセルすることはできません。

— SOURCE ボタンを押して Anynet+ デバイスを選択し、次にその入力元を選択した場合、Anynet+ 機能は使用できません。

— **デバイス リスト** を使用して **Anynet+** デバイスへの切り替えを行ってください。

Anynet+ のトラブルシューティング

問題	可能な解決方法
Anynet+ が機能しない。	• デバイスが Anynet+ デバイスかを確認してください。Anynet+ システムは Anynet+ デバイスのみをサポートします。 • Anynet+ デバイスの電源コードが正しく接続されているか確認してください。 • Anynet+ デバイスのビデオ/オーディオ/HDMI ケーブルの接続を確認してください。 • Anynet+ 設定メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が **オン** に設定されているか確認してください。 • リモコンが Anynet+ に対応しているか確認してください。 • 特定の状況では Anynet+ は動作しません。(初期設定) • HDMI ケーブルを取り外していて再接続したときは、デバイスを再検索するか、製品をオフにして再びオンにしてください。 • 当該の Anynet デバイスの Anynet+ 機能がオンに設定されているか確認してください。
Anynet+ を開始するには	• Anynet+ デバイスが製品に適切に接続されているか、また **Anynet+ 設定** メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が **オン** に設定されているかを確認します。 • TOOLS ボタンを押して **Anynet+** メニューを表示し、目的のメニューを選択します。
Anynet+ を終了するには	• **Anynet+** メニューで **PC の表示** を選択します。 • 製品のリモコンの SOURCE ボタンを押して、Anynet+ デバイス以外のデバイスを選択します。
画面に「**Anynet+ デバイスを切断しています...**」とメッセージが表示されます。	• Anynet+ の設定中または表示モードへの切り替え中には、リモコンを使用できません。 • 製品が Anynet+ 設定を完了するか、Anynet+ への切り替えを終了してから、リモコンを使用してください。
Anynet+ デバイスで再生ができない。	• 初期設定中に再生機能を使用することはできません。

問題	可能な解決方法
接続したデバイスが表示されない。	• そのデバイスが Anynet+ 機能をサポートしているか確認してください。 • HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • **Anynet+ 設定** メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が **オン** に設定されていることを確認します。 • Anynet+ デバイスを再度検索してください。 • Anynet+ には HDMI 接続が必要です。デバイスと製品が HDMI ケーブルで接続されているか確認してください。 • HDMI ケーブルによっては、Anynet+ 機能をサポートしないことがあります。 • 電源異常または HDMI ケーブルの切断によって接続が途切れた場合は、デバイスのスキャンを繰り返してください。

DivX® ビデオ オンデマンド

MENU → **システム** → **DivX® ビデオ オンデマンド** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

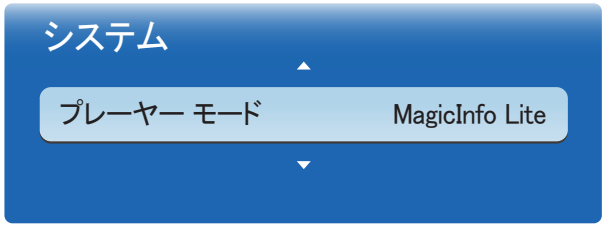
製品に認可された登録コードを表示します。

DivX® ウェブサイトに接続してこのコードを使って登録すると、VOD 登録ファイルをダウンロードできるようになります。

DivX® VOD の詳細については、http://vod.divx.com を参照してください。

プレーヤー モード

MENU → **システム** → **プレーヤー モード** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

プレーヤー モード を選択します。

プレーヤー モード が変わると、**コンテンツ ホーム** の機能が変化します。

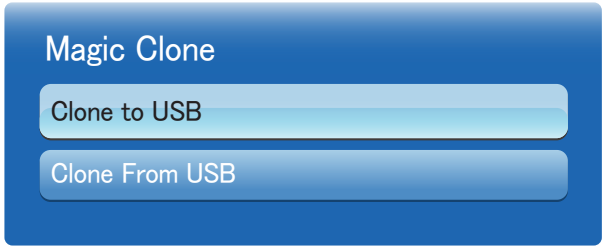
- **MagicInfo Lite** / **MagicInfo Premium S** / **MagicInfo Videowall S**

— **プレーヤー モード** を変更すると、製品が自動的に再起動して変更が適用されます。

— **プレーヤー モード** を変更すると、**プレーヤー モード** の以前の設定がすべてリセットされます。

Magic Clone

MENU → **システム** → **Magic Clone** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

製品の設定を USB デバイスにエクスポートしたり USB デバイスから設定をロードします。

このオプションは複数の製品に同じ設定を割り当てたいときに便利です。

- **Clone to USB**: 製品の設定を USB デバイスにコピーします。
- **Clone From USB**: USB デバイスに保存されている設定を製品に割り当てます。
  – 設定が完了すると、製品は自動的に再起動されます。
  — このオプションは USB デバイスに設定ファイル以外のファイルが含まれていると正常に動作しないことがあります。
  — オプションを実行する前に、USB デバイスが正常に動作するか確認してください。
  — このオプションは、**モデル コード** と **ソフトウェア バージョン** が同じ製品に対して使用できます。**サポート** → **Samsung 連絡先** に移動して、製品の **モデル コード** と **ソフトウェア バージョン** を確認してください。

システムのリセット

MENU → **システム** → **システムのリセット** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

このオプションは、システムの現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

すべてリセット

MENU → **システム** → **すべてリセット** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

このオプションは、ディスプレイに関するすべての現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

PC モジュール電源

MENU → **システム** → **PC モジュール電源** → ENTER

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

– PC モジュール:ネットワーク ボックスまたは PIM を参照してください。

PC モジュールは、LFD とは別個にオン/オフできます。

電源オンの同期

LFD をオンにせずに PC モジュールをオンにするには、**オフ** を選択します。

- **オフ** / **オン**

電源オフの同期

PC モジュールをオフにせずに LFD をオフにするには、**オフ** を選択します。

- **オフ** / **オン**

第 9 章
サポート

ソフトウェア更新

MENU → **サポート** → **ソフトウェア更新** → ENTER

ソフトウェア更新 メニューから製品のソフトウェアを最新バージョンに更新できます。

— 更新が完了するまで電源をオフにしないように注意してください。ソフトウェア更新が完了すると製品はオフになり、また自動的にオンになります。

— ソフトウェアを更新すると、すべてのビデオおよびオーディオの設定はユーザー設定からデフォルトの設定に戻ります。
更新後の再設定が簡単にできるように、ユーザーの設定をメモしておくことをお奨めします。

– **現在のバージョン**: 製品にすでにインストールされているソフトウェアのバージョンです。

USB 経由

1 http://www.samsunglfd.com にアクセスします。

2 最新の USB ソフトウェア更新実行アーカイブをコンピュータにダウンロードします。

3 実行アーカイブを展開します。実行ファイルは同じ名前の単一のファイルに入れてください。

4 フォルダを USB フラッシュ ドライブにコピーします。

5 製品をオンにして、次に製品の USB ポートに USB フラッシュ ドライブを差し込みます。

6 製品メニューの **サポート** → **ソフトウェア更新** に移動します。

7 **USB 経由** を選択します。

– 更新が完了するまで USB ドライブを抜かないよう注意してください。

Samsung 連絡先

MENU → **サポート** → **Samsung 連絡先** → ENTER

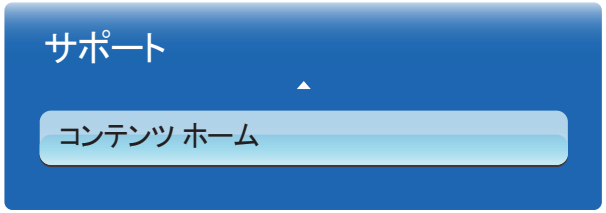
製品が正しく機能しない場合、またはソフトウェアを更新したい場合は、この情報をご確認ください。

弊社コールセンターに関する情報ならびに製品およびソフトウェアのダウンロード方法をご覧いただけます。

— **Samsung 連絡先** に移動して、製品の **モデル コード** と **ソフトウェア バージョン** を確認します。

コンテンツ ホーム

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → ENTER



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

MagicInfo Lite

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Lite** → ENTER

— **MagicInfo Lite** には、リモコンの MagicInfo Lite/S を押すことでもアクセスできます。

— **MagicInfo Lite** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Lite** を選択します。

MagicInfo Lite プレーヤー を使って、コンテンツ（画像、動画、文書ファイル）を好きな時間に再生することができます。

内部メモリまたは USB メモリに保存されたコンテンツを再生できます。ネットワークに接続し、MagicInfo Lite Server を通してコンテンツを再生することも可能です。

— **MagicInfo Lite** メニューについての詳細は、ページ 167 を参照してください。

MagicInfo Premium S

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Premium S** → ENTER

— **MagicInfo Premium S** には、リモコンの MagicInfo Lite/S を押すことでもアクセスできます。

— **MagicInfo Premium S** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Premium S** を選択します。

— **MagicInfo Premium S** を使用するにはライセンスを購入する必要があります。

MagicInfo Premium S Player では、画像、ビデオ、文書などのテンプレートを含むコンテンツ ファイルを編集したり再生することができます。

USB メモリや内蔵メモリのコンテンツ ファイルやテンプレートを再生します。または、ネットワークを通じて MagicInfo Premium Server を介してコンテンツ ファイルやテンプレートを再生します。

— **MagicInfo Premium S** メニューについての詳細は、ページ 190 を参照してください。

MagicInfo Videowall S

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Videowall S** → ENTER

— **MagicInfo Videowall S** には、リモコンの MagicInfo Lite/S を押すことでもアクセスできます。

— **MagicInfo Videowall S** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Videowall S** を選択します。

— **MagicInfo Videowall S** を使用するにはライセンスを購入する必要があります。

MagicInfo Videowall S Player を使って、コンテンツを好きな時間に再生することができます。
再生できるコンテンツには、画像やビデオ ファイルの他に MagicInfo Videowall Author で作成した VideoWall コンテンツも含まれます。

コンテンツは、ネットワーク経由で Videowall Console を使用した場合にのみ再生できます。

— **MagicInfo Videowall S** メニューについての詳細は、ページ 217 を参照してください。

AllShare Play

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → ENTER

USB マス ストレージ クラス (MSC) デバイスに保存されているビデオ、写真、または音楽ファイルをお楽しみください。

— **AllShare Play** メニューについての詳細は、ページ 151 を参照してください。

入力ソース

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **入力ソース** → ENTER

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。**入力ソース** リストからソースを選択すると、選択したソース機器の画面が表示されます。

– リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

名前の編集

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **入力ソース** → TOOLS → **名前の編集** → ENTER

ソース機器の名前を **名前の編集** で指定しておかないと、画面に正しく表示されないことがあります。

最適な画質を得るため、**名前の編集** でソース機器の名前を変更しておくことをお勧めします。

— 以下のソース機器をリストに入れることができます。リストの **入力ソース** 機器は選択したソースにより異なります。
VCR / **DVD** / **ケーブル STB** / **衛星放送向け STB** / **PVR STB** / **AV 受信機** / **ゲーム** / **カムコーダ** / **PC** / **DVI PC** / **DVI デバイス** / **TV** / **IPTV** / **Blu-ray** / **HD DVD** / **DMA**

— **映像** メニューで利用可能な設定は、現在のソースと **名前の編集** で行った設定により異なります。

- PC を HDMI 端子に接続しているときは、**名前の編集** を **PC** に設定します。その他の場合には、**名前の編集** を AV 機器に設定します。
- HDMI ケーブルを使って PC と HDMI IN 1 または HDMI IN 2 ポートを接続した場合、**名前の編集** で製品を **PC** モードに設定する必要があります。
- DVI ケーブルを使って PC と HDMI IN 1 または HDMI IN 2 ポートを接続した場合、**名前の編集** で製品を **DVI PC** モードに設定する必要があります。
- DVI ケーブルを使って AV 機器と HDMI IN 1 または HDMI IN 2 ポートを接続した場合、**名前の編集** で製品を **DVI デバイス** モードに設定する必要があります。

情報

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **入力ソース** → TOOLS → **情報** → ENTER

選択した外部装置に関する詳細情報を表示します。

第 10 章
AllShare Play

USB マス ストレージ クラス (MSC) デバイスに保存されているビデオ、写真、または音楽ファイルをお楽しみください。

AllShare Play とは?

AllShare Play には、リモコンの CONTENET(HOME) を押すことでもアクセスできます。

記憶装置に保存されている写真、ビデオまたは音楽ファイルを再生します。ワイヤレス ネットワークを使用してスマートフォンを PC にワイヤレス接続します。

AllShare Play では、以下のいずれかの方法を使用して様々なコンテンツを再生できます。

- 内部メモリおよび USB デバイスの使用:USB デバイスからビデオ、写真および音楽ファイルを再生します。ファイルを内部メモリにコピーします。
- ネットワークを通じて PC に接続:PC に保存されている写真、ビデオおよび音楽ファイルをネットワーク接続を通じて再生します。

AllShare Play を USB デバイスで使用する前に、以下をお読みください。

注意

- USB デバイスを製品に接続する前に、データの破損または喪失を防ぐためファイルのバックアップを取ってください。
  Samsung Electronics は、いかなるデータの破損または喪失に対しても責任を負いません。
- ロード中に USB デバイスを取り外さないでください。
- USB 外部ケーブルを使用して USB デバイスを接続している場合、USB デバイスが認識されない、またはデバイスに保存されたファイルが読み取れないことがあります。
- 接続されている USB デバイスを製品が認識しない場合は、USB デバイス内のファイルが破損しているか、または再生できないファイルである可能性があります。
  その場合は USB デバイスを PC に接続してデバイスをフォーマットしてから、デバイスを適切に接続します。
- 2TB を超える USB HDD はサポートされません。

AllShare Play と互換性のあるデバイス

- 一部のタイプの USB デバイス、デジタル カメラおよびオーディオ デバイスは、本製品と互換性がない場合があります。
- **AllShare Play** は USB MSC デバイスとのみ互換性があります。
- MSC デバイスとは、大容量記憶クラス Bulk-Only 転送デバイスを指します。たとえば、USB メモリ、フラッシュ カード リーダー、USB HDD などが MSC に含まれます。(USB ハブはサポートされません)
  MSC デバイスは製品の USB ポートに直に接続してください。
- 2 つ以上の画像転送プロトコル (PTP) デバイスを接続している場合は、一度に 1 つのみが機能します。
- 複数の MSC デバイスを接続している場合、一部のデバイスが認識されないことがあります。高電力 (500mA または 5V 以上) を必要とする USB デバイスはサポートされないことがあります。
- USB デバイスの接続中または使用中に過熱を警告するメッセージが表示される場合は、USB デバイスが正しく認識されていないか正常に機能していない可能性があります。
- 製品が **自動保護起動時間** で指定された期間使われずに放置されるとスクリーンセーバーが起動します。
- 一部の外部ハード ディスク ドライブの省電力モードは、製品を接続することにより自動的に無効化されることがあります。

ファイル システムとフォーマット

- **AllShare Play** をライセンスされていないマルチメディア ファイルに使うと正しく動作しないことがあります。
- メディア転送プロトコル (MTP) はサポートされません。
- サポートされるファイル システムには、FAT16、FAT32 および NTFS (読み取り専用) があります。
- **AllShare Play** はシーケンシャル JPEG 形式をサポートします。
  プログレッシブ JPEG 形式はサポートされません。
- 画像の解像度が大きくなるほど画面表示に時間を要します。
- サポートされる最大 JPEG 解像度は、15360x8640 ピクセルです。
- ファイルに互換性がない場合またはファイルが破損している場合は、**サポートされていないファイル形式です。** とメッセージが表示されます。
- フォルダ ビュー モードでファイルを並べ替える場合、各フォルダにつき最大 1,000 個のファイルを表示できます。
- USB デバイスに 8,000 以上のファイルおよびフォルダが含まれる場合、一部のファイルおよびフォルダが開けなくなることがあります。
- ウェブサイトから有料ダウンロードした DRM MP3 ファイルは再生できません。
  デジタル著作権管理 (DRM) とは、データのセキュアな配布を可能にし違法配布を防ぐことによって、インターネットまたはその他のデジタル メディアを介して流通するデータの著作権を保護するためのシステムです。

USB デバイスの使用

USB デバイスの接続

USB HDD は、電源アダプタ付きのご使用をお勧めします。

1 製品をオンにします。

2 写真や音楽、動画ファイルが含まれている USB デバイスを、本製品の裏側または側面パネルにある USB ポートに接続します。

3 USB デバイスが正しく接続されると、**新しいデバイスを接続しました。** とメッセージが表示されます。
再生するコンテンツのタイプを **ビデオ**、**写真**、および **音楽** から選択します。

― 接続されている USB デバイスが 1 つだけの場合は、USB デバイスに保存されているファイルが自動的に表示されます。

― USB デバイスに保存されているコンテンツを表示するには、USB デバイスを製品の USB ポートに接続します。

USB デバイスの取り外し

USB デバイスは **USB を安全に取り外す** 機能を使用して取り外すことをお勧めします。

入力ソース から USB デバイスを取り外す

1 リモコンの SOURCE を押します。または、OSD メニューを使用して **入力ソース** に移動します。

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **入力ソース** → ENTER

2 USB デバイスを選択して、リモコンの TOOLS を押します。**ツール** オプションが表示されます。

3 **USB を安全に取り外す** を選択して USB デバイスが切断されるのを待ちます。USB デバイスが切断されます。

画面から AllShare Play を削除する

1 **AllShare Play** ページ に移動します。

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → ENTER

2 **マイ リスト** を除くすべてのオプションを選択して、リモコンの を押します。

3 USB デバイスを選択して、リモコンの TOOLS を押します。**ツール** オプションが表示されます。

4 **USB を安全に取り外す** を選択して USB デバイスが切断されるのを待ちます。USB デバイスが切断されます。

ネットワークを通じて PC に接続する

PC に保存されている写真、ビデオおよび音楽ファイルをネットワーク接続を通じて **AllShare Play** モードで再生します。

- ネットワークの設定方法の詳細については、**ネットワーク設定** のセクションを参照してください。
- PC に保存されているコンテンツを表示するには、製品と PC を同一のワイヤレス ルーターに接続して http://www.samsung.com にアクセスし、AllShare PC ソフトウェアをダウンロードします。
- 製品と PC が同じネットワーク サブネットに接続されるようにします。
  すべての IP アドレスは、ドットで区切られた 4 つの部分で構成されています。
  (IP アドレスの例: 111.222.333.444) 製品と PC が同じサブネットに接続されている場合、4 番目の部分を除いて IP アドレスは同じになります。
  (例: 111.222.333.***)

ネットワークを介して PC と接続した場合、**AllShare Play** の以下の機能はサポートされません。

- **BGM オン** および **BGM 設定** 機能
- **ビデオ**、**写真** または **音楽** フォルダをデフォルトの設定に従って並べ替える機能
  ビデオ再生中の ◀◀ または ▶▶ 機能
- DivX® DRM はサポートされません。
- Windows ファイアウォール プログラムが AllShare PC ソフトウェアを許可するように設定します。
- ネットワーク接続を介して **AllShare Play** モードを使用する場合、利用できる機能はサーバーに応じて以下のように変化することがあります。
  - 利用できる並べ替えモードは変化することがあります。
  - **シーンの検索** 機能がサポートされないことがあります。
  - 複数ユーザーのレジューム機能が利用できないことがあります。
    (この機能は、最後に使用したユーザーが再生を停止した時点のみを記憶します。)
  - コンテンツ情報によっては検索機能が利用できないことがあります。
- ネットワーク接続を通じてビデオ コンテンツを再生中にファイルのカクつきが生じる場合があります。

AllShare Play 機能の使用

製品と携帯電話や PC などの入力信号デバイスを同じネットワークに接続すると、デバイスに保存されたビデオ、写真、音楽などのメディア コンテンツを再生できます。

詳細については、http://www.samsung.com にアクセスするか、または Samsung Electronics カスタマー センターまでお問い合わせください。

モバイル デバイスに追加のソフトウェアをインストールしなければならない場合があります。

詳細については、モバイル デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

— AllShare Play を使用して Samsung ディスプレイ製品をネットワークに接続すると、Samsung が提供する以下の特殊機能を使用できます。

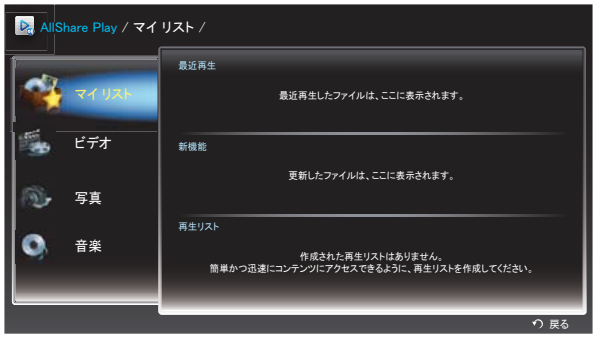
- 多様なビデオ フォーマットの再生 (DivX、MP4、3GPP、AVI、ASF、MKV など)
- ビデオ縮小表示機能
- ブックマーク機能 (前回中断個所からのビデオ再生の再開)
- 自動チャプタリング (シーンの検索)
- デジタル コンテンツ管理
- 様々な字幕フォーマットに対応 (SRT、SMI、SUB、TXT、TTXT)
- ファイル名による検索
- その他多数

— Samsung Electronics が提供していないサーバーに接続すると、ビデオ ファイルの再生時に互換性の問題が生じることがあります。

— AllShare Play を使用するには、http:// www.samsung.com にアクセスし、AllShare ソフトウェアをダウンロードしてください。

基本的な AllShare Play 機能の使用

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → ENTER



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ファイル リストの並べ替え

ファイルを並べ替えるには、リモコンの D を押して並べ替え条件を指定します。

並び替え項目	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
フォルダ ビュー	フォルダ全体を表示します。フォルダを選択するとファイル名とサムネイルが表示されます。	✓	✓	✓
タイトル	記号、数字、アルファベット、特殊文字の順番でファイル名を並び替え、表示します。	✓	✓	✓
日付の遅い順	日付の新しい順番にファイルを並び替えて表示します。	✓	✓	
日付の早い順	日付の古い順番にファイルを並び替えて表示します。	✓	✓	
月ごと	月ごとに写真ファイルを並び替えて表示します。		✓	
アーティスト	アーティストごとに音楽ファイルをアルファベット順に並び替えます。			✓
アルバム	アルバムごとに音楽ファイルをアルファベット順に並び替えます。			✓
ジャンル	ジャンルごとに音楽ファイルを並び替えます。			✓

選択したファイルの再生

1 **ビデオ**、**写真**、または **音楽** ファイルのリストからファイルを選択します。

2 リモコンの TOOLS を押して、**選択を再生** を選択します。

— カーソルを使用してフォルダを強調表示した場合、オプションは表示されません。

3 ファイルを選択して **再生** を押します。

— 選択したファイルの ✓ が表示されます。
— 現在のフォルダのすべてのファイルを選択するには、**すべて選択** を押します。
— ファイルの選択をすべて解除するには、**すべて選択解除** を押します。

ファイルのコピー

1 **ビデオ**、**写真**、または **音楽** ファイルのリストからファイルを選択します。

2 記憶装置を選択します。

- **内部メモリ**: **内部メモリ** から **USB デバイス** メモリ デバイスにファイルをコピーします。
- **USB デバイス**: **USB デバイス** メモリ デバイスから **内部メモリ** にファイルをコピーします。

3 リモコンの TOOLS を押して、**送信** を選択します。

カーソルを使用してフォルダを強調表示した場合、オプションは表示されません。

4 ファイルを選択して **送信** を押します。

— 選択したファイルの ✓ が表示されます。
— 現在のフォルダのすべてのファイルを選択するには、**すべて選択** を押します。
— ファイルの選択をすべて解除するには、**すべて選択解除** を押します。

再生リスト の作成

1 **ビデオ**、**写真**、または **音楽** ファイルのリストからファイルを選択します。

2 リモコンの TOOLS を押して、**再生リストに追加** を選択します。

— カーソルを使用してフォルダを強調表示した場合、オプションは表示されません。

3 ファイルを選択して **追加** を押します。

再生リストに追加 ページ が表示されます。

— 選択したファイルの ✓ が表示されます。
— 現在のフォルダのすべてのファイルを選択するには、**すべて選択** を押します。
— ファイルの選択をすべて解除するには、**すべて選択解除** を押します。

4 **新規作成** を選択します。**新しい再生リストを作成します。** ページ が表示されます。

5 リモコンを使用してプレイリスト名を入力して **完了** を選択します。

6 プレイリストが作成されます。

作成したプレイリストを再生するには、**再生** を選択します。
ファイルのリストに戻るには、**OK** を選択します。

7 作成した **再生リスト** が **マイ リスト** に表示されます。

マイ リスト

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → **マイ リスト** → ENTER

目的のコンテンツへのアクセスがより素早く便利になります。

ファイルを再生するには、ファイルまたは **再生リスト** を選択して を押します。

- **最近再生**: 最近再生したビデオ、写真または音楽ファイルを表示します。
  このモードは、以前に再生したファイルを再び再生したい場合に適しています。
- **新機能**: PC または USB デバイスにアップロードされた新しいビデオ、写真または音楽ファイルを表示します。
  このモードは、最近アップロードした新しいファイルを再生する場合に適しています。
- **再生リスト**: PC または USB デバイスに保存されている **再生リスト** ファイルを表示します。**再生リスト** を再生するには、希望の **再生リスト** を選択します。

マイ リスト オプション

オプション名	ご使用の際の注意事項	最近再生	新機能	再生リスト
再生	選択したファイルまたは **再生リスト** を再生します。	✓	✓	✓
削除	選択したファイルを削除します。	✓		
削除	選択した **再生リスト** を削除します。			✓
再生リストの編集	選択した **再生リスト** を編集します。			✓
情報	選択したファイルまたは **再生リスト** に関する情報を表示します。	✓	✓	✓

ビデオ

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → **ビデオ** → ENTER

動画を再生する

1 内部メモリまたは USB デバイスを選択します。ファイルのリストからファイルを選択します。

2 ボタンまたは (再生) ボタンを押します。

- ファイル名が再生時間とともに上に表示されます。
- 動画の再生時間の情報がない場合、再生時間とプログレス バーが表示されません。
- 動画再生中に、◀ や ▶ ボタンを使用して検索することができます。
- 再生中に、リモコンの下部にある (巻き戻し)、(早送り)、(一時停止)、(停止)、および (再生) ボタンを使用することができます。
  (3 / 2 / 1 / 1 / 2 / 3)
- 動画を終了するには、RETURN ボタンを押してください。

連続再生機能を使う(再生再開)

動画を再生中に閉じると、次回再生時には停止した時点から動画を再生することができます。

1 ファイルのリストからファイルを選択します。

2 (再生) または ボタンを押します。

3 停止した箇所から動画が再開されます。

― 再開は、停止した再開対象の動画がある場合にのみご使用できます。

― 一時停止するには、 ボタンを押します。

– 再開機能は複数ユーザーでは使用できません。(最後に使用したユーザーが再生を停止した時点のみを記憶しています。)

写真

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → **写真** → ENTER

写真 (または スライドショー) を見る

1 内部メモリまたは USB デバイスを選択します。ファイルのリストからファイルを選択します。

2 ボタンを押します。

- 手動で 1 ファイルずつ見るには、左右の矢印ボタンを押してください。
- スライドショーを開始するには、選択したファイルが表示されたときに (再生) ボタンを押します。
- スライドショー再生中は、ファイル リスト内のすべてのファイルが選択したファイルから順番に表示されます。
  - 間違った BGM を選択した場合、完全に読み込まれるまで BGM を変更することはできません。
  - スライドショーの再生中に、TOOLS ボタンを押すと **写真リストに移動**、**スライド ショーの停止**、**スライド ショー速度**、**スライド ショー効果**、**BGM オン** / **BGM オフ**、**BGM 設定**、**映像モード**、**サウンド モード**、**ズーム**、**回転**、**情報** などの追加機能にアクセスできます。
  - スライドショーの再生中に、リモコンの下部にある (一時停止)、 (停止)、 (再生) などのボタンを使用できます。
  - (停止) または RETURN ボタンを押すと、スライドショーが停止して写真のメイン メニューが再表示されます。

音楽

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **AllShare Play** → **音楽** → ENTER

音楽 の再生

1 内部メモリまたは USB デバイスを選択します。ファイルのリストからファイルを選択します。

2 (再生) または ボタンを押します。

- 音楽再生中に (巻き戻し) および (早送り) ボタンを使用して検索することができます。

― MP3 ファイルを再生したときに音声に異常がある場合は、**サウンド** メニューの **イコライザ** で調整してください。
(過変調 MP3 ファイルの場合、音声再生異常が生じることがあります。)

ビデオ / 写真 / 音楽 再生オプション メニュー

- デバイス名を選択した状態で INFO ボタンを押すと、そのデバイスの情報が表示されます。
- ファイルを選択した状態で INFO ボタンを押すと、そのファイルの情報が表示されます。

ビデオまたは写真ファイルの再生中に TOOLS ボタンを押すと、オプション メニューが表示されます。

オプション名	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
表示	音楽ファイルを **フォルダ ビュー**、**タイトル**、**アーティスト**、**アルバム** または **ジャンル** ごとにグループ分けします。			✓
選択を再生	音楽ファイルのリストからファイルを選択して再生します。			✓
ビデオ リストに移動	ビデオ ファイルのリストに戻ります。	✓		
写真リストに移動	写真ファイルのリストに戻ります。		✓	
再生リストに移動	**マイ リスト** に移動します。			✓
最初から再生	現在再生中のビデオを最初からもう一度再生します。	✓		
シーンの検索	再生中に**シーンの検索** 機能を使うことにより、選択したシーンから動画を表示または開始できます。	✓		
タイトルで検索	別のタイトルに直接移動できます。	✓		
時刻で検索	◀ と ▶ ボタンを使って動画を 1 分間隔で検索できます。	✓		
繰り返しモード	動画およびミュージック ファイルを繰り返し再生します。	✓		
画像サイズ	画像サイズを好みに応じて調整できます。	✓		
映像モード	**映像モード** を変更できます。	✓	✓	
サウンド モード	**サウンド モード** を変更できます。	✓	✓	

オプション名	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
オーディオ言語	サポートされている言語のひとつを選んでビデオを視聴できます。 この機能は複数のオーディオ形式をサポートするストリーム形式ファイルの再生時のみ有効となります。	✓		
字幕	字幕を表示します。複数の言語による字幕が含まれている場合には、言語の選択ができます。	✓		
字幕設定	**字幕設定** を表示します。字幕に関するオプションを設定できます。	✓		
スライド ショーの開始 / **スライド ショーの停止**	スライド ショーを開始または停止します。 または、リモコンの ▶ または ⏸ ボタンを使用することもできます。		✓	
スライド ショー速度	スライド ショーの表示速度を選択できます。または、リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを使用することもできます。		✓	
スライド ショー効果	様々なスライド ショー効果を選択できます。		✓	
BGM オン / **BGM オフ**	BGM を開始または停止します。		✓	
BGM 設定	写真ファイルまたはスライド ショーを表示する際の BGM を選択および設定できます。		✓	
ズーム	全画面表示モードで映像を拡大します。		✓	
回転	映像を回転させます。		✓	
情報	ファイル情報を表示します。	✓	✓	✓

サポートされるサブタイトルおよび AllShare Play ファイルの形式

字幕

外部	内部
• MPEG-4 timed text (.ttxt) • SAMI (.smi) • SubRip (.srt) • SubViewer (.sub) • Micro DVD (.sub または .txt) • SubStation Alpha (.ssa) • Advanced SubStation Alpha (.ass) • Powerdivx (.psb)	• Xsub コンテナ:AVI • SubStation Alpha コンテナ:MKV • Advanced SubStation Alpha コンテナ:MKV • SubRip コンテナ:MKV • MPEG-4 timed text コンテナ:MP4

サポートされる画像解像度

ファイル拡張子	タイプ	解像度
.jpg、.jpeg	JPEG	15360 X 8640
*.png	PNG	1920 X 1080
*.bmp	BMP	1920 X 1080
*.mpo	MPO	15360 X 8640

サポートされる音楽ファイル形式

ファイル拡張子	タイプ	コーデック	コメント
*.mp3	MPEG	MPEG1 Audio Layer 3	
.m4a、.mpa、*.aac、*.3ga	MPEG4	AAC	
*.flac	FLAC	FLAC	シーク (ジャンプ) 機能はサポートされません。 最大 2 チャンネルをサポート

対応している動画形式

- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- 上表に記載の対応 fps を超える標準ビット レート / フレーム レートで再生されるコンテンツの場合、音声または動画の再生ができないことがあります。
- インデックス テーブルにエラーがある場合、シーク (ジャンプ) 機能が使用できません。
- ネットワーク接続を通じて動画を再生中にファイルのカクつきが生じる場合があります。
- 動画のビット レートが 10Mbps を超える場合、メニューが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。

ビデオ デコーダ

H.264、レベル 4.1 まで対応

H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD は非対応。

MVC、VP8、VP6 を除くすべてのビデオ コーデック:

- 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム
- 1280 x 720 以上:最大 30 フレーム

GMC 2 以上には非対応。

BD MVC Spec のみサポートします。

オーディオ デコーダ

最大 5.1 チャンネルの WMA 10 Pro に対応しています。

WMA Lossless の音声には非対応。

QCELP、AMR NB/WB はサポートされません。

Webm コンテナにのみ Vorbis がある場合、最大 2 チャンネルをサポートします。

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	解像度	フレーム レート (fps)	ビット レート (Mbps)	オーディオ コーデック
*.avi *.mkv *.asf *.wmv *.mp4 *.mov *.3gp *.vro *.mpg *.mpeg *.ts *.tp *.trp *.mov *.flv *.vob *.svi *.m2ts *.mts *.divx	AVI MKV ASF MP4 3GP VRO VOB PS TS	DIVX 3.11 / 4.x / 5.x / 6.x	1920 X 1080	6~30	30	AC3 LPCM ADMPCM (IMA、MS) AAC HE-AAC WMA DD+ MPEG(MP3) DTS Core G.711(ALaw、μ-Law)
		MPEG4 SP / ASP				
		H.264 BP / MP / HP				
		Motion JPEG				
		Window Media Video v9				
		MPEG2				
		MPEG1				
		VP6	640 X 480		4	
		MVC	1920 X 1080	24 / 25 / 30	40	
*.webm	WebM	VP8		6 ~ 30	8	Vorbis

第 11 章
MagicInfo Lite

– **MagicInfo Lite** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Lite** を選択します。

MagicInfo Lite プレーヤー と互換性のあるファイル形式

MagicInfo Lite プレーヤー をご使用になる前にお読みください。

- ファイル システムは、FAT16、FAT32 および NTFS をサポートしています。
- 垂直および水平解像度が最大解像度を超えているファイルは再生できません。
  ファイルの垂直および水平解像度を確認してください。
- サポートされているビデオおよびオーディオ コーデックの種類とバージョンを確認してください。
- サポートされているファイルのバージョンを確認してください。
  - Flash は、バージョン 10.1 以降をサポートしています
  - PowerPoint は、バージョン 97 から 2007 をサポートしています
- 最後に接続された USB デバイスのみが認識されます。

コンテンツ

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
*.avi *.mkv *.asf *.wmv *.mp4 *.mov *.3gp *.vro *.mpg *.mpeg *.ts *.tp *.trp *.flv *.vob *.svi *.m2ts *.mts *.divx	AVI MKV ASF MP4 3GP VRO VOB PS TS	DIVX 3.11 / 4.x / 5.x / 6.x	1920 X 1080	6~30	30	AC3 LPCM AAC HE-AAC WMA DD+ MPEG(MP3) DTS Core G.711(ALaw、μ-Law)
		MPEG4 SP / ASP				
		H.264 BP / MP / HP				
		Motion JPEG				
		Window Media Video v9				
		MPEG2				
		MPEG1				
		VP6	640 X 480		4	

ビデオ	オーディオ	画像
• 3D ビデオはサポートされていません。 • 解像度が上の表の解像度を超えているコンテンツはサポートされていません。 • ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているビデオ コンテンツは再生中に映像が乱れることがあります。 • コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。 • USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。 • H.264、レベル 4.1 まで対応 • H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD は非対応。 • MVC、VP8、VP6 を除くすべてのビデオ コーデック: – 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム – 1280 x 720 以上:最大 30 フレーム • GMC 2 以上はサポートされていません。 • BD MVC Spec のみサポートします。	• ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているオーディオ コンテンツは再生中に音声が乱れることがあります。 • コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。 • USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。 • 最大 5.1 チャンネルの WMA 10 Pro に対応しています。WMA Lossless の音声には非対応。 • QCELP、AMR NB/WB はサポートされません。	• 互換性がある画像ファイル形式:Jpeg • サポートされている最大解像度:15,360 X 8,640 • サポートされる画像効果:13 のエフェクト (**フェード 1**, **フェード 2**, **ブラインド**, **チェッカー**, **ストリップ**, **リニア**, **ワイプ**, **リップル ウォッシュ**, **ドロップ ウェーブ**, **ピン ホイール**, **ランダム グロース**, **4 スピン**)

Flash

- Flash 10.1 をサポートしています。
- Flash アニメーション
  - 互換性があるファイル形式:SWF
- 推奨される解像度:960 X 540
  - 注意

    Windows オペレーティング システム上の Flash Player に相当するパフォーマンスを保証するものではありません

    コンテンツ作成時に最適化が必要となります
- Flash ビデオ
  - 互換性があるファイル形式:FLV
  - ビデオ

    コーデック:H.264 BP

    解像度:1920 X 1080
  - オーディオ

    コーデック:H.264 BP
  - 注意

    F4V のファイル形式はサポートされていません

    Screen Video はサポートされていません

Power Point

- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:ppt, pptx
  - バージョン:Office 97 ~ Office 2007
- サポートされていない機能
  - アニメーション効果
  - 3D オブジェクト (2D で表示されます)
  - ヘッダーおよびフッター (一部のサブ項目はサポートされていません)
  - Word Art
  - アライメント

    グループ アライメント エラーが発生することがあります
  - Office 2007

    SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。
  - オブジェクト挿入
  - 暗号化された文書ファイルの展開
  - 縦書き

    一部のサブ項目はサポートされません。
  - スライドのノートおよびハンドアウト

PDF

- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:pdf
- サポートされていない機能
  - 1 ピクセル未満のコンテンツは、パフォーマンス低下問題の原因となるためサポートされません。
  - イメージのマスクおよびタイル表示を含むコンテンツはサポートされません。
  - テキストの回転を含むコンテンツはサポートされません。
  - 3D Shadow Effect はサポートされません。

WORD

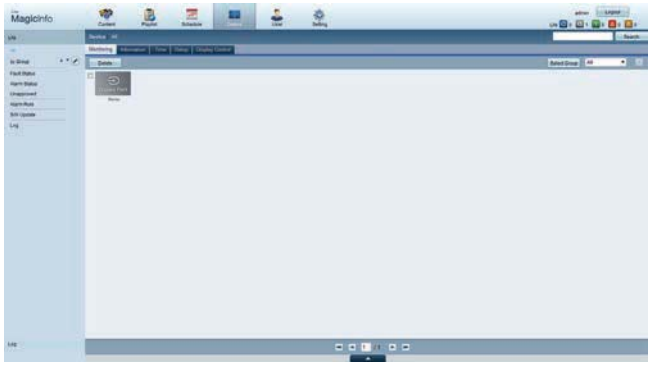
- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:.doc, .docx
  - バージョン:Office 97 ~ Office 2007
- サポートされていない機能
  - ページ の背景効果
  - 一部の段落スタイル
  - Word Art
  - アライメント
    グループ アライメント エラーが発生することがあります
  - 3D オブジェクト (2D で表示されます)
  - Office 2007
    SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。
  - チャート
  - 半角文字
  - 文字間隔
  - 縦書き
    一部のサブ項目はサポートされません。
  - スライドのノートおよびハンドアウト

接続されている装置をサーバーから承認

1 デバイスに割り当てているサーバーにアクセスします。

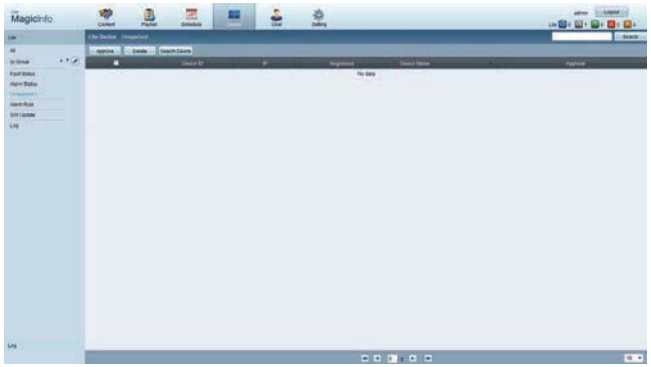
2 ID とパスワードを入力してログインします。

3 トップ メニュー バーから **Device** を選択します。



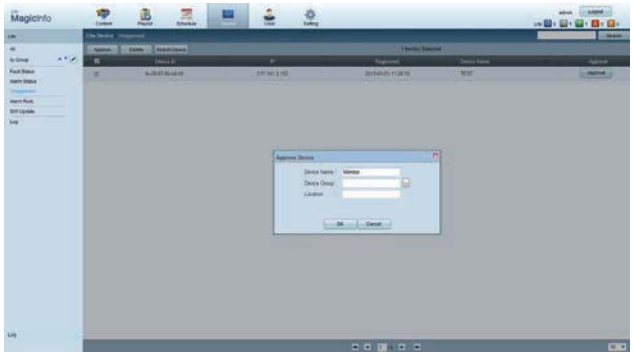
4 左にあるメニューから **Lite** を選択します。

5 **Lite** のサブメニューから **Unapproved** を選択します。



6 未承認の Lite デバイスのリストからお持ちの装置の **Approve** ボタンを選択します。

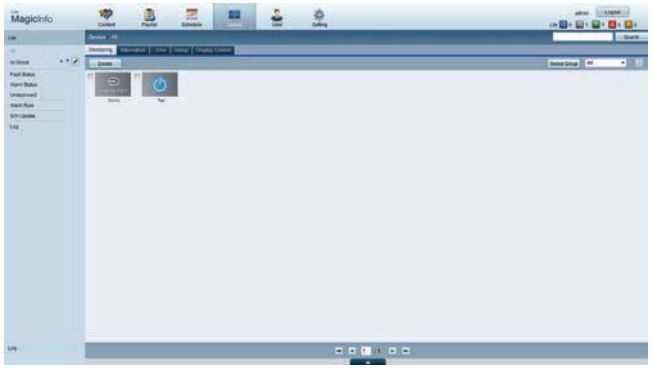
7 デバイスの承認に必要となる情報を入力します。



- Device Name: デバイス名を入力します。
- Device Group: … を選択してグループを指定します。
- Location: デバイスの現在の場所を入力します。

― ネットワーク スケジュールの実行中に INFO ボタンを押すと、スケジュールの詳細が表示されます。詳細内のデバイス ID を見て正しいデバイスを選択しているかを確認します。

8 All メニューを選択して、デバイスが登録済みであることを確認します。



9 デバイスがサーバーによって承認されると、選択したグループの登録されたスケジュールがデバイスにダウンロードされます。ダウンロード後にスケジュールが実行されます。

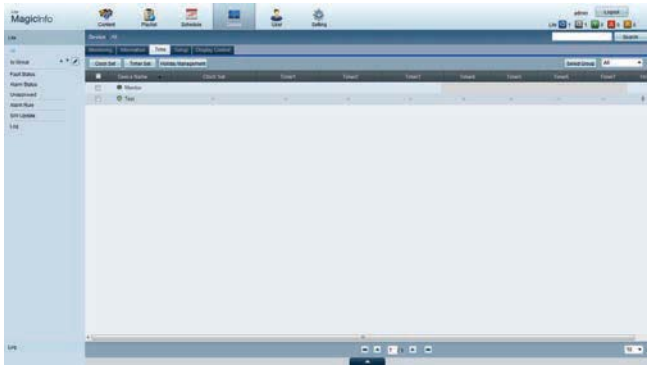
― スケジュールの設定方法の詳細については、<MagicInfo Lite Server ユーザー マニュアル>を参照してください。

― サーバーによって承認されたデバイスのリストからいずれかのデバイスが削除された場合、そのデバイスは再起動され、設定がリセットされます。

現在時刻の設定

デバイスに設定されている時刻がサーバーの現在時刻と異なっていると、スケジュールは実行されません。

1 Device → Time タブに移動します。



2 お持ちのデバイスを選択します。

3 Clock Set を選択して、時刻をサーバーと同期させます。

- サーバーに初めて接続する場合、製品内の時間はサーバーが設置されている地域の GMT 時間を使用して設定されます。
- ステップ 3 に示すように、製品内の時間はサーバーから変更できます。
- 製品の電源をオフにして再びオンにすると、製品の時間設定はサーバー側で設定された最後の時間に復元されます。

― 時刻の管理（スケジュール、休日の管理など）の詳細については、<MagicInfo Lite Server ユーザー マニュアル>を参照してください。

MagicInfo Lite

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Lite** → ENTER

— **MagicInfo Lite** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Lite** を選択します。

— リモコンの MagicInfo Lite/S ボタンを押します。

MagicInfo Lite プレーヤー

ネットワーク スケジュール

サーバーと接続しているか（承認されているか）は、**MagicInfo Lite** メニュー画面で確認できます。**ネットワーク スケジュール** の実行中にサーバーとの接続を確認するには、リモコンの INFO を押します。

1 **MagicInfo Lite** メニューで **MagicInfo Lite プレーヤー** を選択します。

2 **MagicInfo Lite プレーヤー** メニューで **ネットワーク スケジュール** を選択します。

ローカル スケジュール

ローカル スケジュール マネージャ に移動します → スケジュールを作成するために **作成** をクリックします → 実行するスケジュールを選択します

1 **MagicInfo Lite プレーヤー** メニュー画面で **ローカル スケジュール** を選択します。

ローカル スケジュール マネージャ で作成したスケジュールを実行します。

― このメニューは、**ローカル スケジュール マネージャ** でスケジュールを実行したことがない場合には無効になります。

内部 AutoPlay

― このオプションは、**内部メモリ** 内にコンテンツ（音楽ファイルを除く）が保存されている場合にのみ使用できます。

1 **MagicInfo Lite プレーヤー** メニュー画面で **内部 AutoPlay** を選択します。

- **内部メモリ** にコピーされたコンテンツをアルファベット順に再生します。

USB AutoPlay

― このオプションは、USB ストレージの "MagicInfoSlide" フォルダ内にコンテンツ (音楽ファイルを除く) が保存されている場合にのみ使用できます。

― USB デバイスを挿入します。"MagicInfoSlide" というフォルダ名で USB デバイスにフォルダを作成し、コンテンツをフォルダ内に入れてください。

1 **MagicInfo Lite プレーヤー** メニュー画面で **USB AutoPlay** を選択します。

- USB デバイス上の "MagicInfoSlide" フォルダに入っているコンテンツがアルファベット順に再生されます。
- **USB AutoPlay** は、**ネットワーク スケジュール**, **ローカル スケジュール** または **内部 AutoPlay** の実行中に USB メモリが接続されると自動的に実行されます。

ローカル スケジュール マネージャ

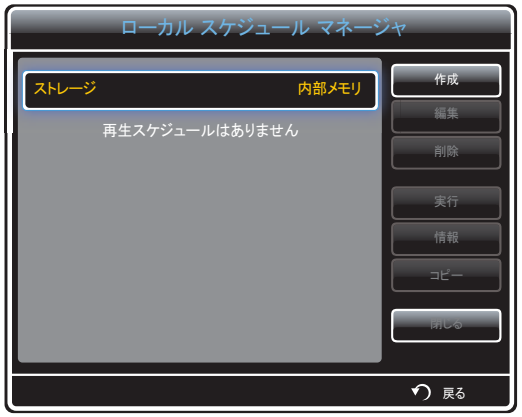
ローカル スケジュール による再生の設定を行います。

あらかじめ指定された再生順で、内部メモリまたは USB メモリのコンテンツを選択して再生することも可能です。

ローカル スケジュール の登録

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 **ローカル スケジュール マネージャ** メニューで **作成** を選択します。



3 **時刻** を選択して、コンテンツを再生する時刻を設定します。

- 最大 24 のスケジュールを作成できます。
- 2 つ以上のスケジュールを作成する場合、各スケジュールの開始時刻が同じにならないようにする必要があります。
  (たとえば次のような設定は誤りとなります:12:00 am – 12:00 am / 12:00 am – 11:00 pm)
- 以下の例のように、複数の **ローカル スケジュール** を単一の時間スロットに割り当てた場合、スケジュール B がスケジュール A より先に実行されます。
  (例: A:12:00 am – 12:00 am / B:01:00 pm – 02:00 pm)

4 **Content** を選択して、再生するコンテンツを指定します。

– 最大 99 のコンテンツ ファイルを選択できます。

5 **継続時間** を選択します。

コンテンツ ファイル再生の順序と継続時間を指定します。

- 再生順序の変更
  コンテンツファイルを選択して、**上** または **下** ボタンで順番を変更します。
- **継続時間**
  コンテンツ再生の継続時間を設定します。
  – **継続時間** をビデオに対して指定することはできません。
  – **継続時間** の最小時間は 5 秒です。

保存 を押して設定を保存します。

6 **保存** を選択します。コンテンツを保存するメモリ領域を選択します。

7 スケジュールが **ローカル スケジュール マネージャ** に追加されているか確認してください。

ローカル スケジュール の変更

― **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 変更するローカル スケジュールを選択します。

3 **編集** を選択します。

4 ローカル スケジュールの詳細を変更します。次に、**保存** を選択します。

ローカル スケジュール の削除

— **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 削除するローカル スケジュールを選択します。

3 次に、**削除** を選択します。

ローカル スケジュール の実行

― **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 実行するローカル スケジュールを選択します。次に、**実行** を選択します。

ローカル スケジュール の停止

― この機能はスケジュールの実行中のみ有効となります。
停止 を選択すると、実行モードが **ローカル スケジュール** から **ネットワーク スケジュール** に変わります。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 **停止** を選択します。

ローカル スケジュール の詳細を表示する

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 詳細を表示するローカル スケジュールを選択します。

3 スケジュールの詳細が表示されます。

ローカル スケジュール をコピーする

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 コピーしたいローカル スケジュール ファイルが保存されている記憶装置を選択します。

- **内部メモリ**: **内部メモリ** から **USB** メモリ デバイスに local schedule をコピーします。
- **USB**: USB メモリ デバイスから **内部メモリ** に local schedule をコピーします。

3 local schedule を選択して **コピー** を押します。

4 ファイルを **内部メモリ** または **USB** メモリ デバイスにコピーするか確認するウィンドウが表示されます。**はい** を選択してファイルをコピーします。

コンテンツ マネージャ

コンテンツのコピー

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **コンテンツ マネージャ** を選択します。

2 コピーするコンテンツを選択します。

- **内部メモリ** のコンテンツを選択した場合:**内部メモリ** にあるコンテンツを **USB** メモリにコピーできます。
- **USB** のコンテンツを選択した場合:**USB** にあるコンテンツを **内部メモリ** にコピーできます。

  ― **内部メモリ** と **USB** メモリにあるコンテンツを同時に選択すると、コピーは無効になります。

3 次に、**コピー** を選択します。

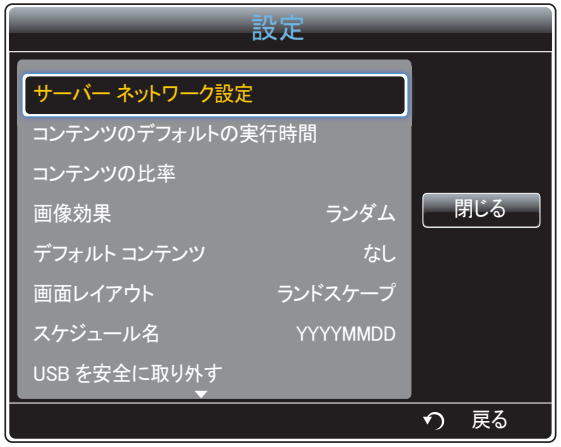
コンテンツの削除

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面で **コンテンツ マネージャ** を選択します。

2 削除するコンテンツを選択します。次に、**削除** を選択します。

- **内部メモリ** と **USB** メモリにあるコンテンツを同時に削除できます。

設定



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

サーバー ネットワーク設定

MagicInfo Lite を実行するには、ネットワークに接続する必要があります。

サーバー

MagicInfo Lite サーバー設定を入力します。

(例:http://192.168.0.10:7001/MagicInfo/)

- **SSL** オプションを有効にすると、サーバーが https を使用するように設定され、データ転送が暗号化されます。

— サーバー IP アドレスとポート番号を入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。)

FTP モード

FTP 動作モードを指定します。

- **アクティブ** / **パッシブ**

デフォルトのストレージ

サーバーからダウンロードしたコンテンツを保存する場所を指定します。

- **内部メモリ**: コンテンツを製品の内部メモリに保存します。
- **USB**: コンテンツを USB メモリに保存します。

— USB メモリを接続せずに **ネットワーク設定** を実行すると、デフォルト コンテンツが実行されます。

コンテンツのデフォルトの実行時間

コンテンツ再生の継続時間を指定します。

- **イメージ ビューア時間**, **PPT ビューア時間**, **PDF ビューア時間**, **Flash ビューア時間**

― 継続時間の最小時間は 5 秒です。

コンテンツの比率

コンテンツ再生時の画面アスペクト比をタイプごとに指定します。

- **PPT の比率**, **PDF の比率**, **ビデオの比率**
  - **オリジナル**: コンテンツを元のサイズで表示します。
  - **全画面**: コンテンツを全画面で表示します。

画像効果

画像遷移効果を設定します。

- **フェード 1**, **フェード 2**, **ブラインド**, **チェッカー**, **リニア**, **ストリップ**, **ワイプ**, **リップル ウォッシュ**, **ドロップ ウェーブ**, **ピン ホイール**, **ランダム グロース**, **4 スピン**, **ランダム**, **なし**

デフォルト コンテンツ

MagicInfo Lite 起動時にデフォルトで再生するコンテンツを指定します。

- **デフォルト コンテンツ** では、最大 20MB のコンテンツがサポートされています。

画面レイアウト

画面の向きをランドスケープまたはポートレイト ビューに変更します。

- **ランドスケープ** / **ポートレイト**

スケジュール名

ローカル スケジュールを作成する際のスケジュール タイトルの形式を選択します。

- **YYYYMMDD** / **YYYYDDMM** / **DDMMYYYY**

USB を安全に取り外す

USB メモリを安全に取り外します

すべてのコンテンツを削除

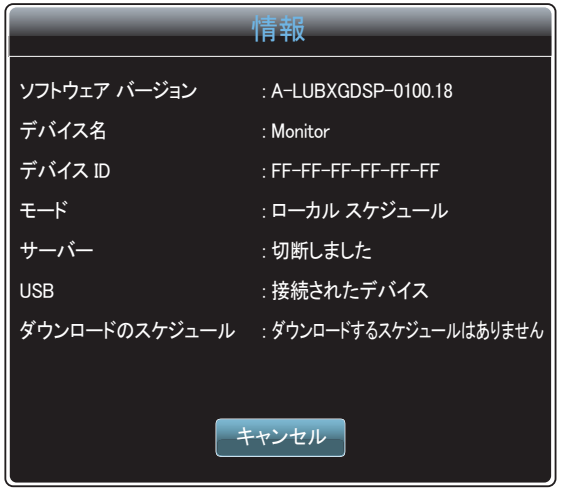
内部メモリ のすべてのコンテンツ ファイルを削除します。

設定のリセット

設定 のすべての値を製品購入時のデフォルト値に戻します。

コンテンツ実行時

実行中のコンテンツの詳細を表示

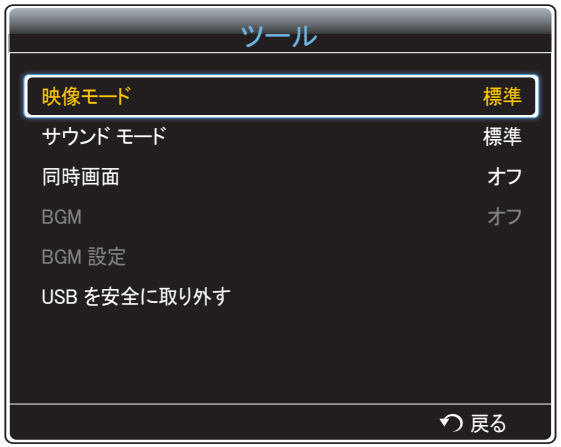


– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

リモコンの INFO ボタンを押します。

- **ソフトウェア バージョン**: デバイスのソフトウェア バージョンを表示します
- **デバイス名**: サーバーに認識されているデバイスの名前を表示します
- **デバイス ID**: デバイスの固有識別番号を表示します
- **モード**: MagicInfo Lite プレーヤー の現在の動作モードを表示します (**ネットワーク スケジュール**、**ローカル スケジュール**、**MagicInfo Lite プレーヤー** の **内部 AutoPlay** または **USB AutoPlay**)
- **サーバー**: サーバーの接続状態 (**接続されたデバイス**、**切断しました** または **承認されていません**) を表示します
- **USB**: USB デバイスの接続状態を表示します
- **ダウンロードのスケジュール**: network schedule のサーバーからのダウンロード進捗状況を表示します

実行中のコンテンツの設定を変更



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

リモコンの TOOLS ボタンを押します。

コンテンツの再生中にリモコンの TOOLS ボタンを押すことにより、**映像モード** または **サウンド モード** 設定を変更したり USB デバイスを安全に取り外す (**USB を安全に取り外す**) ことができます。

- **映像モード** (**動的** / **標準** / **ナチュラルモード** / **動画**)
  再生中のコンテンツの画面設定をカスタマイズします。
- **サウンド モード** (**標準** / **音楽** / **動画** / **音声を明瞭にする** / **アンプ**)
  再生中のコンテンツの音声設定をカスタマイズします。
- **同時画面** (**オフ** / **オン**)
  PIP 機能を有効または無効にします。
- **BGM** (**オフ** / **オン**)
  BGM 機能を有効または無効にします。
- **BGM 設定** (**シャッフル** / **再生** / **キャンセル** / **選択解除**)
  内部メモリ に保存されている音楽ファイルを **BGM** として設定します。

  — **BGM 設定** を有効にするには、**内部メモリ** に MP3 ファイルが 少なくとも 1 つは保存されている必要があります。
- **USB を安全に取り外す**
  USB メモリを安全に取り外します

第 12 章
MagicInfo Premium S

– MagicInfo Premium S を起動するには、システム で プレーヤー モード に MagicInfo Premium S を選択します。

MagicInfo Premium S を使用するにはライセンスを購入する必要があります。
このソフトウェアは、Samsung のホームページ（http://www.samsunglfd.com）からダウンロードできます。
ライセンスのご購入については、カスタマー サービス センターまでお問い合わせください。

MagicInfo Premium S Player と互換性のあるファイル形式

MagicInfo Premium S Player をご使用になる前にお読みください。

- ファイル システムは、FAT16、FAT32 および NTFS をサポートしています。
- 垂直および水平解像度が最大解像度を超えているファイルは再生できません。
  ファイルの垂直および水平解像度を確認してください。
- サポートされているビデオおよびオーディオ コーデックの種類とバージョンを確認してください。
- サポートされているファイルのバージョンを確認してください。
  - Flash は、バージョン 10.1 以降をサポートしています
  - PowerPoint は、バージョン 97 から 2007 をサポートしています
- 最後に接続された USB デバイスのみが認識されます。

— サポートされているコーディックの詳細については、168 ページ を参照してください。

ビデオ

- 3D ビデオはサポートされていません。
- 解像度が上の表の解像度を超えているコンテンツはサポートされていません。
- ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているビデオ コンテンツは再生中に映像が乱れることがあります。
- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。
- H.264、レベル 4.1 まで対応
- H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD は非対応。
- MVC、VP8、VP6 を除くすべてのビデオ コーデック:
  - 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム
  - 1280 x 720 以上:最大 30 フレーム
- GMC 2 以上はサポートされていません。
- BD MVC Spec のみサポートします。

オーディオ

- ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているオーディオ コンテンツは再生中に音声が乱れることがあります。
- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。
- 最大 5.1 チャンネルの WMA 10 Pro に対応しています。WMA Lossless の音声には非対応。
- QCELP、AMR NB/WB はサポートされません。

画像

- 互換性がある画像ファイル形式:Jpeg
- サポートされている最大解像度:15,360 X 8,640
- サポートされる画像効果:8 のエフェクト (**フェード 1**, **フェード 2**, **ブラインド**, **チェッカー**, **ストリップ**, **リニア**, **ワイプ**, **リップル ウォッシュ**)

Flash

- Flash 10.1 をサポートしています。
- Flash アニメーション
  - 互換性があるファイル形式:SWF
- 推奨される解像度:960 X 540
  - 注意

    Windows オペレーティング システム上の Flash Player に相当するパフォーマンスを保証するものではありません

    コンテンツ作成時に最適化が必要となります
- Flash ビデオ
  - 互換性があるファイル形式:FLV
  - ビデオ

    コーデック:H.264 BP

    解像度:1920 X 1080
  - オーディオ

    コーデック:H.264 BP
  - 注意

    F4V のファイル形式はサポートされていません

    Screen Video はサポートされていません

Power Point

- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:ppt, pptx
  - バージョン:Office 97 ~ Office 2007
- サポートされていない機能
  - アニメーション効果
  - 3D オブジェクト (2D で表示されます)
  - ヘッダーおよびフッター (一部のサブ項目はサポートされていません)
  - Word Art
  - アライメント

    グループ アライメント エラーが発生することがあります
  - Office 2007

    SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。
  - オブジェクト挿入
  - 半角文字
  - 文字間隔
  - チャート
  - 縦書き

    一部のサブ項目はサポートされません。
  - スライドのノートおよびハンドアウト

PDF

- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:pdf
- サポートされていない機能
  - 1 ピクセル未満のコンテンツは、パフォーマンス低下問題の原因となるためサポートされません。
  - イメージのマスクおよびタイル表示を含むコンテンツはサポートされません。
  - テキストの回転を含むコンテンツはサポートされません。
  - 3D Shadow Effect はサポートされません。
  - 一部の文字はサポートされません

    (特殊文字は正しく表示されないことがあります)

WORD	テンプレート ファイル	LFD
• 互換性がある文書ファイル形式 – 拡張子:.doc, .docx – バージョン:Office 97 ~ Office 2007 • サポートされていない機能 – ページ の背景効果 – 一部の段落スタイル – Word Art – アライメント グループ アライメント エラーが発生することがあります – 3D オブジェクト (2D で表示されます) – Office 2007 SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。 – チャート – 半角文字 – 文字間隔 – 縦書き 一部のサブ項目はサポートされません。 – スライドのノートおよびハンドアウト	• 作成/編集/再生は、**テンプレート マネージャ** でのみ行うことができます。	• **USB AutoPlay** および **ネットワーク スケジュール** でサポート (Premium S Player 用の PC オーサリング ツールで作成) • 互換性がある文書ファイル形式 – 拡張子:.lfd

ネットワーク スケジュール マルチフレーム

再生の制限事項

- 最大で 2 つのビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生できます。
- **同時画面** モードを有効にしている場合、複数のビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生することはできません。
- 複数の **Flash** ファイルを再生することはできません。
- **Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- LFD (.lfd) ファイルはサポートされていません。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位:**Flash** ファイル > ネットワーク BGM > ローカル BGM > ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル
  - ネットワーク BGM:この設定は、サーバー スケジュール作成時のステップ 1 で行うことができます。
  - ローカル BGM:BGM 設定は、**MagicInfo Premium S** 再生中に TOOLS ボタンを押すと表示されるツールを使って行います。
  - ユーザーが選択したメイン フレーム:メイン フレーム設定は、サーバー スケジュール作成時のステップ 2 で行うことができます。

テンプレート ファイルおよび LFD (.lfd) ファイル

制限事項

- PC オーサリング ツールで作成され、USB デバイスに発行されたシナリオはサポートされていません。
- PC オーサリング ツールで作成され、スケジュールの詳細に応じて USB デバイスに発行されたシナリオはサポートされていません。
- 再生は **USB AutoPlay** を使用した場合にのみ可能です。
  .lfd ファイルは、USB デバイスの MagicInfoSlide フォルダの下に置く必要があります。

再生の制限事項

- 最大で 2 つのビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生できます。
- **同時画面** モードを有効にしている場合、複数のビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生することはできません。
- 複数の **Flash** ファイルを再生することはできません。
- **Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- 複数のビデオ (**ビデオ**) をビデオ ウォールの 1 つのディスプレイに同時に表示することはできません。
- 複数の **同時画面** コンテンツを再生することはできません。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位:**Flash** ファイル > ネットワーク BGM > ローカル BGM > ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル

  ― ユーザーが選択したメイン フレーム:音声出力は、**テンプレート マネージャ** を使用したオーサリングのステップ 3 で選択できます。

その他

Flash のパフォーマンスは PC 上で低下する場合があります (H/W パフォーマンス制限)。

PIP 機能の制限事項

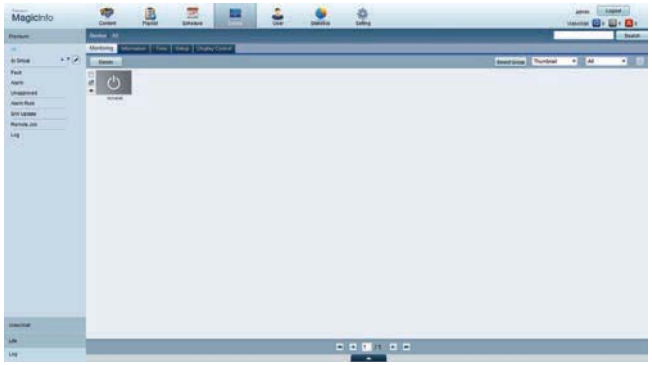
- **同時画面** 機能は、**Flash** の再生中には使用できません。
- コンテンツ レイアウトが **ポートレイト** の場合はサポートされていません。(ただし、**テンプレート マネージャ** で作成し .lfd ファイルに適用した **同時画面** はサポートされています。)
- **テンプレート マネージャ** で設定または .lfd ファイルに適用された **同時画面** と本製品に設定された PIP を同時に使用することはできません。
- **テンプレート マネージャ** で設定または .lfd ファイルに適用されている場合、**同時画面** は常に **ランドスケープ** モードになります。
  (コンテンツ レイアウトが **ポートレイト** の場合、ディスプレイは回転できません。)

接続されている装置をサーバーから承認

1 デバイスに割り当てているサーバーにアクセスします。

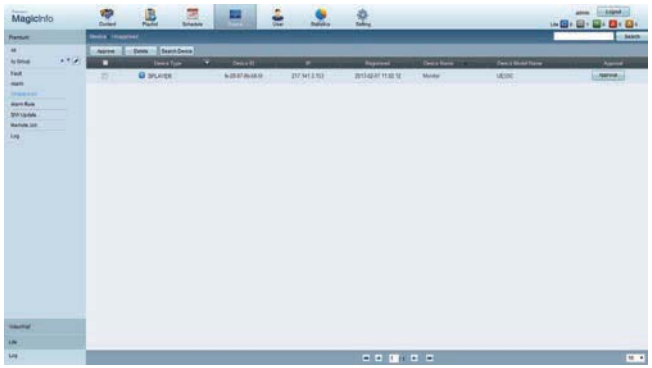
2 ID とパスワードを入力してログインします。

3 トップ メニュー バーから **Device** を選択します。



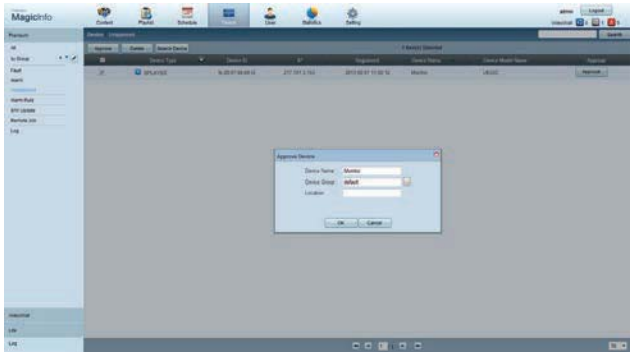
4 左にあるメニューから **Premium** を選択します。

5 **Premium** のサブメニューから **Unapproved** を選択します。



6 未承認の Premium デバイスのリストからお持ちの装置の **Approve** ボタンを選択します。

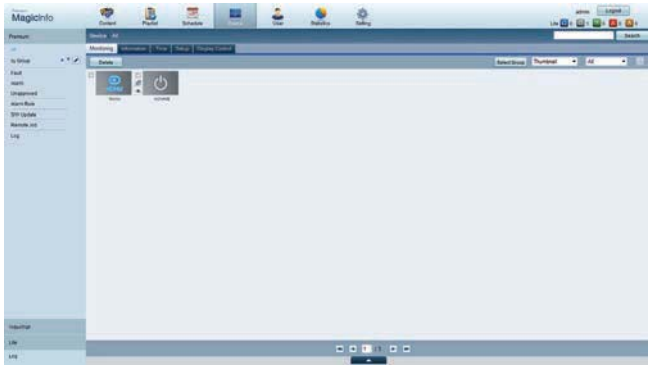
7 デバイスの承認に必要となる情報を入力します。



- Device Group: デバイス名を入力します。
- Device Group: … を選択してグループを指定します。
- Location: デバイスの現在の場所を入力します。

— ネットワーク スケジュールの実行中に INFO ボタンを押すと、スケジュールの詳細が表示されます。詳細内のデバイス ID を見て正しいデバイスを選択しているかを確認します。

8 All メニューを選択して、デバイスが登録済みであることを確認します。



9 デバイスがサーバーによって承認されると、選択したグループの登録されたスケジュールがデバイスにダウンロードされます。ダウンロード後にスケジュールが実行されます。

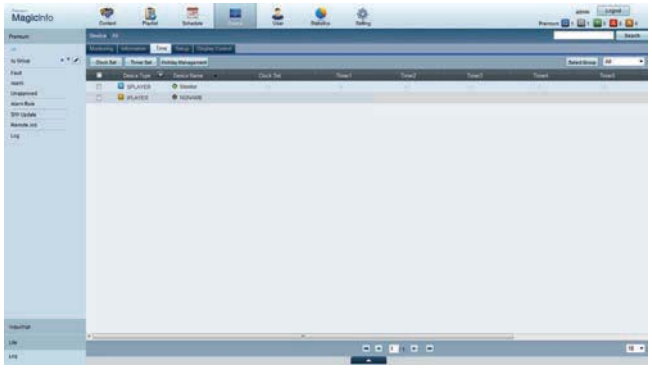
— スケジュールの設定方法の詳細については、<MagicInfo Premium Server ユーザー マニュアル> を参照してください。

— サーバーによって承認されたデバイスのリストからいずれかのデバイスが削除された場合、そのデバイスは再起動され、設定がリセットされます。

現在時刻の設定

デバイスに設定されている時刻がサーバーの現在時刻と異なっていると、スケジュールは実行されません。

1 Device → Time タブに移動します。



2 お持ちのデバイスを選択します。

3 Clock Set を選択して、時刻をサーバーと同期させます。

- サーバーに初めて接続する場合、製品内の時間はサーバーが設置されている地域の GMT 時間を使用して設定されます。
- ステップ 3 に示すように、製品内の時間はサーバーから変更できます。
- 製品の電源をオフにして再びオンにすると、製品の時間設定はサーバー側で設定された最後の時間に復元されます。

— 時刻の管理 (スケジュール、休日の管理など) の詳細については、<MagicInfo Premium Server ユーザー マニュアル> を参照してください。

MagicInfo Premium S

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Premium S** → ENTER

— **MagicInfo Premium S** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Premium S** を選択します。

— リモコンの MagicInfo Lite/S ボタンを押します。

MagicInfo Premium S Player

ネットワーク スケジュール

サーバーと接続しているか（承認されているか）は、**MagicInfo Premium S** メニュー画面で確認できます。**ネットワーク スケジュール** の実行中にサーバーとの接続を確認するには、リモコンの INFO を押します。

1 **MagicInfo Premium S** メニューで **MagicInfo Premium S Player** を選択します。

2 **MagicInfo Premium S Player** メニューで **ネットワーク スケジュール** を選択します。

ローカル スケジュール

ローカル スケジュール マネージャ に移動します → スケジュールを作成するために **作成** をクリックします → 実行するスケジュールを選択します

1 **MagicInfo Premium S Player** メニュー画面で **ローカル スケジュール** を選択します。

ローカル スケジュール マネージャ で作成したスケジュールを実行します。

― このメニューは、**ローカル スケジュール マネージャ** でスケジュールを実行したことがない場合には無効になります。

テンプレート プレーヤー

テンプレート マネージャ に移動します → テンプレートを作成するために **作成** をクリックします → 実行するテンプレートを選択します

1 **MagicInfo Premium S Player** メニュー画面で **テンプレート プレーヤー** を選択します。

テンプレート マネージャ で作成したテンプレートを実行します。

― このメニューは、**ローカル スケジュール マネージャ** でスケジュールを実行したことがない場合には無効になります。

内部 AutoPlay

― このオプションは、**内部メモリ** 内にコンテンツ（音楽ファイルを除く）が保存されている場合にのみ使用できます。

1 **MagicInfo Premium S Player** メニュー画面で **内部 AutoPlay** を選択します。

- **内部メモリ** にコピーされたコンテンツをアルファベット順に再生します。

USB AutoPlay

― このオプションは、USB ストレージの "MagicInfoSlide" フォルダ内にコンテンツ（音楽ファイルを除く）が保存されている場合にのみ使用できます。

― USB デバイスを挿入します。"MagicInfoSlide" というフォルダ名で USB デバイスにフォルダを作成し、コンテンツをフォルダ内に入れてください。

1 **MagicInfo Premium S Player** メニュー画面で **USB AutoPlay** を選択します。

- USB デバイス上の "MagicInfoSlide" フォルダに入っているコンテンツがアルファベット順に再生されます。
- **USB AutoPlay** は、**ネットワーク スケジュール**, **ローカル スケジュール** または **内部 AutoPlay** の実行中に USB メモリが接続されると自動的に実行されます。

ローカル スケジュール マネージャ

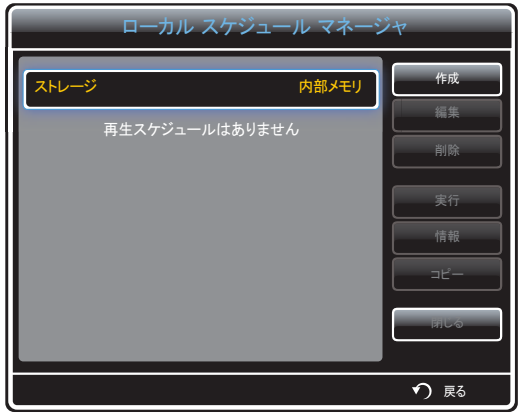
ローカル スケジュール による再生の設定を行います。

あらかじめ指定された再生順で、内部メモリまたは USB メモリのコンテンツを選択して再生することも可能です。

ローカル スケジュール の登録

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 **ローカル スケジュール マネージャ** メニューで **作成** を選択します。



3 **時刻** を選択して、コンテンツを再生する時刻を設定します。

- 最大 24 のスケジュールを作成できます。
- 2 つ以上のスケジュールを作成する場合、各スケジュールの開始時刻が同じにならないようにする必要があります。
  (たとえば次のような設定は誤りとなります:12:00 am – 12:00 am / 12:00 am – 11:00 pm)
- 以下の例のように、複数の **ローカル スケジュール** を単一の時間スロットに割り当てた場合、スケジュール B がスケジュール A より先に実行されます。
  (例: A:12:00 am – 12:00 am / B:01:00 pm – 02:00 pm)

4 **Content** を選択して、再生するコンテンツを指定します。

– 最大 99 のコンテンツ ファイルを選択できます。

5 **継続時間** を選択します。

コンテンツ ファイル再生の順序と継続時間を指定します。

- 再生順序の変更
  コンテンツファイルを選択して、**上** または **下** ボタンで順番を変更します。
- **継続時間**
  コンテンツ再生の継続時間を設定します。
  – **継続時間** をビデオに対して指定することはできません。
  – **継続時間** の最小時間は 5 秒です。

保存 を押して設定を保存します。

6 **保存** を選択します。コンテンツを保存するメモリ領域を選択します。

7 スケジュールが **ローカル スケジュール マネージャ** に追加されているか確認してください。

ローカル スケジュール の変更

― **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 変更するローカル スケジュールを選択します。

3 **編集** を選択します。

4 ローカル スケジュールの詳細を変更します。次に、**保存** を選択します。

ローカル スケジュール の削除

— **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 削除するローカル スケジュールを選択します。

3 次に、**削除** を選択します。

ローカル スケジュール の実行

― **ローカル スケジュール** がひとつ以上登録されていることを確認してください。

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 実行するローカル スケジュールを選択します。次に、**実行** を選択します。

ローカル スケジュール の停止

― この機能はスケジュールの実行中のみ有効となります。
停止 を選択すると、実行モードが **ローカル スケジュール** から **ネットワーク スケジュール** に変わります。

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 **停止** を選択します。

ローカル スケジュール の詳細を表示する

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 詳細を表示するローカル スケジュールを選択します。

3 スケジュールの詳細が表示されます。

ローカル スケジュール をコピーする

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **ローカル スケジュール マネージャ** を選択します。

2 コピーしたいローカル スケジュール ファイルが保存されている記憶装置を選択します。

- **内部メモリ**: **内部メモリ** から **USB** メモリ デバイスに local schedule をコピーします。
- **USB**: USB メモリ デバイスから **内部メモリ** に local schedule をコピーします。

3 local schedule を選択して **コピー** を押します。

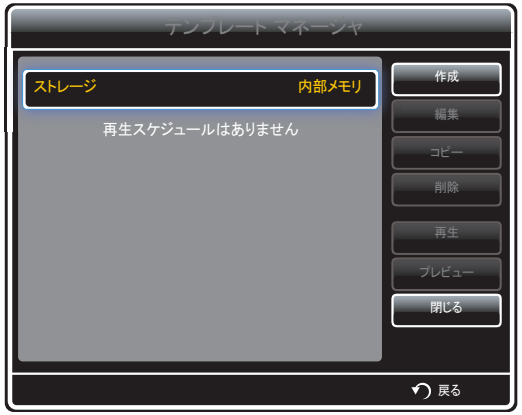
4 ファイルを **内部メモリ** または **USB** メモリ デバイスにコピーするか確認するウィンドウが表示されます。**はい** を選択してファイルをコピーします。

テンプレート マネージャ

テンプレートの登録

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **テンプレート マネージャ** を選択します。

2 **テンプレート マネージャ** メニューで **作成** を選択します。



3 **ランドスケープ** または **ポートレイト** モードでテンプレートを選択します。

― インターレース方式の信号の回転はサポートされていません。

4 必要に応じてテキスト、ビデオ、写真、または PDF ファイルを挿入してテンプレートを編成します。

– ファイルをロードまたはテキストを手動で入力するには、**入力テキスト** を選択します。

Content

- **種類**: テンプレートの編成に使用するファイル タイプを選択します。
  – **同時画面** / **ビデオ** / **画像** / **Flash** / **Office** / **PDF**
- **Content**: **内部メモリ** または **USB** デバイスに保存されているファイルを選択します。
- **サイズ**: テンプレート ページ にコンテンツ ファイルを表示したときの画面サイズを指定します。
  – **画面に合わせる** / **縦横比をロック**
- **入力ソース**: このオプションは、**種類** が **同時画面** に設定されているときに有効になります。
  – **コンポーネント** / **AV** / **PC** / **DVI** / **HDMI**

― テンプレートには、**ビデオ** ファイルを最大 2 点まで含めることができます。

― テンプレートには、**PIP** ファイルを 1 点のみ含めることができます。
（**PIP** ファイルが選択されている場合、**ビデオ** ファイルを 1 点のみ選択できます。）

― **Office** ファイルと **PDF** ファイルを一緒に同一テンプレートに含めることはできません。

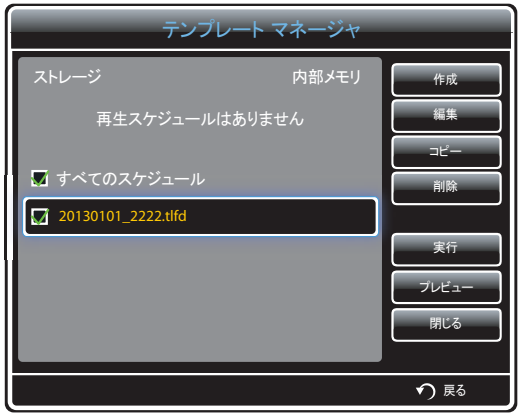
― テンプレートに **Flash** ファイルを複数入れることはできません。

5 音声または BGM を選択します。

- **ビデオ** ファイルを 2 つ割り当てている場合は、使用したい音声のファイルを選択します。
  - ビデオ ファイルの 1 つに **同時画面** コンテンツが含まれる場合、音声を **同時画面** コンテンツから選択できます。
- **Flash** ファイルが選択されている場合、別のファイルや BGM を使用して音声出力を有効にすることはできません。(ステップ 5 はスキップされます。)
- **BGM** が有効な場合、ファイル内の音声設定機能は使用できません。

6 **保存** を選択します。コンテンツを保存するメモリ領域を選択します。

7 テンプレートが **テンプレート マネージャ** に追加されているか確認してください。



コンテンツ マネージャ

コンテンツのコピー

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **コンテンツ マネージャ** を選択します。

2 コピーするコンテンツを選択します。

- **内部メモリ** のコンテンツを選択した場合:**内部メモリ** にあるコンテンツを **USB** メモリにコピーできます。
- **USB** のコンテンツを選択した場合:**USB** にあるコンテンツを **内部メモリ** にコピーできます。

  — **内部メモリ** と **USB** メモリにあるコンテンツを同時に選択すると、コピーは無効になります。

3 次に、**コピー** を選択します。

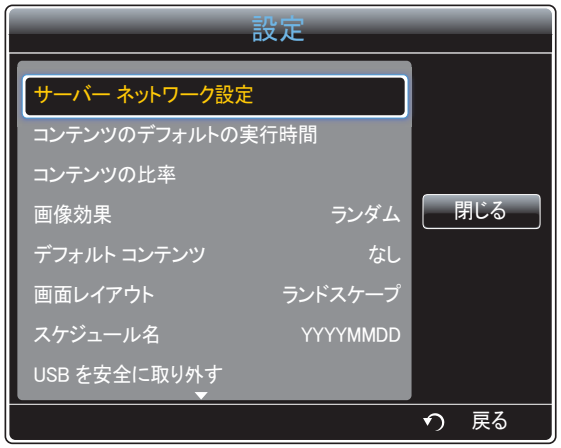
コンテンツの削除

1 **MagicInfo Premium S** メニュー画面で **コンテンツ マネージャ** を選択します。

2 削除するコンテンツを選択します。次に、**削除** を選択します。

- **内部メモリ** と **USB** メモリにあるコンテンツを同時に削除できます。

設定



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

サーバー ネットワーク設定

MagicInfo Premium S を実行するには、ネットワークに接続する必要があります。

サーバー

MagicInfo Premium S サーバー設定を入力します。

- **SSL** オプションを有効にすると、サーバーが https を使用するように設定され、データ転送が暗号化されます。

— サーバー IP アドレスとポート番号を入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。)

FTP モード

FTP 動作モードを指定します。

- **アクティブ** / **パッシブ**

デフォルトのストレージ

サーバーからダウンロードしたコンテンツを保存する場所を指定します。

- **内部メモリ**: コンテンツを製品の内部メモリに保存します。
- **USB**: コンテンツを USB メモリに保存します。

— USB メモリを接続せずに **ネットワーク スケジュール** を実行すると、デフォルト コンテンツが実行されます。

コンテンツのデフォルトの実行時間

コンテンツ再生の継続時間を指定します。

- **イメージ ビューア時間**, **PPT ビューア時間**, **PDF ビューア時間**, **Flash ビューア時間**

― 継続時間の最小時間は 5 秒です。

コンテンツの比率

コンテンツ再生時の画面アスペクト比をタイプごとに指定します。

- **PPT の比率**, **PDF の比率**, **ビデオの比率**
  - **オリジナル**: コンテンツを元のサイズで表示します。
  - **全画面**: コンテンツを全画面で表示します。

画像効果

画像遷移効果を設定します。

- **フェード 1**, **フェード 2**, **ブラインド**, **チェッカー**, **リニア**, **ストリップ**, **ワイプ**, **リップル ウォッシュ**, **ランダム**, **なし**

デフォルト コンテンツ

MagicInfo Premium S 起動時にデフォルトで再生するコンテンツを指定します。

- **デフォルト コンテンツ** では、最大 20MB のコンテンツがサポートされています。

画面レイアウト

画面の向きをランドスケープまたはポートレイト ビューに変更します。

- **ランドスケープ** / **ポートレイト**

スケジュール名

ローカル スケジュールを作成する際のスケジュール タイトルの形式を選択します。

- **YYYYMMDD** / **YYYYDDMM** / **DDMMYYYY**

USB を安全に取り外す

USB メモリを安全に取り外します

すべてのコンテンツを削除

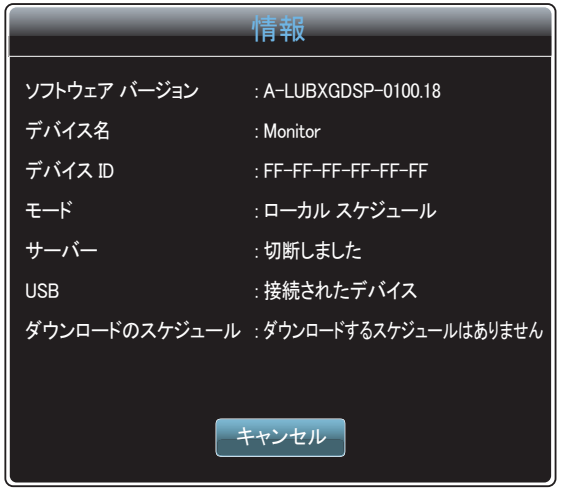
内部メモリ のすべてのコンテンツ ファイルを削除します。

設定のリセット

設定 のすべての値を製品購入時のデフォルト値に戻します。

コンテンツ実行時

実行中のコンテンツの詳細を表示

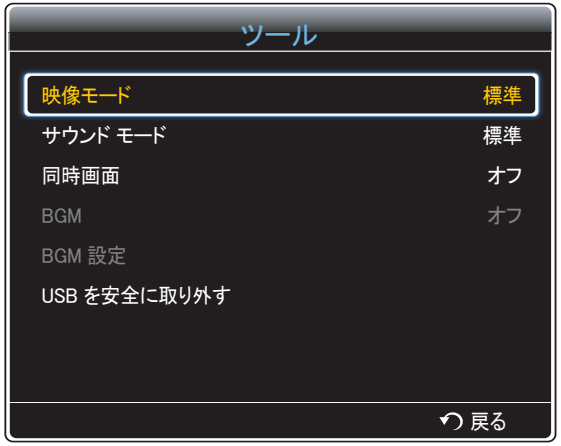


– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

リモコンの INFO ボタンを押します。

- **ソフトウェア バージョン**: デバイスのソフトウェア バージョンを表示します
- **デバイス名**: サーバーに認識されているデバイスの名前を表示します
- **デバイス ID**: デバイスの固有識別番号を表示します
- **モード**: MagicInfo Lite プレーヤー の現在の動作モードを表示します
  (**MagicInfo Premium S Player** の **ネットワーク スケジュール**、**ローカル スケジュール**、**テンプレート プレーヤー**、**内部 AutoPlay** または **USB AutoPlay**)
- **サーバー**: サーバーの接続状態 (**接続されたデバイス**、**切断しました** または **承認されていません**) を表示します
- **USB**: USB デバイスの接続状態を表示します
- **ダウンロードのスケジュール**: network schedule のサーバーからのダウンロード進捗状況を表示します

実行中のコンテンツの設定を変更



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

リモコンの TOOLS ボタンを押します。

コンテンツの再生中にリモコンの TOOLS ボタンを押すことにより、**映像モード** または **サウンド モード** 設定を変更したり USB デバイスを安全に取り外す (**USB を安全に取り外す**) ことができます。

- **映像モード** (**動的** / **標準** / **ナチュラルモード** / **動画**)
  再生中のコンテンツの画面設定をカスタマイズします。
- **サウンド モード** (**標準** / **音楽** / **動画** / **音声を明瞭にする** / **アンプ**)
  再生中のコンテンツの音声設定をカスタマイズします。
- **同時画面** (**オフ** / **オン**)
  PIP 機能を有効または無効にします。
- **BGM** (**オフ** / **オン**)
  BGM 機能を有効または無効にします。
- **BGM 設定** (**シャッフル** / **再生** / **キャンセル** / **選択解除**)
  内部メモリ に保存されている音楽ファイルを **BGM** として設定します。

  — **BGM 設定** を有効にするには、**内部メモリ** に MP3 ファイルが 少なくとも 1 つは保存されている必要があります。
- **USB を安全に取り外す**
  USB メモリを安全に取り外します

第 13 章
MagicInfo Videowall S

– MagicInfo Videowall S を起動するには、システム で プレーヤー モード に MagicInfo Videowall S を選択します。

MagicInfo Videowall S を使用するにはライセンスを購入する必要があります。
このソフトウェアは、Samsung のホームページ（http://www.samsunglfd.com）からダウンロードできます。
ライセンスのご購入については、カスタマー サービス センターまでお問い合わせください。

MagicInfo Videowall S Player と互換性のあるファイル形式

MagicInfo Videowall S Player をご使用になる前にお読みください。

MagicInfo Videowall S では、VideoWall Console を介した場合にのみコンテンツ ファイルの設定と制御を行うことができます。

- 詳細については、VideoWall Console ユーザー マニュアルを参照してください。
- メニュー選択画面を表示するには、リモコンの RETURN を押します。

— サポートされているコーディックの詳細については、168 ページ を参照してください。

ビデオ

- 3D ビデオはサポートされていません。
- 解像度が上の表の解像度を超えているコンテンツはサポートされていません。
- ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているビデオ コンテンツは再生中に映像が乱れることがあります。
- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。
- H.264、レベル 4.1 まで対応
- H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD は非対応。
- MVC、VP8、VP6 を除くすべてのビデオ コーデック:
  - 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム
  - 1280 x 720 以上:最大 30 フレーム
- GMC 2 以上はサポートされていません。
- BD MVC Spec のみサポートします。

画像

- 互換性がある画像ファイル形式:Jpeg、bmp、png
- サポートされている最大解像度:15,360 X 8,640
  - 画像の解像度を高くすると、表示に時間がかかることがあります。

制限事項

- ビデオ (**ビデオ**) ファイルはクライアントごとに 1 つのみ再生できます。
  - ビデオ ウォールの各ディスプレイに異なるコンテンツ ファイルを再生できます。
    2 つのビデオ (**ビデオ**) ファイルをビデオ ウォールの 1 つのディスプレイで再生することはできません。

可能

可能

使用できません

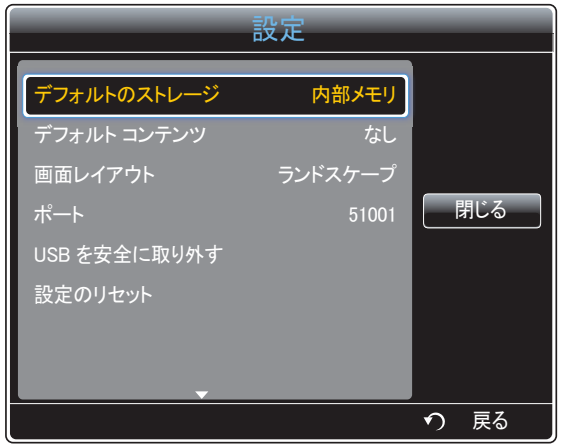
MagicInfo Videowall S

MENU → **サポート** → **コンテンツ ホーム** → **MagicInfo Videowall S** → ENTER → RETURN

— **MagicInfo Videowall S** を起動するには、**システム** で **プレーヤー モード** に **MagicInfo Videowall S** を選択します。

— リモコンの MagicInfo Lite/S ボタンを押します。

設定



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

デフォルトのストレージ

サーバーからダウンロードしたコンテンツを保存する場所を指定します。

- **内部メモリ**: コンテンツを製品の内部メモリに保存します。
- **USB**: コンテンツを USB メモリに保存します。

デフォルト コンテンツ

デフォルトで再生されるコンテンツの設定を行います。

画面レイアウト

画面の向きをランドスケープまたはポートレイト ビューに変更します。

- **ランドスケープ** / **ポートレイト**

ポート

サーバーのポート番号を表示します。ポート番号には 51001 を使用します。

- ポート番号に 51001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。

USB を安全に取り外す

USB メモリを安全に取り外します

設定のリセット

設定 のすべての値を製品購入時のデフォルト値に戻します。

コンテンツ実行時

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

リモコンの INFO ボタンを押します。

- **ソフトウェア バージョン**: デバイスのソフトウェア バージョンを表示します
- **デバイス名**: サーバーに認識されているデバイスの名前を表示します
- **デバイス ID**: デバイスの固有識別番号を表示します
- **USB**: USB デバイスの接続状態を表示します

第 14 章
トラブルシューティング ガイド

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に行っていただきたいこと

製品のテスト

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品が正しく PC に接続されていて、電源 LED が点滅しているのに画面に何も映らない場合には、製品テストを実施します。

1 PC と製品の両方の電源をオフにします。

2 製品からすべてのケーブルを外します。

画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

3 製品の電源をオンにします。

4 **信号なし** と表示される場合には、製品は正常に動作しています。

解像度と周波数の確認

サポートされる解像度を超えるモードが選択されている場合は、**最適なモードが選択されていません** と短時間表示されます (サポートされる解像度を参照)。

以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)

画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。
HDMI または HDMI-DVI ケーブルで製品と PC を接続しているときは、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。 PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI または DVI 設定で画面サイズを調整します。 グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 (画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。)
PC が接続されていないときに PC が 入力ソース に表示される。	PC が接続されているかどうかにかかわらず、PC は常に 入力ソース に表示されます。

画面の問題

電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが接続されていることを確認します。
信号なし と画面に表示される (「PC への接続」を参照)。	製品がケーブルで正しく接続されていることを確認します。
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。
最適なモードが選択されていません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大の解像度および周波数を超えている場合に表示されます。
	標準の信号モード表を参照して、製品の仕様に従って最大の解像度および周波数を設定します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品に接続しているケーブルを確認します。

画面の問題

画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	**粗調整** および **微調整** を調整します。
	アクセサリ（ビデオの拡張ケーブルなど）を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。続いて、製品メニューの追加情報および標準信号モード表を必要に応じて参照して、画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	**明るさ** および **コントラスト** を調整します。
画面の色が正しくない。	**映像** に移動して **色空間** 設定を調整します。
白が正しく白色に見えない。	**映像** に移動して **ホワイト バランス** 設定を調整します。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。
製品が自動的にオフになる。	**システム** に移動し、**スリープ タイマー** が **オフ** に設定されていることを確認します。
	PC が製品に接続されている場合、PC の電源状態を確認します。
	電源コードが製品とコンセントに正しく接続されていることを確認します。
	接続されている機器からの信号が検出されない場合、製品は 10 ～ 15 分後に自動的にオフになります。
製品の画質が、製品を購入した販売店での画質と異なる。	HDMI ケーブルを使用して高解像度（HD）の画質を取得します。

画面の問題

画面表示が正常でないように見える。	エンコードされたビデオ コンテンツの場合、スポーツやアクション映画などのように動きの速いシーンでは映像が乱れることがあります。
	信号の出力レベルや画質が低い場合、映像が乱れることがあります。これは製品の不良ではありません。
	半径 1 メートル以内に携帯電話があると、アナログ製品やデジタル製品にノイズが発生することがあります。
明るさと色が正常でないように見える。	**映像** に移動して、**映像モード**、**色の濃さ**、**明るさ**、**シャープネス** などの画面設定を調整します。 — **映像** メニューについての詳細は、ページ 93 を参照してください。
	システム に移動して **省電力** 設定を調整します。 — **システム** メニューについての詳細は、ページ 126 を参照してください。
	画面の設定をデフォルトに戻します。 — **映像のリセット** メニューについての詳細は、ページ 108 を参照してください。
画面の端に破線が表示される。	**画像サイズ** が **画面に合わせる** に設定されている場合、**16:9** に変更します。
線 (赤、緑、または青) が画面に表示される。	このような線は、モニター上の DATA SOURCE DRIVER IC に不具合があるときに表示されます。この問題を解決するには、Samsung のサービス センターまでご連絡ください。
表示が不安定でフリーズする。	推奨解像度以外の解像度を使用している場合や信号が不安定の場合、画面がフリーズすることがあります。この問題を解決するには、PC の解像度を推奨解像度に変更します。
画面を全画面表示にできない。	縮小された SD (4:3) のコンテンツ ファイルでは、HD チャンネル画面の両側に黒いバーが表示されることがあります。
	アスペクト比が製品と異なるビデオでは、画面の上下に黒いバーが表示されることがあります。
	画面サイズの設定を製品またはソース機器上で全画面に変更します。

音声の問題

音声が出ない	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。
ビデオの音声が聞こえない。	HDMI ケーブルを接続している場合、PC の音声出力の設定を確認します。
	サウンド に移動して **スピーカ選択** を **内部メモリ** に変更します。
	ソース機器を使用している場合 • オーディオ ケーブルが製品の音声入力ポートに正しく接続されていることを確認します。 • ソース機器の音声出力の設定を確認します。 (たとえば、HDMI ケーブルがモニターに接続されている場合、ケーブル ボックスの音声設定を HDMI にする必要があることがあります。)
	DVI-HDMI ケーブルを使用している場合、オーディオ ケーブルが別途必要になります。
	製品にヘッドフォン ポートがある場合、何も接続されていないことを確認します。
	電源ケーブルを機器に再接続してから機器を再起動します。
スピーカーにノイズがある。	ケーブルの接続を確認します。ビデオ ケーブルが音声入力ポートに接続されていないことを確認します。
	ケーブルを接続した後に信号の強度を確認します。
	信号の出力レベルが低いと音声が乱れることがあります。

音声の問題

ボリュームをミュートにしても音声が聞こえる。	**スピーカ選択** を **外部** に設定すると、ボリューム ボタンとミュート機能が無効になります。 外部スピーカーのボリュームを調整します。
	メイン スピーカーの音声設定は、製品の内部スピーカーの設定とは別になっています。 製品のボリュームを変更したり、ミュートにしたりしても外部アンプ（デコーダ）には影響しません。
サウンド モード を変更してもモニターの音声が変わらない。	メイン スピーカーの音声設定は、製品の内部スピーカーの設定とは別になっています。 ソース機器の音声設定は、製品の内部スピーカーの設定には影響しません。
スピーカーから反響音が聞こえる。	製品のスピーカーと外部スピーカーとの復号速度差によって反響が聞こえることがあります。 このような場合、**スピーカ選択** を **外部** に設定してください。

リモコンの問題

リモコンが機能しない。	電池が正しく入れられていることを確認します。
	電池が消耗していないかチェックします。
	停電していないか確認します。
	電源コードが接続されていることを確認します。
	近くで特殊な照明またはネオン サインが点灯していないか確認します。

入力信号装置おn問題

PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

その他の問題

製品からプラスチックのような匂いがする。	プラスチックの匂いは正常であり、時間が経つと匂わなくなります。
モニターが傾いているように見える。	スタンドを製品から取り外して、取り付け直します。
音声または映像が途切れる。	ケーブルの接続状態を確認し、必要に応じて接続し直します。
	硬すぎるケーブルや太すぎるケーブルを使用すると、オーディオ ファイルやビデオ ファイルが破損することがあります。 柔軟性および耐久性のあるケーブルを使用してください。製品を壁に取り付けるときには、ライトアングル ケーブルの使用をお勧めします。
製品の端に小さな粒子が見える。	この粒子は製品の仕様です。不具合ではありません。
同時画面 メニューが使用できない。	メニューは、**入力ソース** モードに応じて有効または無効になります。 — **同時画面** メニューについての詳細は、ページ 128 を参照してください。
PC の解像度を変更しようとすると、"定義された解像度は現在はサポートされていません。" というメッセージが表示される。	"**定義された解像度は現在はサポートされていません。**" というメッセージは、入力ソースの解像度がモニターの最大解像度を超えた場合に表示されます。 この問題を解決するには、PC の解像度をモニターでサポートされている解像度に変更します。
DVI-HDMI ケーブルを接続すると、HDMI モードでスピーカーから音声が聞こえない。	DVI ケーブルからは音声データは送信されません。 音声を出力するには、オーディオ ケーブルを正しい入力ジャックに接続します。
YCbCr 出力に対応している HDMI 機器で HDMI 階調レベルが正しく機能していない。	この機能は、DVD プレイヤーや STB などのソース機器を HDMI (RGB 信号) ケーブルを使用して製品に接続している場合にのみ使用できます。

その他の問題

HDMI モードで音声が聞こえない。

画像の色が正しく表示されないことがあります。映像や音声が使用できないことがあります。この現象は、新しい HDMI 規格に対応していないソース機器を製品に接続している場合に起こります。

この問題が起こった場合、HDMI ケーブルとオーディオ ケーブルの両方を接続してください。

PC のグラフィック カードの種類によっては、音声を含まない HDMI 信号は自動では認識されないことがあります。このような場合、音声入力を手動で選択してください。

	音声入力	画面モード
PC	自動	PC 設定
DVI PC	音声入力 (ステレオ ポート)	PC 設定

IR センサーが機能していない。

リモコンのボタンを押したときにセンサー ライトが点灯することを確認します。

- センサー ライトが点灯しない場合、製品の背面にある電源スイッチをオフにして再度オンにします。
  (画面のスイッチがオフのとき、電源 LED は赤色に点灯します。)
  電源スイッチを入れ直してもセンサー ライトが点灯しない場合、内部ジャックが外れている可能性があります。
  お近くのサービス センターに修理についてお問い合わせください。

- 点灯しているセンサー ライトがリモコンのボタンを押したときに赤色に点滅しない場合、IR センサーが故障している可能性があります。
  お近くのサービス センターに修理についてお問い合わせください。

- リモコンのボタンを押したときに、センサー ライトは点滅するが画面に変化がない場合、メインボードが故障している可能性があります。
  お近くのサービス センターに修理についてお問い合わせください。

省電力モードでは、入力ソースが ディスプレイ ポート の場合、PC の表示設定は保存できません。

システム → **全般** に移動して、**省電力 (最大)** を **オフ** に設定します。または、PC の表示出力を再設定します。機器の電源がオンになっていることを確認してください。

入力ソースが ディスプレイ ポート に設定されている場合、PC を起動しても BIOS 画面や起動画面は表示されません。

機器の電源がオンになっているとき、または、入力ソースが **ディスプレイ ポート** 以外のときに PC を起動します。

Q & A

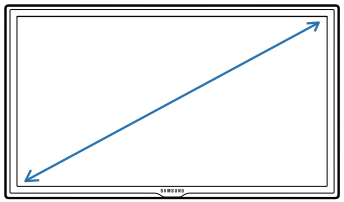
質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の周波数を調整します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** → **詳細** → **モニタ** を選択し、**モニタの設定**の周波数を調整します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **個人設定** → **画面の設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の周波数を調整します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **画面** → **解像度の調整** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の周波数を調整します。 • Windows 8 :**設定** → **コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **画面** → **解像度の調整** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の周波数を調整します。
解像度の変更方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** で解像度を調整します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **画面** → **解像度の調整** で解像度を調整します。 • Windows 8 :**設定** → **コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **画面** → **解像度の調整**を選択し、解像度を調整します。

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

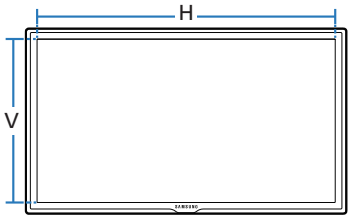
質問	回答
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定**→ **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 8 :**設定** → **コントール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定**または PC の BIOS 設定で省電力モードを設定します。

第 15 章
仕様

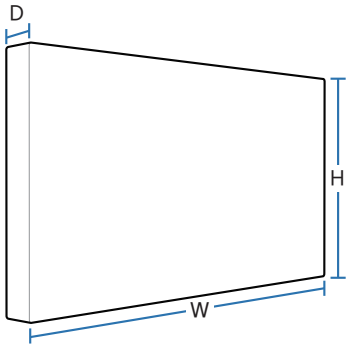
1 サイズ



2 表示範囲



3 寸法 (W x H x D)



全般

http://www.samsung.com/jp

モデル名		ME32C	ME40C
パネル	サイズ	32 クラス (31.5 インチ / 80 cm)	40 クラス (40.0 インチ / 101cm)
	表示範囲	698.4 mm (H) x 392.85 mm (V)	885.6 mm (H) x 498.15 mm (V)
寸法 (W x H x D)		734.8 X 433.8 x 29.9 mm	922.1 X 539.4 x 29.9 mm
重量 (スタンドを除く)		6.7 kg	10.6 kg
VESA		200 mm × 200 mm	200 mm × 200 mm

モデル名		ME46C	ME55C
パネル	サイズ	46 クラス (45.9 インチ / 116 cm)	55 クラス (54.6 インチ / 138 cm)
	表示範囲	1018.08 mm (H) x 572.67 mm (V)	1209.6 mm (H) x 680.4 mm (V)
寸法 (W x H x D)		1057.6 X 615.8 x 29.9mm	1248.0 x 722.4 x 29.9 mm
重量 (スタンドを除く)		13.1 kg	16.4 kg
VESA		400 mm × 400 mm	400 mm × 400 mm

表示色		16.7 M
同期	**水平周波数**	31～80 kHz
	垂直周波数	56～75 Hz
解像度	**最適解像度**	1920 x 1080 @ 60 Hz
	最大解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大ピクセル クロック		148.5 MHz（アナログ、デジタル）
音声出力		10 W + 10 W
電源		この製品は 100～240V を使用します。標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。
USB		1 DOWN
信号コネクタ	**入力**	An America Product Only Composite/Component (common), PC D-Sub, DVI(MagicInfo), HDMI1, HDMI2, DP, Audio In, RJ45, RS232C In, USB1(Media Player), External Ambient Sensor
	出力	DP Out, Audio Out, RS232C Out, IR Out
環境条件	**動作時**	温度:0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F) 湿度:10～80 %、結露しないこと
	記録装置(梱包保存時)	温度:-20 °C ~ 45 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度:5～95 %、結露しないこと

― プラグ & プレイ

このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。

モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。

― この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。

― VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。
省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。
省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力		通常動作		省電力モード	電源オフ	電源オフ (電源ボタン オフ)
		定格	(一般)			
電源インジケーター		オフ		点滅	赤	オフ
消費電力	ME32C	70 ワット	62 ワット	0.5 ワット	0.4 ワット	0 ワット
	ME40C	100 ワット	93 ワット			
	ME46C	110 ワット	97 ワット			
	ME55C	130 ワット	122 ワット			

― 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。

― SOG (Sync On Green) はサポートされません。

― 消費電力を 0 にするには、背面にあるスイッチをオフにして電源コードを外します。
製品を長期間使用しない場合 (休暇中など) には、電源コードを外してください。

プリセット タイミング モード

— この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。
指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。
これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。
(PC に接続されている) CDT 製品を LCD 製品に交換した場合には、周波数を確認してください。LCD 製品が 85Hz をサポートしていない場合には、CDT 製品を使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD 製品に交換してください。

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	Pixel Clock (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−

- 水平周波数
  1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

- 垂直周波数
  本製品は、ひとつの画像を (蛍光灯のように) 1 秒間に何回も表示して、画面に映像を表示します。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュ レートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	Pixel Clock (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA, 1600 x 900	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

第 16 章
付録

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp/
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任 (お客様の負担)

― サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整を行う場合
- 外部環境 (インターネット、アンテナ、有線信号など) による異常の場合
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依託サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ユーザー マニュアルに記載されている "注意" を守らなかった場合

その他

- 自然災害 (落雷、火災、地震、洪水など) によって製品が故障した場合。
- 消耗部品 (バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、バイブレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど) を使い切った場合。

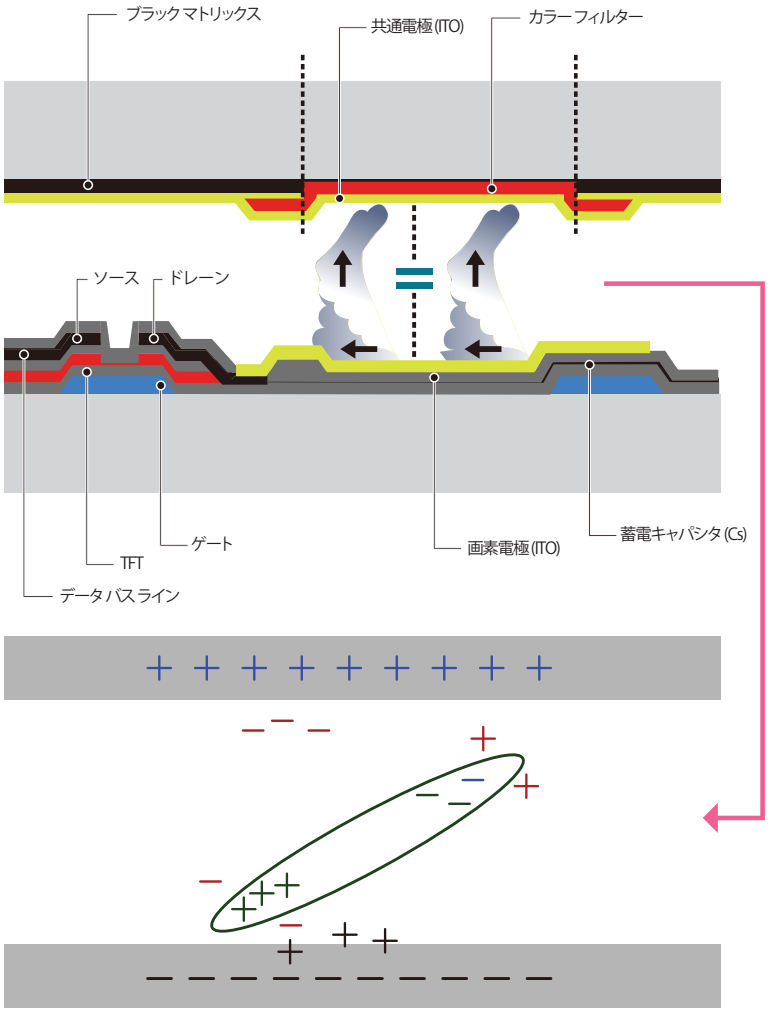
― 製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

最適画質および残像の焼き付き防止

最適画質

- 最適画質でご使用いただくには、お使いの PC の コントロール パネルで、以下の手順で解像度とリフレッシュ レートを調整します。
  最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。
  - 解像度:1920 X 1080
  - 垂直周波数 (リフレッシュ レート):56～75 Hz
    画面のリフレッシュ レート:表示画像が 1 秒間に何回更新されるかを表します。
- この製品の製造工程の特性により、パネル上に 100 万ピクセルに約 1 個 (1ppm) の割合で明るい、または暗いピクセルが生じる場合があります。
  これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
  - 各 パネル タイプのサブピクセル数: 6,220,800
- **自動調整** を実行すると画質が向上します。自動調整後もノイズが残る場合は、**粗調整** または **微調整** を調整します。
- 静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。
  - 製品を長時間使用しない場合は、省電力モードまたはスクリーンセーバーを有効にしてください。
- TFT-LCD モニターは CDT モニターと異なり (パネルの特性による)、最適画質の解像度は 1 とおりにしか設定することができません。
  したがって、解像度を指定の解像度以外に設定すると、画質が低下することがあります。
  これを避けるには、お使いのモニターについて指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。

残像の焼き付き防止



残像の焼き付きとは?

LCD パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。LCD パネルに静止したパターンを長時間 (12 時間以上) 表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。
このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。
これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。

— LCD パネルが適切な条件で動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。

残像の焼き付きを防止するために

— 製品の残像の焼き付きを防止する最も良い方法は、製品を使用しない時は電源スイッチをオフにするか、PC またはシステムでスクリーンセーバーを実行するよう設定することです。保証は、操作ガイドによって制限のある場合があります。

- 電源オフ、スクリーンセーバー、省電力モード
  - 本製品を 20 時間使用後は 4 時間、電源をオフにしてください。
  - 本製品を 12 時間使用後は 2 時間、電源をオフにしてください。
  - 必要に応じて、PC の [画面のプロパティ] > [電源] を選択して、製品の電源をオフにします。
  - スクリーンセーバーの利用をお勧めします。
    スクリーンセーバーは単色または、動く映像のものをお勧めします。
- 定期的な色の変更
  - 2 色使用
    上記の 2 色を、30 分ごとに切り替えてください。

Type 1

FLIGHT	TIME
OZ348	20:30
UA102	21:10

Type 2

FLIGHT	TIME
OZ348	20:30
UA102	21:10

- 明るさ:光の放射量に応じて変化する色の明るさまたは暗さを表します。

- 文字色と背景色に対照的な明るさの色を使用することは、避けてください。

— 残像の焼き付きの原因になるため、グレーの使用は避けてください。

— 対照的な明るさの色の使用は避けてください(白黒、グレー)。

- 定期的な文字色の変更
  - 輝度の近い明るい色を使用します。
    間隔:文字色と背景色を 30 分間隔で変更

  - 以下に示すように、30 分間隔で文字を変更します。

  - 定期的にロゴと動画を表示します。
    間隔:4 時間使用後に、ロゴと動画を 60 秒間表示します。

ライセンス

Dolby Laboratories の許諾を受けて製造しています。

「Dolby」および「向かい合うD」のシンボルは Dolby Laboratories の商標です。

Manufactured under a license from U.S. Patent No's:5,956,674, 5,974,380, 5,978,762, 6,487,535, 6,226,616, 7,212,872, 7,003,467, 7,272,567, 7,668,723, 7,392,195, 7,930,184, 7,333,929 and 7,548,853. DTS, the Symbol, and DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS Premium Sound | 5.1 is a trademark of DTS, Inc. ©2012 DTS, Inc. All Rights Reserved.

The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

DivX Certified ® to play DivX ® video up to HD 1080p, including premium content.

DivX®, DivX Certified® and associated logos are trademarks of DivX, Inc. and are used under license.

ABOUT DIVX VIDEO:DivX® is a digital video format created by DivX, Inc. This is an official DivX Certified® device that plays DivX video.Visit www.divx.com for more information and software tools to convert your files into DivX video.

ABOUT DIVX VIDEO-ON-DEMAND:This DivX Certified® device must be registered in order to play purchased DivX Video-on-Demand (VOD) movies.To obtain your registration code, locate the DivX VOD section in your device setup menu.Go to vod.divx.com for more information on how to complete your registration.

Covered by one or more of the following U.S. patents : 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

オープン ソース ライセンスに関する注意

オープン ソース ソフトウェアを使用している場合、製品メニューからオープン ソース ライセンスの内容を確認できます。オープン ソース ライセンスに関する注意は、英語でのみ記載されています。

用語

480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p___ 上記の各走査時間は、画面の解像度を決定する有効走査線数を示します。走査時間は、走査方法によって i（インターレース）または p（プログレッシブ）で表示されます。

– 走査

走査は、画像を順次構成するピクセルの送信プロセスを意味します。ピクセルの数が多いほど、より明確で鮮明な映像が実現します。

– プログレッシブ

プログレッシブ走査モードでは、画面上のピクセルのすべての線を 1 つずつ（順次）走査します。

– インターレース

インターレース走査モードでは、まずピクセルの線を 1 本おきに上から下に、続いて（先に走査されなかった）残りのピクセルを走査します。

ノンインターレース モードおよびインターレース モード___ ノンインターレース モード（プログレッシブ スキャン）では、水平線が画面の上から下へ順に表示されます。インタレース モードでは、奇数線が先に表示され、続いて偶数線が表示されます。ノンインターレース モードは主にモニターの画面を明確に表示させたい場合に、インタレース モードは主に TV で使用されます。

ドット ピッチ___ 画面は、赤、緑、青のドットで構成されています。ドット間の距離が短いほど高解像度になります。ドット ピッチは、同色のドット間の最小距離間の距離を意味します。ドットピッチはミリメートル単位で測定します。

垂直周波数___ 製品上に（蛍光灯の点滅のように）1 秒間に何度も単一画像を表示することで、見る人に 1 つの画像として認識されます。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュ レートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

例: 60 Hz は、1 つの画像が 1 秒間に 60 回表示されることを示します。

水平周波数___ 1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

ソース___ 入力信号は、カムコーダー、ビデオ、DVD プレーヤーといった本製品に接続されたビデオ入力デバイスです。

Component ポート（緑、青、赤）___ Component ポートは、コントラスト信号の識別および、送信、受信を行って、他のどの映像接続方法よりも優れた画質を提供します。

プラグ & プレイ___ プラグ & プレイは、最適なディスプレイ環境を得るためのモニターと PC 間の情報の自動交換を可能にする機能です。本製品では VESA DDC（国際規格）を使用してプラグ & プレイを実行しています。

解像度___ 解像度は、画面を構成する水平方向のドット（ピクセル）と垂直方向のドット（ピクセル）の数です。ディスプレイの精細度を意味します。解像度が高いほどより多くのデータを画面上に表示することが可能で、さらに同時に複数のタスクを実行するのにも役立ちます。

例: 解像度 1920 X 1080 は、水平方向に 1,920 のピクセル（水平解像度）と垂直方向に 1,080 のピクセル（垂直解像度）で構成されています。

DVD（デジタル多用途ディスク）___ DVD は、MPEG-2 ビデオ圧縮技術を使用してマルチメディア（オーディオ、ビデオ、ゲーム）を保存できる、CD サイズの大容量保存ディスクです。

HDMI（高解像度マルチメディア インターフェイス）___ 圧縮技術によらず、1 本のケーブルでデジタル オーディオ ソースと高解像度ビデオ ソースに接続可能なインターフェイスです。

マルチディスプレイ コントロール（MDC）___ MDC（マルチディスプレイ コントロール）は、PC を使用して複数の表示デバイスを同時に制御するアプリケーションです。PC とモニター間の通信は RS232C（シリアルデータ転送）および RJ45（LAN）ケーブルを経由して行われます。